

八千代市第5次総合計画前期基本計画の総括

令和8年3月

企画部 企画経営課

1 第5次総合計画前期基本計画の総括について

第5次総合計画前期基本計画（以下「第5次前期基本計画」という。）の総括は、計画期間（令和3年度から令和6年度）における取組を振り返り、課題や今後の対応を整理し、今後の施策の推進に活かしていくものです。

この総括は、第5次前期基本計画に位置付けた「施策」及び「指標」に対して行いました。なお、第5次前期基本計画と一体的に策定した第2期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括も兼ねるものとします。

【施策（中項目）について】

第5次前期基本計画に位置付けた施策の目的（将来のまちの姿・基本方針）に対する評価を記載しています。

区 分	内 容
達成状況	施策の達成状況については、次の5段階で記載しています。 <ul style="list-style-type: none">・「達成」：施策の目的に対して100%以上・「おおむね達成」：施策の目的に対して80%以上100%未満・「やや達成が図れなかった」：施策の目的に対して50%以上80%未満・「達成が図れなかった」：施策の目的に対して50%未満・「施策を推進していない」：未実施，休廃止等
内容・取組効果	計画期間（4年間）における主な取組内容及び効果を記載しています。
課題・改善案	計画期間の施策の内容・取組効果を踏まえ、今後、施策を推進するうえでの課題や改善案などを記載しています。
今後の方向性及び方針	課題や改善案などを踏まえ、令和7年度以降の方向性及び方針などを記載しています。

【指標について】

第5次前期基本計画に位置付けた指標（計画策定時の現況値，目標値，最終値）に対する評価を記載しています。

区 分	内 容
達成状況	指標の達成状況については、次の4段階で記載しています。 <ul style="list-style-type: none">・「達成」：目標値に到達したもの・「向上」：達成には至っていないものの計画策定時の現況値から目標値に近づいたもの・「維持」：計画策定時の現況値と変わらないもの・「低下」：計画策定時の現況値と比べ目標値から遠ざかったもの
内容・取組効果	計画期間（4年間）における主な取組内容及び効果を記載しています。
課題・改善案	指標の最終的な結果を踏まえ、目標の達成に向けた課題や改善案などを記載しています。

2 八千代市第5次総合計画前期基本計画施策及び指標一覧

・第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	指標	担当課
第1節 子ども・子育て	1 教育・保育環境（幼児教育）	子ども部	保育園待機児童数 ※	子育て支援課 子ども保育課
	2 子育て環境	子ども部	学童保育所待機児童数	子育て支援課
			子育て支援サイト「にこにこ☆元気」閲覧数	子育て支援課
			子育てしやすいまちと感じている市民の割合 ※	子育て支援課
3 子ども・家庭支援	子ども部	児童虐待に関する研修・講習会受講者数	子ども相談センター	
第2節 地域福祉	1 地域共生	健康福祉部	ボランティア登録数	健康福祉課
			ボランティア・地域活動への参加の割合	福祉総合相談課
	2 障害者支援	健康福祉部 子ども部	地域生活支援拠点等の数	障害者支援課
			グループホームの利用者数	障害者支援課
			福祉避難所の協定締結数	障害者支援課
			就労移行支援事業所等を利用して一般就労した人の数	障害者支援課
			外来児童利用者数	児童発達支援センター
			保育所等訪問支援事業支援児童数	児童発達支援センター
	3 高齢者支援	健康福祉部	高齢者福祉サービスが充実していると感じる比率	長寿支援課
			趣味やボランティア等の地域の会やグループ等に参加又は就労している高齢者の割合	福祉総合相談課 長寿支援課
	4 生活困窮者支援	健康福祉部	就労支援を受けて就労・増収した生活保護受給者の割合	生活支援課
			学習支援を受けて高校等へ進学した生徒の割合	福祉総合相談課
学習支援を受けて高校等で学習を継続している学生の割合			福祉総合相談課	
第3節 社会保険	1 国民健康保険・後期高齢者医療	健康福祉部	国民健康保険料収納率（現年分）	国保年金課
			特定健康診査受診率	健康づくり課 国保年金課
	2 介護保険	健康福祉部	利用している介護サービスに不満がない人の割合	長寿支援課
			介護保険料収納率（普通徴収）	長寿支援課
	3 国民年金	健康福祉部	地域包括支援センターの認知度	福祉総合相談課
国民年金保険料現年度納付率			国保年金課	
第4節 健康	1 保健	健康福祉部	自分が健康だと感じている市民の割合	健康づくり課
			65歳平均自立期間 ※	健康づくり課
			ゲートキーパー養成講座修了者数	健康づくり課
			定期的に健康診断・健康診査を受けたり人間ドックを利用する市民の割合	健康づくり課
	2 医療	健康福祉部	地域医療体制が整っていると感じている市民の割合 ※	健康福祉課

・第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	指標	担当課
第1節 教育	1 義務教育	教育委員会（学校）	校舎及び体育館のトイレの乾式化	教育総務課
			外国語教育全時数に対するALT派遣率	指導課
			タブレット端末を利用した授業の割合	教育センター
			新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の児童の割合（小学校）	保健体育課
			新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の生徒の割合（中学校）	保健体育課
	食物アレルギー対応の品目拡大	保健体育課		
2 高校・大学教育	教育委員会（学校）	教職体験受入校の割合	指導課	
3 青少年健全育成	教育委員会（学校） （社会教育）	青少年育成団体数	生涯学習振興課	
第2節 生涯学習	1 生涯学習	教育委員会（社会教育）	まちづくりふれあい講座の講座数	生涯学習振興課
			市民一人当たりの年間図書貸出冊数	中央図書館
			公民館まつり来場者数	八千代台東南公民館
			生涯学習ボランティアバンク制度を活用した講座の実施数	生涯学習振興課
			生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合	生涯学習振興課
第3節 文化	1 市民文化	教育委員会（社会教育）	市民文化祭参加団体数	文化・スポーツ課
			市民文化祭参加者・参観者数	文化・スポーツ課
			文化施設利用人数	文化・スポーツ課
	2 文化財	教育委員会（社会教育）	市指定文化財件数	文化・スポーツ課
			郷土博物館利用者数	郷土博物館
			文化伝承館利用者数	郷土博物館
第4節 スポーツ	1 スポーツ・レクリエーション	教育委員会（社会教育）	週1回以上のスポーツ実施率	文化・スポーツ課
			スポーツ推進委員依頼講座数	文化・スポーツ課
			体育施設利用者数	文化・スポーツ課

・第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	指標	担当課
第1節 暮らしの安心	1 市民相談	総務部	法律相談を受けて満足した人の割合	コミュニティ推進課
	2 消費生活	総務部	消費生活センターが身近な消費生活相談窓口であることを知っている市民の割合	消費生活センター
第2節 暮らしの安全	1 防災・減災	総務部 健康福祉部 都市整備部	自主防災組織カバー率 ※	危機管理課
			避難所運営委員会の設立率	危機管理課
			防災行政用無線（固定系）のデジタル化	危機管理課
			急傾斜地崩壊対策整備率	土木建設課
	2 消防	消防本部	消防団安全装備品貸与率	消防総務課
			防火水槽数（公設）	警防課
			応急手当普及率（普通救命講習）	警防課
3 防犯	総務部	補助金を交付して設置した防犯カメラの台数	危機管理課	

大項目	中項目（施策）	推進部局	指標	担当課
第2節 暮らしの安全	4 交通安全	都市整備部	放置自転車の撤去台数	土木維持課
第3節 上下水道	1 水道	財務部 経済環境部 上下水道局	市内全域の水道管路における耐震化率	上水道課
	2 下水道	財務部 上下水道局	水洗化率	給排水相談課
			雨水整備率	下水道課

・第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	指標	担当課
第1節 市街地・住環境の整備	1 市街地の整備・活性化	都市整備部	地域の特性を活かした土地利用が図られていると感じている市民の割合	都市計画課
			地域まちづくり活動団体の登録件数	まちづくり推進室
	2 住宅	健康福祉部 都市整備部	新築戸建住宅に対する長期優良住宅認定件数の割合	建築指導課
			住宅の耐震化率	建築指導課
			管理不全の空家等の割合	建築指導課
			市営住宅管理戸数	健康福祉課
	3 公園・緑地	都市整備部	都市公園の面積	公園緑地課
			緑豊かなまちと感じている市民の割合	公園緑地課
			環境美化ボランティア制度実施公園数	公園緑地課
	第2節 総合交通・道路環境の整備	1 総合交通	企画部 都市整備部	鉄道が利用しやすいと感じている市民の割合
市内のバスが利用しやすいと感じている市民の割合				都市計画課
市内・市外間の移動がしやすいと感じている市民の割合				都市計画課
交通弱者にやさしい交通環境と感じている市民の割合				都市計画課
2 道路環境		都市整備部	道路環境が整っていると感じる市民の割合	都市計画課 土木管理課 土木建設課 土木維持課
			都市計画道路の整備済延長	土木建設課
			市道の改良整備率	土木建設課
			官民境界の確定進捗率	土木管理課
第3節 環境との共生・保全	1 生活環境	健康福祉部 経済環境部	環境基準達成度	環境政策課
			生活排水処理率	環境政策課
			まちにごみがなくきれいだと感じている市民の割合	クリーン推進課
			合葬式墓地の供給数	健康福祉課
	2 自然環境	経済環境部	市の事務事業による温室効果ガス排出量	ゼロカーボン推進室
			環境学習講座等参加者数	ゼロカーボン推進室
第4節 循環型社会	1 一般廃棄物	経済環境部	市民1人1日当たりのごみの総排出量	クリーン推進課
			市民1人1日当たりのごみの総排出量（資源物を除いた排出量）	クリーン推進課
			リサイクル率	クリーン推進課
			一般廃棄物処理量	クリーン推進課
			し尿及び浄化槽汚泥の処理量	クリーン推進課

・第5章 産業が元気なまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	指標	担当課
第1節 農業	1 農業振興	経済環境部	体験農園利用者数	農政課
			有害鳥獣捕獲駆除数	農政課
			認定農業者数（経営体数） ※	農政課
			家族経営協定の締結件数	農政課
	2 農地保全	経済環境部 農業委員会事務局	水田の再基盤整備面積	農政課
			担い手への農地集積面積	農政課
第2節 商工業	1 商業	経済環境部	商店街の空き店舗率	商工観光課
			小売業の年間商品販売額 ※	商工観光課
	2 工業	経済環境部 都市整備部	1事業所当たりの年間出荷額	商工観光課
第3節 労働環境	1 就業・雇用	経済環境部	「八千代地域職業相談室」に求職相談した人の就職率	商工観光課

・計画の推進のために

大項目	中項目（施策）	推進部局	指標	担当課
第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進	(1) 透明性の高い市政の推進	企画部 総務部 監査委員事務局	市民が知りたい行政情報が十分に提供されていると感じている市民の割合	広報広聴課 法務課
	(2) 市民参画体制の充実	企画部 総務部	各種審議会等における公募による市民委員の割合 市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられていると感じている市民の割合	コミュニティ推進課 秘書課 広報広聴課 コミュニティ推進課
第2章 地域の視点に立ったまちづくりの推進	(1) コミュニティ活動の推進	企画部 総務部	自治会加入世帯数	コミュニティ推進課
第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信	(1) 人権の尊重と男女共同参画の推進	企画部 健康福祉部	各種審議会等における女性委員の割合	男女共同参画センター
			性別にとられず多様な生き方・働き方を選択できていると感じている市民の割合	男女共同参画センター
	(2) 多文化共生社会の推進	企画部	日本語教室の受講者数	シティプロモーション課
			国際交流イベントの参加者数	シティプロモーション課
	(3) 平和と交流によるまちづくりの推進	企画部	国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいと思う市民の割合	シティプロモーション課
	(4) シティプロモーション・観光の推進	企画部 経済環境部 都市整備部	観光入込客数 ※	観光推進室
新川周辺が活性化していると感じている市民の割合 ※ 今後も八千代市に住み続けたいと考えている市民の割合 ※			企画経営課 シティプロモーション課	
第4章 持続可能な行政経営の確立	(1) 効率的な行政運営の確立	企画部 総務部	行政が自らの責任と判断に基づき行政経営が行われていると感じている市民の割合	企画経営課
	(2) 健全な財政運営の推進	財務部 会計課	市税徴収率	納税課
			公債費負担比率	財政課
			財政調整基金残高	財政課
			市債残高	財政課
	(3) 公共施設等の一体的なマネジメントの推進	総務部 財務部	公共施設でのサービス、また、設備や管理が適切と感じている市民の割合	資産管理課
(4) スマート自治体の推進	企画部 総務部	—	—	

※は第2期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標も兼ねた指標

3 第5次総合計画施策（中項目）達成状況一覧

・第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	達成状況
第1節 子ども・子育て	1 教育・保育環境（幼児教育）	子ども部	やや達成が図れなかった
	2 子育て環境	子ども部	おおむね達成
	3 子ども・家庭支援	子ども部	おおむね達成
第2節 地域福祉	1 地域共生	健康福祉部	達成
	2 障害者支援	健康福祉部	おおむね達成
		子ども部	達成
	3 高齢者支援	健康福祉部	おおむね達成
4 生活困窮者支援	健康福祉部	達成	
第3節 社会保険	1 国民健康保険・後期高齢者医療	健康福祉部	やや達成が図れなかった
	2 介護保険	健康福祉部	おおむね達成
	3 国民年金	健康福祉部	おおむね達成
第4節 健康	1 保健	健康福祉部	おおむね達成
	2 医療	健康福祉部	おおむね達成

●達成状況

達成	おおむね達成	やや達成が図れなかった	達成が図れなかった	施策を推進していない
3	8	2	0	0

・第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	達成状況
第1節 教育	1 義務教育	教育委員会（学校）	やや達成が図れなかった
	2 高校・大学教育	教育委員会（学校）	おおむね達成
	3 青少年健全育成	教育委員会（学校）	おおむね達成
		教育委員会（社会教育）	おおむね達成
第2節 生涯学習	1 生涯学習	教育委員会（社会教育）	おおむね達成
第3節 文化	1 市民文化	教育委員会（社会教育）	おおむね達成
	2 文化財	教育委員会（社会教育）	おおむね達成
第4節 スポーツ	1 スポーツ・レクリエーション	教育委員会（社会教育）	おおむね達成

●達成状況

達成	おおむね達成	やや達成が図れなかった	達成が図れなかった	施策を推進していない
0	7	1	0	0

・第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	達成状況
第1節 暮らしの安心	1 市民相談	総務部	やや達成が図れなかった
	2 消費生活	総務部	おおむね達成
第2節 暮らしの安全	1 防災・減災	総務部	おおむね達成
		健康福祉部	おおむね達成
		都市整備部	やや達成が図れなかった
	2 消防	消防本部	おおむね達成
	3 防犯	総務部	おおむね達成
4 交通安全	都市整備部	達成	
第3節 上下水道	1 水道	財務部	達成
		経済環境部	達成
		上下水道局	おおむね達成
	2 下水道	財務部	達成
		上下水道局	おおむね達成

●達成状況

達成	おおむね達成	やや達成が図れなかった	達成が図れなかった	施策を推進していない
4	7	2	0	0

・第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	達成状況
第1節 市街地・住環境の整備	1 市街地の整備・活性化	都市整備部	おおむね達成
	2 住宅	健康福祉部	おおむね達成
		都市整備部	おおむね達成
3 公園・緑地	都市整備部	おおむね達成	
第2節 総合交通・道路環境の整備	1 総合交通	企画部	おおむね達成
		都市整備部	達成
2 道路環境	都市整備部	やや達成が図れなかった	
第3節 環境との共生・保全	1 生活環境	健康福祉部	達成
		経済環境部	達成
2 自然環境	経済環境部	おおむね達成	
第4節 循環型社会	1 一般廃棄物	経済環境部	おおむね達成

●達成状況

達成	おおむね達成	やや達成が図れなかった	達成が図れなかった	施策を推進していない
3	7	1	0	0

・第5章 産業が元気なまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	達成状況
第1節 農業	1 農業振興	経済環境部	おおむね達成
	2 農地保全	経済環境部	おおむね達成
		農業委員会事務局	おおむね達成
第2節 商工業	1 商業	経済環境部	おおむね達成
	2 工業	経済環境部	やや達成が図れなかった
		都市整備部	やや達成が図れなかった
第3節 労働環境	1 就業・雇用	経済環境部	おおむね達成

●達成状況

達成	おおむね達成	やや達成が図れなかった	達成が図れなかった	施策を推進していない
0	5	2	0	0

・計画の推進のために

大項目	中項目（施策）	推進部局	達成状況
第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進	(1) 透明性の高い市政の推進	企画部	達成
		総務部	やや達成が図れなかった
		監査委員事務局	達成
	(2) 市民参画体制の充実	企画部	おおむね達成
		総務部	おおむね達成
第2章 地域の視点に立ったまちづくりの推進	(1) コミュニティ活動の推進	企画部	おおむね達成
		総務部	やや達成が図れなかった
第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信	(1) 人権の尊重と男女共同参画の推進	企画部	おおむね達成
		健康福祉部	おおむね達成
	(2) 多文化共生社会の推進	企画部	おおむね達成
	(3) 平和と交流によるまちづくりの推進	企画部	おおむね達成
	(4) シティプロモーション・観光の推進	企画部	おおむね達成
		経済環境部	おおむね達成
	都市整備部	おおむね達成	
第4章 持続可能な行政経営の確立	(1) 効率的な行政運営の確立	企画部	おおむね達成
		総務部	おおむね達成
	(2) 健全な財政運営の推進	財務部	やや達成が図れなかった
		会計課	達成
	(3) 公共施設等の一体的なマネジメントの推進	総務部	達成
		財務部	達成
	(4) スマート自治体の推進	企画部	おおむね達成
		総務部	おおむね達成

●達成状況

達成	おおむね達成	やや達成が図れなかった	達成が図れなかった	施策を推進していない
5	14	3	0	0

●達成状況【全体】

達成	おおむね達成	やや達成が図れなかった	達成が図れなかった	施策を推進していない
15	48	11	0	0

4 八千代市第5次総合計画前期基本計画指標達成状況一覧

・第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

大項目	中項目(施策)	推進部局	指標	推進部局	計画策定時	実績値	目標値	達成区分
第1節 子ども・子育て	1 教育・保育環境 (幼児教育)	子ども部	保育園待機児童数	子育て支援課 子ども保育課	31人	16人	0人	向上
			学童保育所待機児童数	子育て支援課	134人	129人	0人	向上
	2 子育て環境	子ども部	子育て支援サイト「にこにこ☆元気」閲覧数	子育て支援課	4,612人	34,027人	7,400人	達成
			子育てしやすいまちと感じている市民の割合	子育て支援課	43.9%	37.9%	55%	低下
			麻しん風しん混合予防接種(第1期・第2期)の接種率	母子保健課	97.9%	92.8%	現状維持	低下
3 子ども・家庭支援	子ども部	児童虐待に関する研修・講習会受講者数	子ども相談センター	304人	95人	400人	低下	
第2節 地域福祉	1 地域共生	健康福祉部	ボランティア登録数	健康福祉課	2,969人	8,181人	3,130人	達成
			ボランティア・地域活動への参加の割合	福祉総合相談課	24.9%	15.7%	30.0%	低下
	2 障害者支援	健康福祉部 子ども部	地域生活支援拠点等の数	障害者支援課	0箇所	1箇所	3箇所	向上
			グループホームの利用者数	障害者支援課	96人	265人	150人	達成
			福祉避難所の協定締結数	障害者支援課	8事業所	10事業所	11事業所	向上
			就労移行支援事業所等を利用して一般就労した人の数	障害者支援課	41人	71人	53人	達成
			外来児童利用者数	児童発達支援センター	4,404人	4,866人	4,914人	向上
			保育所等訪問支援事業支援児童数	児童発達支援センター	124人	145人	288人	向上
	3 高齢者支援	健康福祉部	高齢者福祉サービスが充実していると感じる比率	長寿支援課	29.1%	17.3%	36%	低下
			趣味やボランティア等の地域の会やグループ等に参加又は就労している高齢者の割合	福祉総合相談課 長寿支援課	61.3%	56.7%	65%	低下
	4 生活困窮者支援	健康福祉部	就労支援を受けて就労・増収した生活保護受給者の割合	生活支援課	40.0%	62.1%	46%	達成
			学習支援を受けて高校等へ進学した生徒の割合	福祉総合相談課	100%	100%	現状維持	達成
			学習支援を受けて高校等で学習を継続している学生の割合	福祉総合相談課	100%	100%	現状維持	達成
第3節 社会保険	1 国民健康保険・後期高齢者医療	健康福祉部	国民健康保険料収納率(現年分)	国保年金課	90.30%	92.43%	93.02%	向上
			特定健康診査受診率	健康づくり課 国保年金課	30.6%	30.4%	36%	低下
	2 介護保険	健康福祉部	利用している介護サービスに不満がない人の割合	長寿支援課	24.4%	24.6%	30.0%	向上
			介護保険料収納率(普通徴収)	長寿支援課	89.1%	95.2%	90.0%	達成
	3 国民年金	健康福祉部	地域包括支援センターの認知度	福祉総合相談課	51.9%	54.3%	60.0%	向上
国民年金保険料現年度納付率			国保年金課	69.9%	79.7%	74.0%	達成	
第4節 健康	1 保健	健康福祉部	自分が健康だと感じている市民の割合	健康づくり課	77.8%	66.9%	80%	低下
			65歳平均自立期間(男性)	健康づくり課	18.22年	18.26年	延伸	達成
			65歳平均自立期間(女性)	健康づくり課	21.13年	21.11年	延伸	低下
			ゲートキーパー養成講座修了者数	健康づくり課	100人	743人	400人	達成
			定期的に健康診断・健康診査を受けたり人間ドックを利用する市民の割合	健康づくり課	65.0%	68.0%	70%	向上
	2 医療	健康福祉部	地域医療体制が整っていると感じている市民の割合	健康福祉課	57.8%	37.6%	60%	低下

●達成状況

達成	向上	維持	低下
11	10	0	10

・第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

大項目	中項目(施策)	推進部局	指標	推進部局	計画策定時	実績値	目標値	達成区分
第1節 教育	1 義務教育	教育委員会 (学校)	校舎及び体育館のトイレの 乾式化	教育総務課	64%	72%	75%	向上
			外国語教育全時数に対する ALT派遣率	指導課	61.5%	82.2%	85%以上	向上
			タブレット端末を利用した 授業の割合	教育センター	-	54.0%	75%	向上
			新体力テスト総合評価のうち、 上位3段階の児童の割合 (小学校)	保健体育課	76.6%	64.5%	80%	低下
			新体力テスト総合評価のうち、 上位3段階の生徒の割合 (中学校)	保健体育課	77.5%	71.3%	80%	低下
			食物アレルギー対応の品目 拡大	保健体育課	2品目	7品目	7品目	達成
	2 高校・大学教育	教育委員会 (学校)	教職体験受入校の割合	指導課	100%	100%	現状維持	達成
3 青少年健全育成	教育委員会 (学校)(社会教育)	青少年育成団体数	生涯学習振興課	51団体	40団体	53団体	低下	
第2節 生涯学習	1 生涯学習	教育委員会 (社会教育)	まちづくりふれあい講座の 講座数	生涯学習振興課	65講座	68講座	70講座	向上
			市民一人当たりの年間図書 貸出冊数	中央図書館	5.35冊	4.42冊	6冊	低下
			公民館まつり来場者数	八千代台東南公民館	4,862人	1,676人	7,400人	低下
			生涯学習ボランティアバンク 制度を活用した講座の実 施数	生涯学習振興課	17回	16回	40回	低下
			生涯学習情報が得られやす いと感じている市民の割合	生涯学習振興課	26.2%	15.9%	35%	低下
第3節 文化	1 市民文化	教育委員会 (社会教育)	市民文化祭参加団体数	文化・スポーツ課	33団体	31団体	35団体	低下
			市民文化祭参加者・参観者 数	文化・スポーツ課	43,837人	37,309人	55,000人	低下
			文化施設利用人数	文化・スポーツ課	368,879人	364,340人	467,000人	低下
	2 文化財	教育委員会 (社会教育)	市指定文化財件数	文化・スポーツ課	27件	28件	31件	向上
			郷土博物館利用者数	郷土博物館	21,599人	12,830人	25,000人	低下
			文化伝承館利用者数	郷土博物館	9,141人	7,387人	10,000人	低下
第4節 スポーツ	1 スポーツ・レク リエーション	教育委員会 (社会教育)	週1回以上のスポーツ実施 率	文化・スポーツ課	36.6%	58.4%	50%	達成
			スポーツ推進委員依頼講座 数	文化・スポーツ課	39回	27回	43回	低下
			体育施設利用者数	文化・スポーツ課	591,339人	527,940人	703,000人	低下

●達成状況

達成	向上	維持	低下
3	5	0	14

・第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

大項目	中項目(施策)	推進部局	指標	推進部局	計画策定時	実績値	目標値	達成区分
第1節 暮らしの安心	1 市民相談	総務部	法律相談を受けて満足した 人の割合	コミュニティ推進課	76%	67%	80%	低下
	2 消費生活	総務部	消費生活センターが身近な 消費生活相談窓口であるこ とを知っている市民の割合	消費生活セン ター	44.4%	40.5%	50%	低下
第2節 暮らしの安全	1 防災・減災	総務部 健康福祉部 都市整備部	自主防災組織カバー率	危機管理課	56.4%	53.0%	66%	低下
			避難所運営委員会の設立率	危機管理課	48.5%	76.5%	100%	向上
			防災行政用無線(固定系) のデジタル化	危機管理課	50.4%	100.0%	100%	達成
			急傾斜地崩壊対策整備率	土木建設課	91.4%	94.6%	93.9%	達成
	2 消防	消防本部	消防団安全装備品貸与率	消防総務課	33.3%	91.4%	92%	向上
			防火水槽数(公設)	警防課	449基	453基	461基	向上
			応急手当普及率(普通救命講 習)	警防課	9.9%	11.3%	10.4%	達成
	3 防犯	総務部	補助金を交付して設置した 防犯カメラの台数	危機管理課	0台	34台	40台	向上
4 交通安全	都市整備部	放置自転車の撤去台数	土木維持課	1,308台/年	932台/年	1,000台/年 以内	達成	

大項目	中項目(施策)	推進部局	指標	推進部局	計画策定時	実績値	目標値	達成区分
第3節 上下水道	1 水道	財務部 経済環境部 上下水道局	市内全域の水道管路における耐震化率	上水道課	59.3%	63.4%	64.5%	向上
	2 下水道	財務部 上下水道局	水洗化率	給排水相談課	99.2%	99.2%	99.6%	維持
			雨水整備率	下水道課	43.3%	46.8%	43.5%	達成

●達成状況

達成	向上	維持	低下
5	5	1	3

・第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

大項目	中項目(施策)	推進部局	指標	推進部局	計画策定時	実績値	目標値	達成区分
第1節 市街地・住環境 の整備	1 市街地の整備・活性化	都市整備部	地域の特性を活かした土地利用が図られていると感じている市民の割合	都市計画課	24.6%	15.3%	26.6%	低下
			地域まちづくり活動団体の登録件数	まちづくり推進室	0件	0件	4件	維持
	2 住宅	健康福祉部 都市整備部	新築戸建住宅に対する長期優良住宅認定件数の割合	建築指導課	39.2%	40.6%	増加	達成
			住宅の耐震化率	建築指導課	94.5%	94.5%	おおむね解消	維持
			管理不全の空家等の割合	建築指導課	55%	53.8%	減少	達成
			市営住宅管理戸数	健康福祉課	114戸	111戸	127戸	低下
	3 公園・緑地	都市整備部	都市公園の面積	公園緑地課	951,100㎡	1,012,511㎡	1,020,000㎡	向上
			緑豊かなまちと感じている市民の割合	公園緑地課	79.2%	69.5%	83%	低下
			環境美化ボランティア制度実施公園数	公園緑地課	66か所	67か所	70か所	向上
第2節 総合交通・道路 環境の整備	1 総合交通	企画部 都市整備部	鉄道が利用しやすいと感じている市民の割合	企画経営課 都市計画課	65.6%	62.5%	70%	低下
			市内のバスが利用しやすいと感じている市民の割合	都市計画課	42.5%	31.5%	60%	低下
			市内・市外間の移動がしやすいと感じている市民の割合	都市計画課	53.5%	43.9%	60%	低下
			交通弱者にやさしい交通環境と感じている市民の割合	都市計画課	26.7%	14.4%	40%	低下
	2 道路環境	都市整備部	道路環境が整っていると感じる市民の割合	都市計画課 土木管理課 土木建設課 土木維持課	38.9%	32.8%	60%	低下
			都市計画道路の整備済延長	土木建設課	45,562m	45,702m	46,757m	向上
			市道の改良整備率	土木建設課	73.0%	75.2%	73.4%	達成
			官民境界の確定進捗率	土木管理課	9.1%	10.7%	9.6%	達成
第3節 環境との共生・ 保全	1 生活環境	健康福祉部 経済環境部	環境基準達成度	環境政策課	87.5%	89.6%	89.3%	達成
			生活排水処理率	環境政策課	97.1%	97.6%	98.7%	向上
			まちにごみがなくきれいだと感じている市民の割合	クリーン推進課	70.8%	72.3%	75%	向上
			合葬式墓地の供給数	健康福祉課	1,714体分	2,556体分	2,465体分	達成
	2 自然環境	経済環境部	市の事務事業による温室効果ガス排出量	ゼロカーボン推進室	51,746t-CO2/年	44,922-CO2/年	49,159-CO2/年	達成
第4節 循環型社会	1 一般廃棄物	経済環境部	環境学習講座等参加者数	ゼロカーボン推進室	2,126人/年	609人/年	2,200人/年	低下
			市民1人1日当たりのごみの総排出量	クリーン推進課	768g	710g	707g	向上
			市民1人1日当たりのごみの総排出量(資源物を除いた排出量)	クリーン推進課	661g	615g	599g	向上
			リサイクル率	クリーン推進課	20.2%	19.2%	21.5%	低下
			一般廃棄物処理量	クリーン推進課	54,658t	52,457t	51,782t	向上
			し尿及び浄化槽汚泥の処理量	クリーン推進課	11,196 kl/年	10,780 kl/年	10,752 kl/年	向上

●達成状況

達成	向上	維持	低下
7	9	2	10

・第5章 産業が元気なまちづくり

大項目	中項目（施策）	推進部局	指標	推進部局	計画策定時	実績値	目標値	達成区分
第1節 農業	1 農業振興	経済環境部	体験農園利用者数	農政課	28,450人	47,700人	29,000人	達成
			有害鳥獣捕獲駆除数	農政課	66頭	51頭	150頭	低下
			認定農業者数（経営体数）	農政課	93件	95件	108件	向上
			家族経営協定の締結件数	農政課	31件	32件	37件	向上
	2 農地保全	経済環境部 農業委員会事務局	水田の再基盤整備面積	農政課	306.5ha	306.5ha	342.1ha	維持
			担い手への農地集積面積	農政課	278.4ha	358.7ha	335.6ha	達成
第2節 商工業	1 商業	経済環境部	商店街の空き店舗率	商工観光課	11.1%	9.3%	7.4%	向上
			小売業の年間商品販売額	商工観光課	165,995百万円	158,982百万円	現状維持	低下
	2 工業	経済環境部 都市整備部	1事業所当たりの年間出荷額	商工観光課	1,907百万円	1,729百万円	1,926百万円	低下
第3節 労働環境	1 就業・雇用	経済環境部	「八千代地域職業相談室」に求職相談した人の就職率	商工観光課	17.1%	19.2%	19.6%	向上

●達成状況

達成	向上	維持	低下
2	4	1	3

・計画の推進のために

大項目	中項目（施策）	推進部局	指標	推進部局	計画策定時	実績値	目標値	達成区分
第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進	(1) 透明性の高い市政の推進	企画部 総務部 監査委員事務局	市民が知りたい行政情報が十分に提供されていると感じている市民の割合	広報広聴課 法務課	37.1%	24.4%	50%	低下
	(2) 市民参画体制の充実	企画部 総務部	各種審議会等における公募による市民委員の割合	コミュニティ推進課	23.1%	22.4%	25%	低下
市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられていると感じている市民の割合			秘書課 広報広聴課 コミュニティ推進課	23.4%	12.9%	30%	低下	
第2章 地域の視点に立ったまちづくりの推進	(1) コミュニティ活動の推進	企画部 総務部	自治会加入世帯数	コミュニティ推進課	50,005世帯	48,138世帯	51,000世帯	低下
第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信	(1) 人権の尊重と男女共同参画の推進	企画部 健康福祉部	各種審議会等における女性委員の割合	男女共同参画センター	31.5%	34.4%	40.0%	向上
			性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できると感じている市民の割合	男女共同参画センター	30.4%	22.0%	40%	低下
	(2) 多文化共生社会の推進	企画部	日本語教室の受講者数	シティプロモーション課	2,356人	2,618人	3,000人	向上
			国際交流イベントの参加者数	シティプロモーション課	1,771人	717人	2,000人	低下
	(3) 平和と交流によるまちづくりの推進	企画部	国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいと思う市民の割合	シティプロモーション課	30.0%	29.8%	50%	低下
	(4) シティプロモーション・観光の推進	企画部 経済環境部 都市整備部	観光入込客数	観光推進室	1,178,240人地点	1,152,670人地点	1,335,000人地点	低下
新川周辺が活性化していると感じている市民の割合			企画経営課	39.5%	33.5%	55%	低下	
第4章 持続可能な行政経営の確立	(1) 効率的な行政運営の確立	企画部 総務部	行政が自らの責任と判断に基づき行政経営が行われていると感じている市民の割合	企画経営課	23.1%	14.8%	50%	低下
	(2) 健全な財政運営の推進	財務部 会計課	市税徴収率	納税課	96.9%	97.7%	97.0%	達成
			公債費負担比率	財政課	14.2%	10.2%	14.0%以下	達成
			財政調整基金残高	財政課	標準財政規模の約7.0%	標準財政規模の約7.4%	標準財政規模の10.0%以上	向上
			市債残高	財政課	約512億円	約374億円	450億円以下	達成
(3) 公共施設等の一体的なマネジメントの推進	総務部 財務部	公共施設でのサービス、また、設備や管理が適切と感じている市民の割合	資産管理課	41.0%	35.3%	50%	低下	

●達成状況

達成	向上	維持	低下
3	3	0	12

●達成状況【全体】

達成	向上	維持	低下
31	36	4	52

5 施策及び指標に対する総括

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

1 教育・保育環境（幼児教育）

柱	大項目	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり		
	中項目	第1節 子ども・子育て		
	将来のまちの姿 基本方針	1 教育・保育環境（幼児教育）		
		充実した教育・保育環境が整う子育てしやすいまち		
		「八千代市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、計画的に保育の受け皿の確保を進めるとともに、単に必要量を確保するだけではなく、教育希望のニーズの高まりも踏まえ、様々な手法を検討した上で、効率的かつ効果的な受け皿の確保に努めます。併せて、教育・保育の質の向上を図り、希望する教育・保育が選択できる子育てしやすい環境の整備に取り組みます。		
		推進部局（担当課）：子ども部（子育て支援課）		
		達成状況	やや達成が図れなかった	
		内容・取組効果	「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、既存施設を活用しつつ、小規模保育事業所を市内20箇所整備することにより、保育ニーズに対する受け皿を一定程度確保し、待機児童の解消に努めるとともに、既存の幼稚園を活用する送迎保育ステーションの設置を進め、教育ニーズに対応した受け皿の確保に取り組みました。なお、新たな送迎保育ステーションの設置につきましては、保護者へのアンケート調査の結果を踏まえ、見送りました。また、保育士等の処遇改善により、保育の質の向上を図りました。	
		課題・改善案	本市における保育ニーズは依然として高く、待機児童の解消には至っていません。また、こどもの育ちの連続性を確保するため、幼保小連携を推進していく必要があります。	
		今後の方向性及び方針	「第3期子ども・子育て支援事業計画」における基本的な整備方針は維持しつつ、待機児童の発生状況、将来的な保育ニーズも踏まえて、待機児童解消に向けて受け皿の確保をしていきます。	
指標	保育園待機児童数	担当課：子育て支援課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	31	向上	↑
	目標値	最終値		
	0	16		
	内容・取組効果	保育ニーズの高まりにより、目標となる待機児童の解消を達成できませんでした。		
	課題・改善案	待機児童の発生状況等を分析し、既存施設の活用を図りつつ、小規模保育事業所等の整備により保育の受け皿を確保し、待機児童の解消に向けて、環境の整備を行います。		
		担当課：子ども保育課		
	内容・取組効果	令和3年度から6年度にかけて、小規模保育事業所を14施設整備し、保育ニーズが高い1・2歳児クラスの受け皿を拡大しました。また、送迎保育ステーションの整備や認定子ども園への移行などを通じて既存施設の活用を進め、待機児童数の削減に努めました。		
	課題・改善案	待機児童は減少傾向にありますが、解消には至っていないため、引き続き、既存施設を最大限活用する方針を維持しつつ、保育ニーズの実態に応じた必要な受け皿の確保をしていきます。		

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

2 子育て環境

柱	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり			
大項目	第1節 子ども・子育て			
中項目	2 子育て環境			
将来のまちの姿 基本方針	安心して子育てができる環境が整ったまち			
	安心して子育てをするためには、妊娠・出産期から切れ目ない支援を行っていくことが必要です。このため、子育てで孤立することがないように保護者同士の交流の機会の提供や相談支援の充実のほか、子育てに関する情報提供の充実、一時預かり事業等の利便性の向上など子育てに対する不安や負担の軽減を図ります。また、学童保育所や放課後子ども教室をはじめとした多様な子どもの居場所を確保していくなど、本市で子育てをしたいと思える事業の展開を目指します。			
	推進部局（担当課）：子ども部（子育て支援課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	「第2期子ども・子育て支援事業計画」の施策の方向に沿って、子育て世帯の親、こどもに切れ目のない支援を実施するため、子育て世代包括支援センターを設置し、情報発信、相談体制の充実を図りました。また、全てのこどもが発達段階に応じた幼児期の教育・保育を受けられるように保育ニーズの実態に応じて、小規模保育事業所の整備を行うとともに、学童保育所、放課後子ども教室をはじめとしたこどもが安心・安全に過ごせる居場所の確保に努めました。		
	課題・改善案	学童保育については、待機児童が発生していることから、今後も待機児童解消に向けて取り組むとともに、すべての小学校において放課後子ども教室を開催できるよう整備を進めてまいります。		
	今後の方向性及び方針	「第2期子ども・子育て支援事業計画」の次期計画である「こども計画」に基づき、引き続き子育て世帯に対し切れ目のない支援を実施するとともに、子育てに対する相談体制の機能強化を図るため、こども家庭センターの開設や利用者支援事業の拡充に向けた検討を進めてまいります。		
指標	学童保育所待機児童数	担当課：子育て支援課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	134	向上	↑
	目標値	最終値		
	0	129		
	内容・取組効果	学校敷地内での学童専用施設の整備、余裕教室の確保などを行い、令和7年4月1日現在で定員を2,325名に拡大しました。また、併せてニーズの高い夏休みのみ定員拡大を実施しました。		
	課題・改善案	定員の拡大を図っても、入所申請者数も増加していることにより、4年生以上の高学年を中心に依然として待機児童が生じています。引き続き、関係部局と協議し、余裕教室等の確保など受け皿の確保に努め、待機児童対策を図ります。		
	子育て支援サイト「にこにこ☆元気」閲覧数	担当課：子育て支援課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	4,612	達成	↑
	目標値	最終値		
	7,400	34,027		
	内容・取組効果	令和5年3月に市ホームページの改修に合わせ、新たに作成した子育て支援サイトに子育て関連情報を集約し、情報の周知を図りました。		
	課題・改善案	引き続き、必要な方に閲覧していただけるよう、子育て支援サイトの見やすさ等を検討するとともに、必要な情報の周知を図ってまいります。		
	子育てしやすいまちと感じている市民の割合	担当課：子育て支援課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	43.9	低下	↓
	目標値	最終値		
	55	37.9		
	内容・取組効果	「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、基本目標の達成に向けて各事業を実施しましたが、目標達成に至れなかったため、引き続き、目標達成に向け取り組んでまいります。		
	課題・改善案	一部達成できなかった事業もあることから、「こども計画」の基本理念である『すべてのこどもが健やかに育つまち やちよ』を目指して、各事業の推進を図ってまいります。		

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

2 子育て環境

指標	麻しん風しん混合予防接種（第1期・第2期）の接種率		担当課：母子保健課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	97.9	低下	↓
	目標値	最終値		
	現状維持	92.8		
内容・取組効果	個別通知のほか、広報・ホームページ等で接種勧奨に努めました。令和6年度は、一部の製造会社において当該ワクチンの製造中止が生じたことでワクチン供給の偏在が起これ、接種期間内の接種が困難な事案が発生しました。これにより「麻しんに関する特定感染症予防指針（厚生労働省）」及び「風しんに関する特定感染症予防指針（厚生労働省）」に掲げられている、発生の予防に最も有効な対策である「麻しん風しん予防接種（1期2期とも）」の接種率95%以上が達成できなかつたと推察します。			
課題・改善案	令和6年度対象者は国の特例措置により2年間の接種期間延長が実施されています。例年、年度末近くの駆け込み接種が多いことから、この時期の接種予約が取りにくくなる傾向があるため、引き続き、計画的な接種の勧奨や、接種の必要性の周知に努めていきます。			

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

3 子ども・家庭支援

柱	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり				
	大項目 第1節 子ども・子育て				
	中項目 3 子ども・家庭支援				
	将来のまちの姿 基本方針 全ての子どもや家庭への支援が整い、子どもの人権が守られているまち				
	児童虐待の早期発見・再発防止を図るため、関係機関と連携した支援体制を強化するとともに、相談窓口の普及・啓発を始めとした児童虐待防止啓発活動を継続的に実施していきます。また、ひとり親家庭が、仕事と子育てを両立させ、生活の安定と経済的に自立できる環境を整備するため、関係機関と連携し、相談支援や経済的支援の充実に努めます。				
	推進部局（担当課）：子ども部（子ども相談センター）				
	達成状況	おおむね達成			
	内容・取組効果	子ども相談センターを子ども家庭総合支援拠点として位置付け、相談体制の整備を図りました。また、ひとり親家庭に対し経済的支援のほか、自立に向けた福祉、雇用などを支援するための相談体制を整備しました。			
	課題・改善案	虐待相談件数は横ばい傾向であり、ひとり親家庭は年度により変動はありますが、引き続き支援に取り組む必要があります。			
	今後の方向性及び方針	児童虐待の発生予防、早期発見、再発防止に向けて、要保護児童対策地域協議会や関係機関との連携を強化するとともに、対応する職員の人材育成に努めていきます。また、ひとり親家庭の生活の安定と自立のため、相談体制や支援の充実に努めます。			
	指標	児童虐待に関する研修・講習会受講者数	担当課：子ども相談センター		
		単位	現況値（策定時）	達成状況	
		人	304	低下	↓
		目標値	最終値		
		400	95		
内容・取組効果		児童虐待に関する研修・講習会受講者数について目標値を達成できませんでした。こどもと関わる機会が多い保育園や学童保育所の職員が研修に参加することで、児童虐待の理解を深め、児童虐待の早期発見につながっています。			
課題・改善案	複雑化・複合化した課題のある家庭の対応が多く、こどもと関わる職員向けの研修の実施回数を増やすことが困難です。				

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第2節 地域福祉

1 地域共生

柱	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり			
	第2節 地域福祉			
大項目	1 地域共生			
	一人ひとりが互いを認め合い、支え合いながら誰もが安心して暮らすまち			
	市民一人ひとりが家庭や地域社会の中で、年齢や障害の有無にかかわらず、人としての尊厳を持ち、住み慣れた地域で、安心して生活が送れるよう、行政のみならず地域住民やボランティア、地域団体などとの連携により、支え合い助け合える温かみとふれあいのある地域づくりを総合的に推進します。			
	推進部局（担当課）：健康福祉部（健康福祉課）			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	福祉サービスを担う活動団体等と連携し、事業への関わりや補助金等を通じて、人材育成や活動支援に努めました。		
	課題・改善案	活動団体の交流場所や活動場所を確保するとともに、情報共有できる機会を確保していく必要があります。また、活動団体の人材不足や高齢化への対応も課題となっています。		
	今後の方向性及び方針	引き続き、社会福祉協議会やボランティア団体等と連携し、ボランティア団体が活発に活動できるよう取り組んでいきます。		
	指標	ボランティア登録数	担当課：健康福祉課	
		単位	現況値（策定時）	達成状況
人		2,969	達成	↑
目標値		最終値		
3,130		8,181		
内容・取組効果		社会福祉協議会と連携して、ボランティア団体同士の連携や情報交換を促進するため、交流する場を設け、活動の活性化を図りました。また、市民活動サポートセンターと機能統合（令和5年4月）したことに伴い、ボランティア登録数が大幅に増加しました。		
課題・改善案		高齢化によるボランティア活動の担い手等の不足を改善するため、ボランティア活動について、より周知する方法を検討する必要があります。		
ボランティア・地域活動への参加の割合		担当課：福祉総合相談課		
単位		現況値（策定時）	達成状況	
%		24.9	低下	↓
目標値		最終値		
30.0		15.7		
内容・取組効果		市民アンケートや地域懇談会を実施して地域の現状や課題を把握し、様々な地域生活課題に柔軟に対応できるよう、ボランティア・地域活動の推進を図りました。		
課題・改善案		地域活動に興味・関心を持たない層へも、ボランティア活動や地域活動の情報発信を行い、支え合い活動が活発になるよう取り組んでいく必要があります。		

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第2節 地域福祉

2 障害者支援

柱	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり			
大項目	第2節 地域福祉			
中項目	2 障害者支援			
将来のまちの姿	障害の有無にかかわらず、一人ひとりが互いに自主性や主体性を尊重し、住み慣れた地域で安心して暮らすまち			
基本方針	障害者やその家族が地域社会の中で人々と共生しながら、住み慣れた地域で安心してともに暮らし社会に参加していくことを目標に、障害のある人の自己決定・自己実現を支援するとともに、障害のある人に対する理解を促進し、虐待防止や差別の解消、権利擁護、情報保障のための取組、障害福祉サービス等や相談支援体制の充実を推進します。			
	推進部局（担当課）：健康福祉部（障害者支援課）			
達成状況	おおむね達成			
内容・取組効果	障害者やその家族が地域社会の中で人々と共生しながら、住み慣れた地域で安心してともに暮らし社会に参加していくことを目標に、障害のある人の自己決定・自己実現を支援するとともに、障害のある人に対する理解を促進し、虐待防止や差別の解消、権利擁護、情報保障のための取組、障害福祉サービス等や相談支援体制の充実に向けて、様々な取組を実施することができました。			
課題・改善案	支援の拡充は図られていますが、それを上回る障害者数の増加や重度化・高齢化に伴う支援ニーズへの対応も求められており、引き続き、取組を進めていく必要があります。			
今後の方向性及び方針	引き続き、障害のある人の自己決定・自己実現を支援するとともに、障害のある人に対する理解を促進し、虐待防止や差別の解消、権利擁護、情報保障のための取組、障害福祉サービス等や相談支援体制の充実を図ります。			
	推進部局（担当課）：子ども部（母子保健課）			
達成状況	達成			
内容・取組効果	健康診断を実施することにより、健康の保持増進を図るとともに、障害の予防や早期発見に努め、適切な支援及び療育につなげるための支援を行いました。			
課題・改善案	健康診査は個別に通知し、各種事業でも受診勧奨に努めていきます。			
今後の方向性及び方針	引き続き、受診勧奨に努め、千葉県の平均受診率と同程度の受診率を維持してまいります。また、受診結果に応じた適切な支援に努めます。			
指標	地域生活支援拠点等の数		担当課：障害者支援課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	か所	0	向上	↑
	目標値	最終値		
	3	1		
内容・取組効果	一つの拠点で丁寧な周知と事業基盤の確立に注力したため、拠点数を増やすことが出来なかったが、質の高い支援の確実な提供に繋がる基盤を構築できた。今後は多拠点化を推進し、地域への支援を拡充してまいります。			
課題・改善案	当事業への認知度が低いとため、引き続き周知・啓発活動に取り組んでいきます。			
	グループホームの利用者数		担当課：障害者支援課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	96	達成	↑
	目標値	最終値		
	150	265		
内容・取組効果	自宅での生活が難しい場合でも、地域社会の中で生活することができる方が増加しました。			
課題・改善案	地域社会の中で人々と共生し、その人らしく暮らせるよう、引き続き障害福祉サービス等の充実をはじめ、自己決定、自己実現の支援や、権利を擁護するための仕組みが必要です。			

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第2節 地域福祉

2 障害者支援

指標	福祉避難所の協定締結数		担当課：障害者支援課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	事業所	8	向上	↑
	目標値	最終値		
	11	10		
	内容・取組効果	八千代市児童発達支援センターと八千代特別支援学校を福祉避難所に指定しました。		
	課題・改善案	福祉避難所の指定に際し、人員等の体制だけではなく、受入可能な設備・備蓄が整わないことなどが課題となっています。		
	就労移行支援事業所等を利用して一般就労した人の数		担当課：障害者支援課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	41	達成	↑
	目標値	最終値		
	53	71		
	内容・取組効果	障害者手帳取得者が増加していることに加え、手帳取得時の制度案内を着実にやってきた結果、一般就労者が増加しています。		
	課題・改善案	目標達成という大きな成果を、次のステップへの確かな弾みとし、今後も利用者一人ひとりの就労とその定着を力強く支援してまいります。		
	外来児童利用者数		担当課：児童発達支援センター	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	4,404	向上	↑
	目標値	最終値		
	4,914	4,866		
	内容・取組効果	専門職を増員するとともに、令和6年の施設建替時に相談室を増設したことにより、対応件数が増加し、新規相談の待機期間の短縮にもつながりました。		
課題・改善案	相談希望者は、引き続き増加傾向にあり、専門職の更なる増員及び育成が必要と考えています。			
保育所等訪問支援事業支援児童数		担当課：児童発達支援センター		
単位	現況値（策定時）	達成状況		
人	124	向上	↑	
目標値	最終値			
288	145			
内容・取組効果	外来グループ及び児童発達支援センターを卒園した児童の継続的な支援を行うため、保護者宛に周知を行い、年2回程度の支援を実施するなど、支援児童数の増加を図りましたが、民間事業所が実施する保育所等訪問支援の選択も可能であるため、支援児童数の増加は微増に留まりました。			
課題・改善案	今後、保育所等訪問支援の認知度が高まるにつれ、支援児童数の増加が見込まれますが、民間事業所を選択することも可能であるため、現在の支援体制を維持していきます。 なお、幼稚園及び認定こども園からの希望による園児の観察と支援提案を行う施設支援指導事業では、実施する事業所が少ない中、園からの希望が増加しているため、地域の中核的役割を担うべき児童発達支援センターとしては、こうした機能を含め支援体制の充実を図っていきます。			

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり
 第2節 地域福祉
 3 高齢者支援

柱	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり			
	第2節 地域福祉			
大項目	3 高齢者支援			
	高齢者が生涯にわたり健やかで安心した生活を送るまち			
	高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも、自分らしく、安心して、豊かな生活を送れるまちを、すべての世代の市民とともに支え合いながら作り上げることを目指すとともに、介護保険事業と連携し、保健・医療・福祉における各サービスの総合的な支援を推進します。			
	推進部局（担当課）：健康福祉部（長寿支援課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	高齢者外出支援事業、高齢者運転免許証自主返納支援事業とともに、タクシー運賃の一部を助成するために、タクシー券を交付しました。また、高齢者の知識や経験を活かすシルバー人材センターや老人クラブの活動を支援するとともに、「ふれあい大学校」を開催し、高齢者の学ぶ機会を充実させました。		
	課題・改善案	高齢者外出支援タクシー券については、令和6年度より距離要件を撤廃し、要介護・要支援認定を受け、住民税非課税の方を対象にしたため、対象者が大幅に増加しました。また、高齢化の進展に伴い、老人クラブ等の会員が減少傾向にあることから会員の確保も課題となっています。		
	今後の方向性及び方針	事業の周知に努めるとともに、地域公共交通部門などとの連携を図りながら、外出支援施策の充実に向け検討してまいります。また、元気な高齢者を増やしていくために、通いの場としての施策を、引き続き実施していきます。		
	指標	高齢者福祉サービスが充実していると感じる比率	担当課：長寿支援課	
		単位	現況値（策定時）	達成状況
%		29.1	低下	↓
目標値		最終値		
36		17.3		
内容・取組効果		<p>下記のとおり、様々な施策を実施したが、目標達成には至りませんでした。</p> <p>調理困難なひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に、配食サービスを実施し、安否確認を行うとともに利用料の一部を助成しました。ひとり暮らし高齢者等の自宅にある緊急通報システムに相談機能を追加し、相談体制の充実を図りました。</p> <p>在宅で寝たきり高齢者等に紙おむつ等の介護用品購入費を助成しました。在宅で寝たきりの高齢者及び在宅で同居の家族から常時介護を受けている重度認知症高齢者に対し、手当を支給しました。</p> <p>徘徊する心配のある高齢者を介護している家族に位置情報検索システムを利用する費用の一部を助成しました。</p> <p>ひとり暮らし世帯の所得税非課税高齢者に、火災警報器・電磁調理器・自動消火器の給付及び老人福祉電話の貸与を行いました。</p>		
課題・改善案		ひとり暮らし高齢者が増加しているため、今後も在宅福祉サービスの周知に努めるとともに、引き続き制度の充実に向け検討してまいります。		
趣味やボランティア等の地域の会やグループ等に参加又は就労している高齢者の割合		担当課：福祉総合相談課		
単位		現況値（策定時）	達成状況	
%		61.3	低下	↓
目標値	最終値			
65	56.7			
内容・取組効果	社会参加・介護予防・生活支援・住民主体の活動・多様な主体による多様なサービス・地域づくりに着目し、社会資源情報をパンフレットにまとめて情報提供を行いました。			
課題・改善案	今後の高齢化の進展に伴い、生きがいを持って暮らせる環境づくりを推進します。社会資源情報については、パンフレットの他、インターネットでも検索できるようにしていきます。			
担当課：長寿支援課				
内容・取組効果	高齢者の知識と経験を活かした就労機会の確保及び地域社会の支え手として活躍できる場の確保並びに生涯学習の充実による学びなど、生きがいを持って暮らせる環境づくりを推進するため、老人クラブや八千代市シルバー人材センターに補助金を交付するとともに、ふれあい大学校を開催いたしました。			
課題・改善案	生きがいを持って暮らせる環境づくりを推進するため、通いの場としての施策として引き続き、シルバー人材センター、老人クラブの補助を行っていくとともに、「ふれあい大学校」を開催し、高齢者の学ぶ機会の充実を図ってまいります。			

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり
 第2節 地域福祉
 4 生活困窮者支援

柱	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり			
大項目	第2節 地域福祉			
中項目	4 生活困窮者支援			
将来のまちの姿 基本方針	生活に困っている人が必要な支援を受けることができ、自立し安定した生活を送るまち			
	生活困窮者の安定した生活と自立を支援するとともに、「貧困の連鎖」を防ぐ観点から、低所得者世帯の子どもたちへの就学支援の充実を図ります。 また、多種多様な課題を抱える生活困窮者の状況に応じ、就労に向けた支援や必要な各種福祉分野につなげる相談支援体制に努めます。			
	推進部局（担当課）：健康福祉部（福祉総合相談課）			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	生活困窮者自立支援事業については、令和7年4月の事業実施に向け、令和6年12月に民間事業者と契約を締結し、開設の準備を行いました。学習支援事業についても、令和7年度中の委託に向け、調整を行いました。		
	課題・改善案	委託による生活困窮者自立支援事業を開始した際には、就労準備支援事業による効果的な支援と利用人数の増加が課題です。そのため、先進地視察を含め、抜本的に事業の実施方法を見直すとともに、周知や広報を積極的に行います。学習支援事業についても、令和7年度中の委託に向け、調整を行います。		
	今後の方向性及び方針	業務委託に向け準備を進めていきます。		
指標	就労支援を受けて就労・増収した生活保護受給者の割合	担当課：生活支援課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	40.0	達成	↑
	目標値	最終値		
	46	62.1		
	内容・取組効果	生活保護受給者のうち就労支援を受けて就労・増収につながった割合が目標値を上回ることができました。		
	課題・改善案	職歴、性格、特性など個々の状況に合わせて手厚い就労支援を継続し、更に実績値を上昇できるようにしていきたいと考えています。		
	学習支援を受けて高校等へ進学した生徒の割合	担当課：福祉総合相談課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	100	達成	↑
	目標値	最終値		
	現状維持	100		
	内容・取組効果	参加者に対し、学習支援を通じて、基礎学力習得と進学に対する意欲の向上を図りました。学習支援を受けた全ての中学3年生が高校進学することができました。		
	課題・改善案	現在の実施体制では参加者数を増やすことが難しいため、今後は、業務委託に向けた準備を進めます。		
	学習支援を受けて高校等で学習を継続している学生の割合	担当課：福祉総合相談課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	100	達成	↑
	目標値	最終値		
	現状維持	100		
	内容・取組効果	高校中退を防止するために、高校卒業に必要な基礎学力の向上や卒業への意欲の向上を図りました。不登校気味の高校生も参加し、学業を続けることができました。		
	課題・改善案	現在の実施体制では参加者数を増やすことが難しいため、今後は、業務委託に向けた準備を進めます。		

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第3節 社会保険

1 国民健康保険・後期高齢者医療

柱	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり			
大項目	第3節 社会保険			
中項目	1 国民健康保険・後期高齢者医療			
将来のまちの姿 基本方針	持続可能な医療保険制度によって、被保険者が健康に暮らすまち			
	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正な運営に努めるとともに、被保険者の健康の保持・増進のために、保健・医療・福祉との連携による予防医療を中心とした保健事業の充実を図ります。			
	推進部局（担当課）：健康福祉部（国保年金課）			
達成状況	やや達成が図れなかった			
内容・取組効果	国民健康被保険者の「健康増進（健康寿命の延伸）」と「医療費の適正化」に向けた取組として、令和6年度より6か年計画で策定している第3期八千代市保健事業実施計画において上記取組に資する各保健事業を実施し、事業ごとの目標値を設定しているが、達成できていない項目があります。			
課題・改善案	特定健診受診率向上事業等において過去の受診状況や医療レセプト等を参考に対象者の特性に合わせた受診勧奨を強化するなど、未受診者の行動変容を促す施策を推進します。			
今後の方向性及び方針	第3期八千代市保健事業実施計画を推進することにより、特定健診受診率向上のほか、生活習慣病の重症化予防等に努めます。			
指標	国民健康保険料収納率（現年分）		担当課：国保年金課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	90.30	向上	↑
	目標値	最終値		
	93.02	92.43		
内容・取組効果	滞納初期から財産調査を実施し、処分可能財産を有する場合は、滞納処分を実施しました。また、キャッシュレス決済及びクレジットカード決済による保険料の納付を可能にするなど納付環境の整備を行いました。その結果、収納率は向上しましたが、目標達成には至りませんでした。			
課題・改善案	定期的な催告による納付勧奨や財産調査の実施、口座振替の推進、納付方法の多様化の周知などにより、滞納累積の解消を図ります。			
特定健康診査受診率			担当課：健康づくり課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	30.6	低下	↓
	目標値	最終値		
	36	30.4		
内容・取組効果	第2期及び第3期八千代市保健事業実施計画に基づき、特定健康診査受診率向上事業として、受診率が低い40～50歳代が受診しやすい環境整備のため、商業施設で集団健診を行いました。また、未受診者へ受診勧奨通知を送付、定期通院している方には医療機関からの受診勧奨してもらう等の取組を行いました。			
課題・改善案	特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率は、千葉県平均より低い状況のため、引き続き受診率向上を図る必要があります。現行の取組を継続するとともに、他市の取組を参考にしたり、受診勧奨通知の送付時期や対象者の特性に合わせた内容にするなど、効果的な取組になるように努めていきます。			
	担当課：国保年金課			
内容・取組効果	令和6年度より6か年計画で策定している第3期八千代市保健事業実施計画に掲げる5事業（特定健診受診率向上事業、特定保健指導実施率向上事業、糖尿病性腎症等の生活習慣病の重症化予防指導事業、基準値超の健診結果放置者への受診勧奨事業、ジェネリック医薬品差額通知事業）により国民健康被保険者の「健康増進（健康寿命の延伸）」と「医療費の適正化」に向けた取組を実施していますが、事業ごとの目標値を達成できていない項目があります。			
課題・改善案	特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率が千葉県平均より低い状況であります。糖尿病や高血圧性疾患など生活習慣病関連疾病で医療費割合が高い状況となっております。特定健診未受診者は症状が現れて医療機関を受診することが多いため、受診者と比較して医療費が高くなる傾向があります。特定健診受診率向上事業等において過去の受診状況や医療レセプト等を参考に対象者の特性に合わせた受診勧奨を強化するなど、未受診者の行動変容を促す施策を推進します。			

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり
 第3節 社会保険
 2 介護保険

柱	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり			
大項目	第3節 社会保険			
中項目	2 介護保険			
将来のまちの姿 基本方針	高齢者が住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を送るまち			
	高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその能力に応じ自立した日常生活を送れるよう、介護（予防）サービスを提供する体制の確保及び地域支援事業を推進し、地域包括ケアシステムの構築を図ります。			
	推進部局（担当課）：健康福祉部（長寿支援課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	第10次老人保健福祉計画・第9期介護保険事業計画においてサービス見込み量及び各施設の必要整備量を算出し、計画的な整備を促進した他、介護サービス事業所に対する適切な実施指導等を行いました。また、高齢者が要介護状態等となることを予防するため、通所型サービスCの利用を促進し、介護予防・日常生活支援総合事業の推進に努めました。		
	課題・改善案	高齢化の進展に伴い、今後も介護需要の増加が見込まれることから、計画的な施設整備や介護（予防）サービスの適正な利用促進が必要となります。また、持続可能な介護（予防）サービスの提供のため介護職員の人材確保策も検討していく必要があります。		
今後の方向性及び方針	第11次老人保健福祉計画・第10期介護保険事業計画を作成し、介護保険法の改正等に対応しながら、持続可能な介護（予防）サービスの提供に努めていきます。			
指標	利用している介護サービスに不満がない人の割合		担当課：長寿支援課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	24.4	向上	↑
	目標値	最終値		
	30.0	24.6		
	内容・取組効果	施設整備においては、令和6年度に特別養護老人ホームの、7年度に介護医療院の事業者選定を行い、8年度中の完成を見込んでいます。介護予防施策については、通所型サービスC（短期集中予防サービス）を引き続き実施しており、令和7年度には実施事業者を増やす予定です。		
	課題・改善案	今後より高齢化の進展が見込まれることから、介護予防事業の一層の推進及び認知症となった方やその家族の支援体制の推進が重要となります。		
	介護保険料収納率（普通徴収）		担当課：長寿支援課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	89.1	達成	↑
	目標値	最終値		
	90.0	95.2		
	内容・取組効果	収納率向上のため、適宜、未納者への相談対応、督促や催告等の納付勧奨を行ったほか、催告等に応じない未納者に対しては預金差押等の滞納処分を行いました。		
	課題・改善案	未納者の状況を把握し、それぞれの状況に応じて納付を促すとともに、差押等の滞納処分を実施し、収納率向上を目指します。		
地域包括支援センターの認知度		担当課：福祉総合相談課		
単位	現況値（策定時）	達成状況		
%	51.9	向上	↑	
目標値	最終値			
60.0	54.3			
内容・取組効果	地域包括支援センターの認知度向上のため、啓発活動に努めた結果、目標値に近づきましたが、目標は達成できませんでした。			
課題・改善案	高齢者の地域の身近な総合相談窓口として認知度を向上させる必要があります。医療機関や集会所など高齢者の目につきやすい場所でのポスター掲示、パンフレットの配付などを通して、認知度の向上を図っていきます。			

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり
 第3節 社会保険
 3 国民年金

柱	大項目	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり		
		第3節 社会保険		
	中項目	3 国民年金		
	将来のまちの姿	市民一人ひとりが、世代間の支え合いという考えのもと年金制度に加入し、将来の安定した生活基盤を築くまち		
	基本方針	国民共通の基礎年金制度の理念のもと、加入対策を推進するとともに、学生納付特例制度、納付猶予制度、免除制度等の周知を図り、市民の受給権の確保につなげます。		
		推進部局（担当課）：健康福祉部（国保年金課）		
		達成状況	おおむね達成	
		内容・取組効果	国民年金加入手続の勧奨を行い、国民年金の適用促進を行いました。また、制度の案内を作成し、資格取得届出時に配布することで案内の漏れを防ぎ、納付困難者には猶予又は免除制度の案内をすることにより、未納者の解消に努めました。	
		課題・改善案	少子高齢化が進む中で、現役世代が納める保険料が将来の年金受給額に見合わないのではないかという不安から、年金の未加入や保険料の未納などにつながる場合があります。そのため、研修等により職員全員が制度の理解を深め、市民に対して分かりやすく柔軟に対応できる体制の整備を図っていきます。	
		今後の方向性及び方針	保険料収納率は目標を達成できているため、引き続き国の未納者対策の取組について積極的に協力・連携していきます。また、窓口においても適用漏れがないよう適切な対応に努めていきます。	
	指標	国民年金保険料現年度納付率		担当課：国保年金課
		単位	現況値（策定時）	達成状況
		%	69.9	達成 ↑
		目標値	最終値	
		74.0	79.7	
	内容・取組効果	資格取得届出時に未納者へ納付勧奨を行い、対象者には免除制度等の案内をすることで、未納者の解消につながりました。		
	課題・改善案	目標は達成できていますが、更に納付率の向上を目指します。		

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第4節 健康

1 保健

柱	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり				
	第4節 健康				
	1 保健				
	大項目	将来のまちの姿基本方針			誰もが命を大切にし、健康づくりに主体的に取り組み、いきいきとした生活を送るまち
		生涯にわたり健康で心豊かな暮らしを支えるために、健康的な生活習慣の取組を支援し、一人ひとりの健康課題に応じた主体的な健康づくりを推進するとともに、健康診査やがん検診、予防接種、健康相談等の充実を図るほか、新たな感染症などの健康危機への対応に努めます。また、市民と地域、行政・関係機関等が協力し相互に支え合いながら、地域社会全体で市民の健康を守る環境づくりを推進します。併せて、保健・医療・福祉・教育・労働その他の関連施策との有機的な連携を図りながら、市民一人ひとりが命を大切に「誰も自殺に追い込まれることのないまちづくり」を進めます。			
		推進部局（担当課）：健康福祉部（健康づくり課）			
		達成状況	おおむね達成		
		内容・取組効果	第2次及び第3次健康まちづくりプランを推進する中で、市民の健康的な生活習慣の取組を支援し、主体的な健康づくりを推進できる体制を整備するとともに、健康診査及びがん検診、予防接種、健康相談等の充実を図りました。		
		課題・改善案	健康への関心が高い人と無関心な人との健康格差は大きな課題であることから、新たな手法を活用し、健康無関心層も含めた予防・健康づくりを推進していく必要があります。		
	今後の方向性及び方針	市民が生活習慣の見直しを行うことができるよう、医療機関を始めとする関係機関等と連携をしながら、生活習慣病の発症予防及び重症化予防を図ります。			
	指標	自分が健康だと感じている市民の割合		担当課：健康づくり課	
		単位	現況値（策定時）	達成状況	
		%	77.8	低下	↓
		目標値	最終値		
		80	66.9		
内容・取組効果		第2次及び第3次健康まちづくりプランを推進する中で、市民の健康的な生活習慣の取組を支援し、主体的な健康づくりを推進できる体制を整備するとともに、健康診査及びがん検診、予防接種、健康相談等の充実を図りました。			
課題・改善案		令和5年5月までは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により大人数が集まる取組が実施できなかったことや、感染症対策に伴うライフスタイルの変化が、人との交流機会の減少や活動量の低下、検診の受診控え等、健康行動に影響を与えたことが考えられます。令和5年度策定の第3次健康まちづくりプランでは、引き続き市民の健康づくりを進めるとともに、地域全体で相互に支え合いながら健康になれる環境づくりを目指します。			
65歳平均自立期間（男性）		担当課：健康づくり課			
単位		現況値（策定時）	達成状況		
年		18.22	達成	↑	
目標値		最終値			
延伸		18.26			
65歳平均自立期間（女性）		担当課：健康づくり課			
単位		現況値（策定時）	達成状況		
年	21.13	低下	↓		
目標値	最終値				
延伸	21.11				
内容・取組効果	第2次及び第3次健康まちづくりプランを推進する中で、市民の健康的な生活習慣の取組を支援し、主体的な健康づくりを推進できる体制を整備するとともに、健康診査やがん検診、予防接種、健康相談等の充実を図りました。				
課題・改善案	健康への関心が高い人と無関心な人との健康格差は大きな課題であり、自然に健康になれる環境づくりや行動変容を促す仕掛け等、新たな手法を活用し、健康無関心層も含めた予防・健康づくり推進が求められています。生活習慣病やフレイルを予防し健康寿命を延伸するために、市民一人ひとりが自身の健康状態に関心を向け、生活改善や疾病予防のための行動を取ることができるよう、それぞれのライフステージに応じた生涯にわたる健康づくりを推進します。				

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第4節 健康

1 保健

指標	ゲートキーパー養成講座修了者数		担当課：健康づくり課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	100	達成	↑
	目標値	最終値		
	400	743		
	内容・取組効果	コロナ禍にオンラインを活用したゲートキーパー養成講座を開始して以降、日中、業務に従事する現役世代も受講できるようオンラインと対面開催を併用して実施してきました。これにより、教職員を始め様々な対象に本講座を受講してもらうことができたと考えます。		
	課題・改善案	令和6年の全国の自殺者数を性別に見ると、男性が13,801人、女性は6,519人であり、男性は令和5年より1,061人減少し、女性は456人減少しました。しかし、依然として毎年2万人を超える水準で推移していることから、今後の動向を注視しつつ、様々な人が本講座を受講し、ゲートキーパーとしての役割を担えるよう、ゲートキーパーの周知の強化及び養成講座の充実に取り組んでいきます。		
	定期的に健康診断・健康診査を受けたり人間ドックを利用する市民の割合		担当課：健康づくり課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	65.0	向上	↑
	目標値	最終値		
	70	68.0		
	内容・取組効果	コロナ禍で受診控えと思われる受診率低下がありましたが、コロナ前に実施していた商業施設での集団健診を再開し、生活習慣病の発症及び重症化予防のため、がん検診や特定健康診査等を実施しました。また、国保年金課と連携し、それぞれの窓口で案内を行い、助成を受けやすい体制を整えることができました。		
	課題・改善案	目標値は達成はできませんでしたが、コロナ禍以降、健康診断・健康診査等を利用する割合は増加傾向です。生活習慣病を早期発見・早期治療するために、医師会等と連携を図りながら、受診しやすい環境を整えていきます。		
		担当課：国保年金課		
内容・取組効果	35歳以上で、かつ納期限内の保険料を納付している被保険者に対して人間ドック費用の助成を行いました。			
課題・改善案	がん検診や特定健康診査に関する市民の利便性等の向上と受診率も向上を図るため、令和6年度の人間ドック費用助成申請より、申請要件の1つである「国民健康保険加入期間が1年以上」を削除しました。			

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第4節 健康

2 医療

柱	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり			
	大項目 第4節 健康			
	中項目 2 医療			
	将来のまちの姿 基本方針	充実した救急医療体制と地域における切れ目のない医療の提供により、誰もが安心して暮らすまち		
		充実した質の高い医療体制が構築できるよう、看護師の充足を図る方策を関係機関と検討し、地域において切れ目のない医療の提供に努めます。 また、安心した暮らしを支えるため、引き続き、救急医療の中核を担う八千代医療センターに支援を行うとともに、関係機関との連携強化を図りながら、今後も救急医療体制を安定的に継続できるよう努めます。		
		推進部局（担当課）：健康福祉部（健康福祉課）		
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	看護師等修学資金貸付制度を通じて看護師の確保に努めました。また、救急患者の受入れが難しくなる夜間・休日における救急医療体制を確保するための事業を実施しました。		
	課題・改善案	医師の働き方改革の影響などから当番医療機関の確保が困難になり、令和6年度において従来どおりの救急医療体制を維持できない時期が生じましたが、近隣市の医療機関の協力を得ることで現在は必要な体制を確保しています。		
	今後の方向性及び方針	限られた医療資源を効果的・効率的に活用できるよう、関係機関と連携・協議を進めてまいります。		
指標	地域医療が整っていると感じている市民の割合	担当課：健康福祉課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	57.8	低下	↓
	目標値	最終値		
	60	37.6		
	内容・取組効果	看護師等修学資金貸付制度を通じて看護師の確保に努めるとともに、救急患者の受入れが難しくなる夜間・休日における救急医療体制を確保するための事業を実施しましたが、令和6年度に実施された八千代市市民満足度調査の結果では、「地域医療体制が整っていると感じる市民の割合」は37.6%となり、目標値及び策定時の現況値を大きく下回る結果となりました。		
	課題・改善案	本市域内には、県内でも数少ない救命救急センター・総合周産期母子医療センター、また令和6年度当時県内唯一の小児救命救急センターが立地するなど、地域医療体制に係る「実際の整備状況」は、県内・近隣市域においても充実している部類に入ります。一方で、大規模開発に伴う局地的な人口増加に医療機関の進出が追い付かず、市域の一部には人口と医療資源の偏在による需要と供給の不均衡が見られます。加えて、近年、市内医療機関の運営法人における不祥事やネガティブな報道が相次いだことから、現状を否定的に捉え「整っていると感ぜない」傾向が強まったことが予想されます。今後の取組に当たっては、国・県の収集・分析するデータ等も活用し、本市地域医療体制における課題の客観的・定量的な分析とその解消に努めてまいります。		

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

1 義務教育

柱	第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり			
大項目	第1節 教育			
中項目	1 義務教育			
将来のまちの姿	安心・安全に学べる環境が整い、持続可能な社会の創り手となる子どもたちが育つまち			
基本方針	<p>通学区域を見直し小中学校の規模の適正化を図るとともに、教育的及び全市的な観点から小中学校の適正配置を検討します。また、老朽化が進んだ学校施設等の改修等を進めます。</p> <p>教育内容や相談・支援体制などを充実させるとともに、持続可能な開発のための教育（ESD）を推進し、子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす教育、持続可能な社会の創り手を育てる教育に取り組めます。</p> <p>体育・健康・食に関する指導・教育を充実させることで、心身の健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育てます。</p>			
	推進部局（担当課）：教育委員会（学校）（教育総務課）			
	達成状況	やや達成が図れなかった		
	内容・取組効果	学校の適正配置及び通学区域の見直しについては、適正配置検討委員会及び通学区域審議会において、市内各地域の状況を見極めつつ、協議・検討を行い、学校施設の改修については、教室への空調設置や大和田小学校の長寿命化改修工事など児童生徒が快適で利用しやすい環境づくりを行いました。また、特別支援教育支援員を全小中義務教育学校に配置し、タブレット端末を1人1台所持する環境を整備することで、校内体制を充実させ、ICT機器を効果的に利活用した学習を行いました。		
	課題・改善案	適正配置検討委員会及び通学区域審議会において、市内各地域の状況を見極めつつ、学校の適正配置について、通学区域の見直しとともに今後も検討していきます。また、学校施設のバリアフリー化及び体育館への空調設置を推進するとともに老朽化した校舎等の改修を行うことで、学校施設の延命化に努めます。さらに、初若年教員の資質・指導力向上に向けた実践的な研修を実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実のためICTを最大限に活用することができるよう教員の更なるスキルアップを図っていきます。		
	今後の方向性及び方針	学習者が指導や指示等をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境の中を自力で歩みを進め、責任をもって進むべき方向を自分で見出せるよう環境を整え、市民一人一人が生きがいを感じ、幸福感に満たされた生き方ができることを目指します。		
指標	校舎及び体育館のトイレの乾式化		担当課：教育総務課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	64	向上	↑
	目標値	最終値		
	75	72		
	内容・取組効果	トイレ改修工事及び長寿命化改修工事を実施した結果、当初から8ポイント上昇しましたが、目標値の75%は達成できませんでした。		
	課題・改善案	引き続き公共施設等個別施設計画に基づく取組を継続し、トイレの乾式化率向上に努めます。		
	外国語教育全時数に対するALT派遣率		担当課：指導課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	61.5	向上	↑
目標値	最終値			
85以上	82.2			
内容・取組効果	増員と勤務時間の延長により、派遣率が上がりました。			
課題・改善案	派遣率は順調に上がっています。どの授業にALTを派遣するかについては学校が決めていますので、今後もより多くの授業に派遣するように働きかけます。			

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

1 義務教育

指標	タブレット端末を利用した授業の割合		担当課：教育センター	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	—	向上	↑
	目標値	最終値		
	75	54.0		
	内容・取組効果	指標を達成することができなかった。しかし、全ての授業数を100%として設定していることを考えると、54%の授業で活用しているということは、旧システム環境下では十分活用されていたと考えている。		
	課題・改善案	令和7年9月に、新システムへの移行を行い、高速大容量のネットワーク環境の整備が実現する予定である。この環境を最大限活用して、子どもたち一人ひとりに応じた学び、みんなで協働して行う学びを実現していきたい。		
	新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の児童の割合（小学校）		担当課：保健体育課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	76.6	低下	↓
	目標値	最終値		
	80	64.5		
	内容・取組効果	研修の充実と授業内容の充実、地域スポーツとの連携により体力の向上を目指しましたが、目標値を達成することはできませんでした。		
	課題・改善案	引き続き研修の内容や授業づくりのあり方の見直しを図り、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む授業づくりをより一層推進していきます。		
	新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の児童の割合（中学校）		担当課：保健体育課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	77.5	低下	↓
	目標値	最終値		
	80	71.3		
	内容・取組効果	研修の充実と授業内容の充実、地域スポーツとの連携により体力の向上を目指しましたが、目標値を達成することはできませんでした。		
課題・改善案	引き続き研修の内容や授業づくりのあり方の見直しを図り、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む授業づくりをより一層推進していきます。また、生徒の運動機会の確保や質の向上を図るため、休日部活動の地域展開を進めていきます。			
食物アレルギー対応の品目拡大 ※（現況値）卵・乳 （目標値）卵・乳・小麦・エビ・カニ・落花生・そば		担当課：保健体育課		
単位	現況値（策定時）	達成状況		
品目	2	達成	↑	
目標値	最終値			
7	7			
内容・取組効果	令和4年度から特定原材料7品目を取り除いた食物アレルギー対応食の提供を開始しました。アレルギーによる給食辞退者数が令和3年度の16人から令和4年度の11人に減少し、本計画の最終年度である令和6年度は8人となりました。			
課題・改善案	引き続き食物アレルギーに対する知識、情報を収集し、学校や有識者等と連携して、食物アレルギー対応食の充実に努めます。			

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

2 高校・大学教育

柱	第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり				
	第1節 教育				
	2 高校・大学教育				
	大学等教育機関と学びの目指すところや未来の子ども姿が共有できるまち				
	高校・大学等との連携を深めるとともに、公開講座等による地域交流の拡大などを促進します。大学が開催する公開講座に市民が参加しやすいように支援します。				
	推進部局（担当課）：教育委員会（学校）（指導課）				
	達成状況	おおむね達成			
	内容・取組効果	教育を核とした地域社会の構築を目指すために実施している教育サミットでは、市内にある大学、高校、小中義務教育学校、特別支援学校の管理職が集い、未来の子ども姿を共有するための機会としました。令和6年度からは、市内にある幼稚園・保育園の管理職も参加し、学びの連続性を意識した教育環境の充実のために議論を行っています。また、子どもの健全育成のために開催している学校警察連絡委員会は、校種を超えた連携と情報共有等に役立っています。			
	課題・改善案	協議内容の精選、実施方法の工夫により、教育的課題についてより質の高い議論を目指します。市内の学校等の有機的な連携の在り方を検討する機会としていきます。			
	今後の方向性及び方針	今後も教育サミット、学校警察連絡委員会等を中心とした活動を通して、子どもたちの健全育成に取り組み、豊かな心と文化を育むまちづくりにつなげていきます。			
	指標	教職体験受入校の割合	担当課：指導課		
		単位	現況値（策定時）	達成状況	
		%	100	達成	↑
		目標値	最終値		
		現状維持	100		
内容・取組効果		市内小中・義務教育学校全校において、秀明大学の教職を希望する学生を受け入れることができました。			
課題・改善案	引き続き、秀明大学との連携により教職希望者のインターン体験を充実させることで教職希望者の育成と教職の魅力発信に努めます。				

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

3 青少年健全育成

柱	大項目	第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり			
	中項目	第1節 教育			
	将来のまちの姿	3 青少年健全育成			
	基本方針	学校、家庭、地域の連携により青少年健全育成の体制が整い、子どもたちが健やかに成長するまち			
		地域社会の中で、自立した人間として必要な判断力、実行力及び豊かな感性を身につけるため、青少年の健やかな自己形成・社会参画を支援し、家庭、学校、関係機関等及び地域住民との連携を図りながら、青少年健全育成施策を計画的に推進します。			
		推進部局（担当課）：教育委員会（学校）（青少年センター）			
		達成状況	おおむね達成		
		内容・取組効果	関係機関（警察、児童相談所、子ども相談センター等）との連携を密に行い、補導活動及び相談体制を強化し、青少年の健全育成に係る活動を行うことができました。		
		課題・改善案	スマートフォンをはじめとした携帯端末の更なる普及により、昨今で話題となっている青少年のインターネットに起因するトラブルが増加傾向であります。児童生徒が適切かつ肯定的にSNS等を活用できるよう指導していくとともに、学校、地域をはじめとした周囲の大人からの支援の在り方についても検討してまいります。		
		今後の方向性及び方針	外部機関との連携及び地域との協力関係をより一層強化し、青少年の健全育成施策に係る取組を推進してまいります。		
		推進部局（担当課）：教育委員会（社会教育）（生涯学習振興課）			
		達成状況	おおむね達成		
		内容・取組効果	関係団体への補助金交付等の支援を行うことで、青少年相談員や指導員の確保と育成につながりました。また、指導者育成講座等を開催し、青少年に関わる大人の知識向上を図りました。		
	課題・改善案	青少年相談員、指導員の固定化や人員が減少傾向にあります。活動内容の認知度向上を図り、新たな人員の確保に努めます。			
	今後の方向性及び方針	各団体と連携を図りながら、市ホームページを活用した活動の紹介等に努めます。			
	指標	青少年育成団体数	担当課：生涯学習振興課		
		単位	現況値（策定時）	達成状況	
		団体	51	低下	↓
		目標値	最終値		
		53	40		
内容・取組効果		青少年育成団体に対する活動場所等の支援を行ったことで、子ども達へ体験活動を提供することができましたが、少子高齢化等のため、組織の減少が進んでいます。			
課題・改善案	塾等の習い事へ通う子どもの低年齢化が進んでおり、青少年育成団体の活動へ参加する子どもの人数が減ってきています。既存の青少年育成団体へは、これまで以上の連携を図り、活動の支援に努めます。				

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第2節 生涯学習

1 生涯学習

柱	第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり			
大項目	第2節 生涯学習			
中項目	1 生涯学習			
将来のまちの姿 基本方針	市民のニーズに対応した学習機会の提供や生涯学習環境の整備により、多くの市民が様々な学習活動に参画するまち			
	市民一人ひとりが必要な知識を得られるよう学習機会の充実を図り、誰もが学習の成果を活かすことができる仕組みを構築し、学びを通じた交流と学習成果の地域還元を促進するとともに、生涯学習に関する施策を総合的・効率的に推進します。			
	推進部局（担当課）：教育委員会（社会教育）（生涯学習振興課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	生涯学習に関する施策を総合的・効果的に推進するための方針を示す指針である「第3期八千代市生涯学習推進計画」を推進し、計画に位置付けた目標を実現するため各取組を実施しました。		
	課題・改善案	コロナ禍の影響により、対面の講座等の開催ができなくなり、オンラインでの講座が広がるなど、生涯学習を取り巻く環境も大きく変化し、価値観やニーズの多様化が進みました。		
今後の方向性及び方針	「第4期八千代市生涯学習推進計画」を策定し、生涯学習に対するニーズが多様化かつ高度化する中、市民一人ひとりがその生涯にわたって学び、必要とする様々な能力を身に付け、その成果を生かせるよう、計画に位置付けた様々な取組を推進していきます。			
指標	まちづくりふれあい講座の講座数		担当課：生涯学習振興課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	講座	65	向上	↑
	目標値	最終値		
	70	68		
	内容・取組効果	担当課と連携し、新規講座の追加や内容の更新を図ることにより、市民ニーズに対応した学習内容の選択肢を増やしました。		
	課題・改善案	制度開始から29年が経過し、講座数に大きな増減がないことから、今後は参加者の増加に重点を置き、効果的な周知に努めます。		
	市民一人当たりの年間図書貸出冊数		担当課：中央図書館	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	冊	5.35	低下	↓
	目標値	最終値		
	6	4.42		
	内容・取組効果	令和4年6月末までは、新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限や滞在時間の制限を実施しながら、図書館サービスを行いました。市民一人当たりの年間図書貸出冊数は、令和3年度は4.75冊、令和4年度は4.65冊、令和5年度は4.3冊、令和6年度は4.42冊となっており、目標値に達しませんでした。		
	課題・改善案	図書館資料の充実を図るとともに、魅力的な講座やイベントを開催し、市ホームページ、情報メール、公式LINE等を活用した情報発信を行い、図書館の利用拡大に努めていきます。		
公民館まつり来場者数		担当課：八千代台東南公民館		
単位	現況値（策定時）	達成状況		
人	4,862	低下	↓	
目標値	最終値			
7,400	1,676			
内容・取組効果	令和5年度に登録サークルの要件を変更したことから、公民館まつりの規模や参加団体が減少しています。			
課題・改善案	日頃の学習成果の発表の場としていた公民館まつりですが、まつりに限らず日常的にサークル体験・見学会を行うなど違った形へ移行しつつ、今後もサークル活動を支援する方法等を検討してまいります。			

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第2節 生涯学習

1 生涯学習

指標	生涯学習ボランティアバンク制度を活用した講座の実施数		担当課：生涯学習振興課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	回	17	低下	↓
	目標値	最終値		
	40	16		
	内容・取組効果	ホームページ（市、総合生涯学習プラザ）への掲載や生涯学習施設・主催講座・市内イベントでのチラシ配布により、生涯学習ボランティアバンク制度の周知に努めました。		
	課題・改善案	講座の実施数及び登録講師数が減少しているため、様々な媒体を活用し、制度周知に努め、本制度の活用促進を図ります。		
	生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合		担当課：保健体育課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	26.2	低下	↓
	目標値	最終値		
	35	15.9		
	内容・取組効果	「まなびネットやちよ」において、他部署等から収集した講座・教室情報掲載や団体・サークルや指導者に係る情報を適宜更新し、ウェブ上において情報提供に努めました。 また、施設内でのチラシ等配架やパネル展示により生涯学習情報を提供するとともに、学習相談・情報提供コーナーに設置する市民閲覧用パソコンを活用した利用者による自発的な情報収集・学習活動に取り組めるよう支援しました。		
	課題・改善案	「まなびネットやちよ」をはじめとする、市が発信する生涯学習情報の認知度が低いことが課題となっているため、発信方法の工夫や掲載情報を充実させ、より効果的かつ身近な場所で生涯学習情報を得られる環境整備について検討し、市民のライフスタイルの多様化にも合わせた生涯学習情報を提供します。		

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第3節 文化

1 市民文化

柱	大項目	第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり			
	中項目	第3節 文化			
将来のまちの姿 基本方針	1 市民文化	市民の自主的な文化芸術活動が推進され、文化芸術が身近に感じられるまち			
	市民の自主的な文化芸術活動を支援し、文化芸術団体やグループ及びその活動を支える人材の育成と、活動機会の提供に努めます。また、市民の活動の拠点となる文化芸術施設の活用・充実を図ります。	推進部局（担当課）：教育委員会（社会教育）（文化・スポーツ課）			
	達成状況	おおむね達成			
	内容・取組効果	途中コロナ禍の影響がありましたが、各種文化団体や施設指定管理者と連携を図りながら市民文化祭を継続していくことにより、市民の自主的な文化芸術活動を支援し、文化振興が図られました。			
	課題・改善案	引き続き文化団体の高齢化や文化施設及び設備の老朽化などに対応していく必要があります。			
	今後の方向性及び方針	新たに市民文化祭に参画する団体がありましたが、今後も既存の団体の存続だけでなく、新規団体の育成が必要となります。			
	指標	市民文化祭参加団体数	担当課：文化スポーツ課		
		単位	現況値（策定時）	達成状況	
		団体	33	低下	↓
		目標値	最終値		
35		31			
内容・取組効果		地域における市民の自主的な文化活動を振興するため、市民文化祭を継続してきましたが、新規で市民文化祭に参加する吹奏楽の団体があった一方で、参加を取りやめる団体もあり、参加団体数は目標に達することができませんでした。			
課題・改善案		引き続き、各団体の高齢化が補えるような活動支援を行うとともに、新規参加団体の拡充も含めて、情報発信等に努めます。			
市民文化祭参加者・参観者数		担当課：文化スポーツ課			
単位		現況値（策定時）	達成状況		
人		43,837	低下	↓	
目標値		最終値			
55,000		37,309			
内容・取組効果		優れた文化芸術を身近に触れる機会を醸成するため、市民文化祭を継続してきましたが、参加団体数が目標値に届かなかったこともあり、参加者・参観者数は目標に達することができませんでした。			
課題・改善案		新たな参観者を呼び込むためには、新規参加団体の拡充に努めるだけでなく、既存団体のイベント内容を向上させることも必要となります。			
文化施設利用人数	担当課：文化スポーツ課				
単位	現況値（策定時）	達成状況			
人	368,879	低下	↓		
目標値	最終値				
467,000	364,340				
内容・取組効果	利用者の要望に沿った照明・音響プランの提案・準備・操作などきめの細かい対応により、リピーターとして定着した新規利用者が増加した一方で、コロナ禍の影響等で活動を止めてしまった団体が多かったと推察されます。				
課題・改善案	引き続きホームページや情報紙での利用案内の強化に努めるとともに、利用者のニーズに合ったサービスを心掛け、リピーターを増加させていく必要があります。				

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第3節 文化

2 文化財

柱	第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり				
	第3節 文化				
	2 文化財				
	貴重な文化財が保存・活用され、郷土の歴史や文化に親しみが持てるまち				
	貴重な文化財を次代に継承していくために、郷土の歴史や文化に対する市民の理解と認識を深めるとともに、文化財の調査・研究に努め、保護と活用を図ります。				
	推進部局（担当課）：教育委員会（社会教育）（文化・スポーツ課）				
	達成状況	おおむね達成			
	内容・取組効果	各所における展示、文化財周知のための動画作成、発掘調査の見学会等実施することで文化財の周知をすることができました。また、指定文化財候補の調査を進めた結果、文化財指定につなげることができました。博物館においては、市内の発掘調査等から出土した遺物を積極的に展示し、来館者等に広く知っていただくことができました。			
	課題・改善案	様々な保存資料を活用した企画展を実施していますが、調査研究・展示を進めるためにも、資料整理が課題となってきた部分があります。			
	今後の方向性及び方針	市内文化財を効果的に活用し、文化財保護への意識を向上させることでシビックプライドの醸成につなげていきます。			
	指標	市指定文化財件数	担当課：文化スポーツ課		
		単位	現況値（策定時）	達成状況	
		件	27	向上	↑
		目標値	最終値		
		31	28		
内容・取組効果		コロナ禍において、文化財審議会の開催が滞るとともに、文化財調査の実施にも支障をきたしたため、市文化財に指定することが困難となりました。			
課題・改善案		コロナ禍が明けたため、計画的に文化財調査を実施するとともに、文化財審議会を定期的に開催し、市指定文化財件数を増加させます。			
郷土博物館利用者数		担当課：郷土博物館			
単位		現況値（策定時）	達成状況		
人		21,599	低下	↓	
目標値		最終値			
25,000		12,830			
内容・取組効果		常設展示や企画展示、出前講座、小中学校や放課後活動団体への出前講座等で郷土博物館の収蔵品や資料等を活用した学習機会、体験活動等を提供しました。			
課題・改善案		学芸員等の職員の配置については、担当部署と相談のうえ今後も進めていきます。郷土博物館の利用者については、引き続き利用者の興味を引くような企画展や展示を進めていきます。			
文化伝承館利用者数	担当課：郷土博物館				
単位	現況値（策定時）	達成状況			
人	9,141	低下	↓		
目標値	最終値				
10,000	7,387				
内容・取組効果	茶道や三曲等の伝統文化を市民や小・中学生が体験することにより、日本の伝統文化に興味を持ってもらうとともに、今後も生涯学習として取り組み続けるきっかけとしました。				
課題・改善案	新型コロナウイルス流行後の団体活動については、利用者が少しずつ戻ってきているようなので、今後も講座等からサークルに移行できるような、文化伝承館主催の講座活動を継続していきます。				

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第4節 スポーツ

1 スポーツ・レクリエーション

柱	第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり			
大項目	第4節 スポーツ			
中項目	1 スポーツ・レクリエーション			
将来のまちの姿	スポーツ環境が整備され、市民の誰もがスポーツを楽しむことのできる、健康で活力に満ちたまち			
基本方針	<p>スポーツ施設の充実や有効活用を進めるとともに、スポーツ指導者、スポーツ関係団体、スポーツクラブの育成を始め、様々な市民ニーズに応じたスポーツの普及など、スポーツ・レクリエーション活動を推進する体制づくりや環境づくりを進めます。</p> <p>推進部局（担当課）：教育委員会（社会教育）（文化・スポーツ課）</p>			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	<p>令和6年度に八千代市市民会館及びイオンモール八千代緑が丘の2会場にて開催したパブリックビューイングにおいて、柔道女子48kg級決勝の角田夏実選手については両会場合わせて約500人が、また、スポーツクライミング男子ボルダー&リード決勝の安楽宙斗選手については、両会場合わせて約780人の市民が応援に駆けつけてくれました。</p> <p>多くの市民の方よりご好評をいただいたことから、今後も、市民が生涯にわたってスポーツを親しむために、自らが体を動かして楽しむ「するスポーツ」だけではなく、スポーツを観戦して楽しむ「みるスポーツ」、スポーツイベント等にボランティアとして参加する「ささえるスポーツ」といった観点からのスポーツ活動を促進していきます。</p>		
	課題・改善案	<p>毎年の冬の風物詩として20回以上開催しているニューリバーロードレースですが、市内の学生やスポーツ関係団体などのボランティアスタッフ、協賛企業が一丸とならなければ開催することができません。本大会は、本市の「ささえる」スポーツとしてモデル的なスポーツイベントにもなっています。高齢化や人口減少が進むことが想定される中、今後は、ボランティアスタッフなどの担い手の確保が課題となるものと考えております。</p>		
	今後の方向性及び方針	<p>引き続き各関係団体と連携し、市民が参加しやすいスポーツイベント等を開催するとともに、市内のより多くの学生、協賛企業の協力を得られるよう、魅力ある大会を継続していきます。</p>		
指標	週1回以上のスポーツ実施率		担当課：文化・スポーツ課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	36.6	達成	↑
	目標値	最終値		
	50	58.4		
		内容・取組効果	<p>令和6年2月に実施した第3期八千代市スポーツ推進計画策定に関する市民アンケート「問5あなたはスポーツをどの程度行っていますか」の回答では、週1回以上のスポーツをする人の割合が58.4%でした。要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により自宅待機、テレワークなどをする人が増え、どちらかという団体などで集まって球技をしたりすることができなくなったため、個人が自宅で簡単な運動を習慣的にする、というスタイルに一時的にシフトしたためと考えています。</p>	
	課題・改善案	<p>今後もこの数値が減ることのないよう、スポーツ推進委員の依頼講座や指定管理者による健康体操などの継続はもとより、「する」スポーツだけではなく、「みる」スポーツや「ささえる」スポーツといった様々な関わり方により、多様な市民がスポーツに親しむ機会を増やすことで、スポーツをするきっかけとなるようなイベント開催を企画していきます。</p>		

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第4節 スポーツ

1 スポーツ・レクリエーション

指標	スポーツ推進委員依頼講座数		担当課：文化・スポーツ課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	回	39	低下	↓
	目標値	最終値		
	43	27		
内容・取組効果	現在スポーツ推進委員として21名が活動しており、年間30回程度の依頼講座の実施を含め、各種スポーツ活動（フロアカーリング大会、市民体力テスト・ニュースポーツ体験会、ソフトバレーボール大会、フロアカーリング大会）に参加しています。フロアカーリングなどのニュースポーツがある程度普及しつつあり、スポーツ推進委員の助けなしで試合などを開催することが可能となってきていることが、依頼講座数の減少に関連していると考えています。			
課題・改善案	スポーツ推進委員については、今後も市民と行政との調整役としての役割が期待されますが、フロアカーリングなどの定着しつつあるニュースポーツ以外でも、誰もが気楽に楽しめるような、新しいニュースポーツの競技を開拓していく必要があります。また、スポーツ推進委員の高齢化が進んでいます。今後、スポーツ推進委員の活動やニュースポーツに関する啓発を行うことで、若い委員獲得に向け認知度を高めていきます。			
指標	体育施設利用者数		担当課：文化・スポーツ課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	591,339	低下	↓
	目標値	最終値		
	703,000	527,940		
内容・取組効果	市民体育館について、設備の老朽化対応等のため、令和6年7月より改修工事を実施しています。 八千代総合運動公園内庭球場の8面については、子どもや高齢者が安心・安全にプレーすることができるよう、令和7年3月にハードコートから人工芝コートに改修しました。 指標の体育施設利用者数については、市民体育館や庭球場の改修工事の影響もあり、目標値には届きませんでした。			
課題・改善案	野球場の改修については、市内スポーツ施設全体又は総合運動公園内全体の課題を検討していく中で考えていく必要があります。			

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第1節 暮らしの安心

1 市民相談

柱	大項目	第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり			
	中項目 将来のまちの姿 基本方針	第1節 暮らしの安心			
		1 市民相談			
		日常生活の問題や悩みについて、専門家への相談体制が充実しているまち 市民が安心して暮らせるよう、専門家による相談事業の充実に努めます。			
		推進部局（担当課）：総務部（コミュニティ推進課）			
		達成状況	やや達成が図れなかった		
		内容・取組効果	市民生活を送る上で生じる様々な問題の解決を図るため、弁護士による専門相談を実施しました。その中で、偶数月に相談を受けられた方にアンケートを実施し、満足した方の割合は令和6年度末時点で67%となっている状況です。		
		課題・改善案	希望者数に対して予約できる枠が不足している状況が続いています。また、アンケート結果から、相談できる時間の長さも課題として考えられます。		
		今後の方向性及び方針	市民が安心して暮らせるよう、専門家による相談事業の充実に引き続き努めます。		
		指標	法律相談を受けて満足した人の割合		担当課：コミュニティ推進課
			単位	現況値（策定時）	達成状況
	%		76	低下	↓
	目標値		最終値		
	80		67		
	内容・取組効果		法律相談を受けて満足した方の割合が、目標値を達成できませんでした。「職員の対応」や「相談員の対応」については目標を達成している一方、「希望の日時」や「相談時間」の満足度が低調となり、総合的に評価すると目標を達成できませんでした。		
課題・改善案	相談員（弁護士）に対する満足度は85%と高水準ですが、「希望の日時に予約が取れなかった（11%）」ことや、「相談時間が足りなかった（23%）」ことが目標値の達成に影響していると考えられます。相談者の様々な悩みを解消するため、引き続き専門家による相談事業の充実に努めます。				

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第1節 暮らしの安心

2 消費生活

柱	大項目	第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり		
		第1節 暮らしの安心		
	中項目	2 消費生活		
	将来のまちの姿 基本方針	消費者被害に関する情報が誰でも手に入り、安心して商品を購入し消費できるまち		
		消費生活の安全と安心を図るため、消費者意識の啓発を推進するとともに、消費者の安全確保と利益の保護に努めます。		
		推進部局（担当課）：総務部（消費生活センター）		
		達成状況	おおむね達成	
		内容・取組効果	消費生活相談員の専門的な知識・技術の習得や資質向上に努めるとともに、消費者への意識啓発や安全確保に取り組みました。	
	課題・改善案	消費生活相談の増加と多様化に対応するため、苦情処理体制を充実する必要があります。		
	今後の方向性及び方針	今後も、消費者被害防止のための周知・啓発のほか、市民からの消費生活相談に対し、専門的な知識をもった消費生活相談員による助言及び啓発活動、並びに相談体制の強化に努めていきます。		
	指標	消費生活センターが身近な消費生活相談窓口であることを知っている市民の割合 担当課：消費生活センター		
		単位	現況値（策定時）	達成状況
		%	44.4	低下 ↓
		目標値	最終値	
		50	40.5	
内容・取組効果		市ホームページや広報やちよ、公共施設、市役所1階掲示板、行政情報モニター、LINE・情報メール等を活用し、消費生活相談窓口の周知を行いました。		
課題・改善案	消費生活センターの認知度を高めるため、様々な広報媒体を活用し、消費生活相談窓口の更なる周知に努めます。			

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

1 防災・減災

柱	第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり	
大項目	第2節 暮らしの安全	
中項目	1 防災・減災	
将来のまちの姿 基本方針	大規模自然災害に対する「強さ」と「しなやかさ」を備え、災害時に誰もが的確に行動できるまち	
	地震やゲリラ豪雨などの大規模自然災害に備えるため、人命を守り、経済社会への被害が致命的にならないようにする「強さ」と、迅速な復旧・復興を図る「しなやかさ」を平時から構築します。また、防災意識の普及・啓発に努めるとともに、自主防災体制・情報連絡体制を強化するなど、地域防災力の向上を図りながら、雨水流出抑制の指導・要請、河川改修や急傾斜地崩壊対策等の都市防災対策を推進することで、災害予防から応急・復旧までの総合的な防災体制を確立し、強靱なまちづくりを目指します。	
	推進部局（担当課）：総務部（危機管理課）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	地域防災力の向上を図るため、各自治会や自主防災会等が実施する地域の防災訓練に、市の職員が積極的に参加し、防災講話等を行ったことで、自主防災体制・情報連絡体制等、防災意識の普及・啓発を図ることができました。また、河川、急傾斜地、雨水を所管する部局と情報の連携等を行うことで、都市防災対策を推進することができました。
	課題・改善案	市職員の防災意識の向上のため、災害対応訓練等を通じ、平時からの意識の高揚を図りました。なお、自主防災組織の新規結成の推進には、若い年代の参画が極めて重要と考えており、今後も引き続き、効果的な方法について検討していく必要があります。
	今後の方向性及び方針	各地域や市職員に対するより実践的な訓練を実施し、自助・共助・公助をそれぞれ強化することにより、防災・減災に努めていきます。
	推進部局（担当課）：健康福祉部（健康福祉課）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	市内7か所のうち2か所で、1次救護所の開設場所が、医療機関から公共施設へと見直されたため、救護所の開設・運営に必要な資機材を整備し、体制の確保を図りました。また、千葉県柔道整復師会と災害時の協力協定の締結を行ったほか、八千代市医師会・八千代市歯科医師会・八千代市薬剤師会と、これまで締結していた災害時の協力協定に新たな協力事項等を加え、協定の再締結を行い、災害時の協力体制を強化することができました。
	課題・改善案	発災直後に、1次救護所の対応に当たる人員の確保が課題となっていることから、1次救護所にどこまでの役割や機能を持たせるか明確にした上で、人員確保に向けた方策等を関係機関と協議していく必要があります。
	今後の方向性及び方針	応急医療救護体制を、より実効性のあるものとしていくため、関係機関と協議を行い必要な対応を進めてまいります。
	推進部局（担当課）：都市整備部（土木建設課）	
	達成状況	やや達成が図れなかった
	内容・取組効果	大規模な地震への対策として、木造住宅の耐震化や危険コンクリートブロック塀等の撤去に係る工事費の補助制度の活用により、住宅の耐震化促進や避難経路及び救助活動経路等の安全確保に努めました。浸水対策として、開発行為時において事業者雨水流出抑制施設の指導をすることで、開発区域及びその周辺での道路冠水被害を生じさせないように努めています。河川改修対策として、準用河川花輪川の維持管理工事は完了、勝田川は千葉市が主体で改修工事を実施しています。準用河川高野川改修事業は用地測量等を実施し、溢水被害の対策に向け事業を進めています。急傾斜地崩壊対策として、既存の急傾斜地崩壊防止施設の維持管理と併せ、下高野地区の急傾斜地崩壊対策工事を令和3年度から着手しております。
	課題・改善案	大規模な地震への対策として、国及び県の補助制度を活用した事業における予算の確保、市民に対する事業の周知・啓発を図る必要があります。浸水対策として、既存の開発行為区域外における道路排水施設の整備・改修を検討する必要があります。河川改修対策事業は、用地取得、施設の設計、施設の工事が伴い時間を要するため、各々の業務を円滑に進める必要があります。

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり
 第2節 暮らしの安全
 1 防災・減災

	今後の方向性及び方針	<p>大規模な地震への対策として、市民に対して引き続き周知啓発を通じ危険コンクリートブロック塀等の撤去の促進、建築物の耐震化の促進に努めます。</p> <p>浸水対策として、道路冠水状況の情報収集及び冠水箇所の対策施設の整備検討を行います。</p> <p>河川改修対策として準用河川高野川は、用地買収、橋梁の詳細設計を進め、勝田川については、引き続き千葉市が主体となり整備を進めていきます。既存の対策施設の維持管理及び下高野地区の対策工事を引き続き進めていきます。</p> <p>急傾斜地崩壊対策として、既存の急傾斜地崩壊対策施設の維持管理と併せ、下高野地区の対策工事を引き続き進めていきます。</p>	
指標	自主防災組織力バ－率	担当課：危機管理課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況
	%	56.4	低下 ↓
	目標値	最終値	
	66	53.0	
	内容・取組効果	新規結成組織が増える一方、解散する組織や転入者数が増えている状況から、自主防災組織力バ－率の目標を達成することができませんでした。	
	課題・改善案	男女ともに若い年代の自主防災組織への参画が増えないことが課題となっています。今後も災害発生時の共助の大切さについてより強く啓発し、自主防災組織の新規結成に向けて取り組みます。	
	避難所運営委員会の設立率	担当課：危機管理課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況
	%	48.5	向上 ↑
	目標値	最終値	
	100	76.5	
	内容・取組効果	避難所となる小中学校10校に新たな避難所運営委員会が設立され、合計26校が設立済みとなり、設立率は向上しましたが、目標達成には至りませんでした。	
	課題・改善案	全ての小中学校へ避難所運営委員会が設立されたときの職員対応が困難になることが想定されます。設立から一定の年数が経過した避難所運営委員会を、自主的な運営に切り換えることが必要です。	
	防災行政用無線（固定系）のデジタル化	担当課：危機管理課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況
	%	50.4	達成 ↑
	目標値	最終値	
	100	100.0	
	内容・取組効果	令和3年度工事をもって、新設4局を含む全ての防災行政用無線のデジタル化再整備工事が完了し、目標が達成できました。	
課題・改善案	難聴地域に対する対策として、防災アプリ等の導入を検討していきます。		
急傾斜地崩壊対策整備率	担当課：土木建設課		
単位	現況値（策定時）	達成状況	
%	91.4	達成 ↑	
目標値	最終値		
93.9	94.6		
内容・取組効果	下高野地区の急傾斜地崩壊対策施設の整備を進めております。対策施設の整備が進むことにより保全される家屋が増加しています。		
課題・改善案	下高野地区は区域延長が300m程度あり、多大な整備費を要することから、県の補助金等を活用し財源を確保しながら事業を進める必要があります。		

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

2 消防

柱	大項目	第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり		
		第2節 暮らしの安全		
	中項目	2 消防		
	将来のまちの姿基本方針	消防・救急・救助体制が充実し、火災等の災害から市民の生命や財産が守られるまち		
		火災等の災害から市民の生命や財産を守るため、予防指導の強化や防火意識の普及・啓発に努めるなど、火災予防を推進するとともに、消防拠点・消防車両等の機能を維持しながら必要に応じて強化し、隊員の知識や技術の向上に努めるなど、消防体制を充実します。 また、高齢化社会を迎え、年々増加傾向にある救急需要に対応するため、救急資格者等を確保するとともに、医療機関との連携を強化するなど、救急・救助体制の充実強化を図ります。		
		推進部局（担当課）：消防本部（消防総務課）		
		達成状況	おおむね達成	
		内容・取組効果	幼年消防クラブや市内各事業所が参加する初期消火大会については、防火意識の普及・啓発を推進し、訓練体験を通して幼年者には火災に対する認識を、事業所については、実火災に対する対応力向上が図れました。 また、消防拠点・消防車両等の維持強化については、消防拠点施設の老朽化した各種設備を優先順位に沿って更新できたことで施設機能に関して目的が達成できましたが、消防車両の更新については、計画を一部先送りしていることから、目的達成とはなりません。 なお、千葉県消防学校救急科へ予定どおり派遣研修者を入校させることができ、救急資格者を着実に増加させることができています。	
		課題・改善案	消防拠点の維持強化及び消防車両等の機能維持のどちらにも言えることですが、財政状況を鑑みながら補助金等を活用し、業務を推進していく必要があります。 特に、消防拠点施設の設定維持、強化については、既に更新が必要な設備も控えており、施設によっては建物自体の補強や更新が必要なものもあることが懸念されます。	
		今後の方向性及び方針	引き続き、各種補助金等を活用した消防拠点・車両の更新を積極的に推進していきます。	
指標	消防団安全装備品貸与率	担当課：消防総務課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	33.3	向上 ↑	
	目標値	最終値		
	92	91.4		
	内容・取組効果	消防団員が活動を行う上で必要となる装備品の整備事業を適用可能な特定財源を充てて推進し、充実を図ることができました。		
	課題・改善案	以前に整備した装備品の消耗や経年劣化が進んでいることから、更新整備について対応していく必要があります。		
	防火水槽数（公設）	担当課：警防課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	基	449	向上 ↑	
	目標値	最終値		
	461	453		
	内容・取組効果	防火水槽の撤去により10基減少（40㎡6基・40㎡未満4基）したものの、開発行為による移管分等で32基を整備し、また、既存消防水利の維持管理を実施しました。		
	課題・改善案	引き続き、防火水槽整備計画に基づき整備を進めていきます。		
	応急手当普及率（普通救命講習）	担当課：警防課		
単位	現況値（策定時）	達成状況		
%	9.9	達成 ↑		
目標値	最終値			
10.4	11.3			
内容・取組効果	講習の開催について、広報やちよや市ホームページ等を活用した広報活動を継続的に実施したことにより普及率の向上につながったと思います。			
課題・改善案	引き続き普及率の向上に向けて広報活動及び救命講習資器材の充足化を継続して実施していきます。			

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり
 第2節 暮らしの安全
 3 防犯

柱	第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり			
大項目	第2節 暮らしの安全			
中項目	3 防犯			
将来のまちの姿 基本方針	防犯施設が整備され、地域が一体となって防犯活動を推進し、犯罪から全ての市民が守られるまち			
	犯罪を防止し、全ての市民が犯罪被害にあわないようにするため、防犯施設の整備を推進するとともに、地域住民や各種住民団体、事業者、行政、警察その他の関係機関が互いに連携し、一体となって地域の安全活動に取り組んでいけるよう、良好な地域コミュニティの育成に努め、安心で安全なまちづくりを推進します。			
	推進部局（担当課）：総務部（危機管理課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	情報メール、青色防犯パトロール車を活用した防犯啓発活動、警察や防犯組合連合会等の団体と連携した防犯啓発パトロールを実施しました。地域防犯体制の整備・充実として防犯灯の設置、維持管理、自主防犯活動による、自治会等が設置する防犯カメラに対する補助金の交付を実施しました。		
	課題・改善案	市民が安心・安全に暮らせるまちづくりのため、引き続き防犯関係機関と連携した啓発活動や防犯パトロール、防犯施設の整備を推進していく必要があります。		
今後の方向性及び方針	今後も、安心・安全に暮らせるまちづくりのため、防犯対策について継続して推進していきます。			
指標	補助金を交付して設置した防犯カメラの台数		担当課：危機管理課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	台	0	向上	↑
	目標値	最終値		
	40	34		
	内容・取組効果	地域の防犯力の向上につながりましたが、目標の達成には至りませんでした。		
	課題・改善案	補助対象団体内の同意（設置費用及び維持費）や設置箇所周辺の住民の理解が得られていることが必要であり、相談はあっても、申請には至らないケースがあるため、一層の周知及び啓発活動を図ってまいります。		

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり
 第2節 暮らしの安全
 4 交通安全

柱	第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり		
大項目	第2節 暮らしの安全		
中項目	4 交通安全		
将来のまちの姿基本方針	誰もが安心して外出できる、交通事故のない安全なまち		
	交通事故を未然に防止するため、警察署及び関係機関と連携し、交通安全に対する意識の普及・啓発・教育活動を推進するとともに、防護柵や道路反射鏡等の交通安全施設や自転車通行帯の整備を進め、危険箇所における交通規制を警察署・公安委員会へ要請します。また、放置自転車の状況や自転車駐車場の利用状況を踏まえながら、自転車駐車場の整備や老朽化した施設の改修を進めます。		
	推進部局（担当課）：都市整備部（土木維持課）		
	達成状況	達成	
	内容・取組効果	交通安全運動の推進へ向けた取組として、八千代交通安全協会が実施している小学校に入学する児童へのランドセルカバー配布事業や交通安全教室の実施など交通事故防止の啓発活動に努めました。道路交通環境の整備として、交通安全施設等の適切な維持管理に努めるとともに、交通安全施設等の整備を行い、交通事故の防止を図りました。大和田新田250号線外3路線については、約4.2km区間の自転車通行空間を整備しました。老朽化した自転車駐車場施設の改修工事を実施したことで、当該施設の利用者の安全を図ることができ、駐車場の管理運営及び駅周辺等の放置自転車の防止に努めたことにより、令和3年度から令和6年度を通して、放置自転車の撤去台数を1,000台以内に抑えることができました。	
	課題・改善案	自転車乗車中の交通ルールやマナーが悪いという市民の声が多く寄せられていることから、要望が多い場所への啓発用路面シートの設置や、市内の高等学校に対して生徒指導等を依頼しましたが、引き続き市民要望があるため、更なる啓発に努めていきます。自転車駐車場については、未だ改修を要する施設があるため、施設修繕や改修工事を計画・実行していく必要があります。放置自転車の撤去台数については、令和2年度以降、徐々に台数が増えてきているため、引き続き1,000台以内に抑えることができるよう継続して事業を実施していきます。	
	今後の方向性及び方針	今後も交通安全に対する意識の普及・啓発・教育活動を推進するとともに、交通安全施設や自転車通行帯の整備、老朽化した自転車駐車場の改修等を進め、良好な景観の保持及び歩行者の通行の安全確保並びに自転車駐車場の安全利用等に向け継続して事業を行っていきます。	
指標	放置自転車の撤去台数	担当課：土木維持課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況
	台/年	1,308	達成 ↑
	目標値	最終値	
	1,000以内	932	
	内容・取組効果	駅前等に放置された自転車に対する注意喚起や市営自転車駐車場の案内等を行うことにより、放置自転車の撤去台数を1,000台以内に抑え、目標値を達成することができました。	
	課題・改善案	今後も駅前広場等における良好な環境を保持するため、引き続き放置自転車の撤去台数の減少に努めます。	

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第3節 上下水道

1 水道

柱	第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり			
	第3節 上下水道			
大項目	1 水道			
	いつでも、どんなときでも、安全な水が届くまち			
	浄・給水場や管路を漏水や災害に強い施設へ改良・更新し、水需要の変化に対応しながら継続的に安全な水を安定供給します。			
	推進部局（担当課）：財務部（財政課）			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	水道事業に対する繰出金等による事業支援で、現状では児童手当支出に対する支援を継続しました。		
	課題・改善案	今後、水源開発のための思川開発に係る負担金による支援が始まる予定であり、適切に支援を続ける必要があります。		
	今後の方向性及び方針	県の企業団等広域対応している水源開発や減災対策、更新費用などに対して適切に支援していく必要があります。		
	推進部局（担当課）：経済環境部（環境政策課）			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	専用水道及び小規模専用水道への立入検査又は書類検査を実施することで、水質管理状況等を確認できました。		
	課題・改善案	新規施設の設置等に係る職員の負担増大が懸念されるため、専用水道及び小規模専用水道の立入検査の頻度や方法については、現状を精査の上、今後の方針を策定します。		
	今後の方向性及び方針	引き続き、専用水道及び小規模専用水道の立入検査等を実施し、水質管理状況等を確認します。		
	推進部局（担当課）：上下水道局（経営企画課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	第2次八千代市水道事業経営戦略及び同戦略実施計画に示した事業について、一部事業の繰越が発生しましたが、おおむね計画どおりに事業を推進することができました。水道水使用状況の把握や、経費の節減、業務の効率化に努め、計画的な施設更新を進め、財政収支を見通した健全な事業経営を行うことができました。また、定期的に水質検査を実施し、法令等に則った安全で清浄な水道水を供給しました。さらには、災害などの緊急時にも速やかな対応を図るため、浄・給水場や非耐震管の耐震化や漏水調査を進め、応急給水用資機材の備蓄に努めました。		
	課題・改善案	物価高騰等による費用及び資本的支出の増加により、施設更新等の計画に影響を及ぼす恐れがあります。また、節水意識の高まりや節水機器の普及により、水道水の使用量は年々減少していることから、水道事業経営戦略及び財政収支の見直し、毎年度、策定している水道事業経営戦略の実施計画の改定に反映する必要があります。		
	今後の方向性及び方針	持続可能な事業運営を進めるためにも、水道水の使用状況から水道料金の推移を見定めるとともに、経費節減や業務の効率化の徹底、施設更新に当たっては投資の合理化を進め、これらの取組による財政収支を見通したうえで、水道事業経営戦略の見直し及び同戦略実施計画の策定に当たり、必要に応じて、水道料金改定の要否を検討します。		
	指標	市内全域の水道管路における耐震化率		担当課：上水道課
		単位	現況値（策定時）	達成状況
%		59.3	向上	↑
目標値		最終値		
64.5		63.4		
内容・取組効果		工事発注の平準化に取り組んでいることから、年度末時点での耐震化率が低めの数値となっておりますが、翌年度にまたぐ工事を含めるとおおむね目標を達成することができました。		
課題・改善案		人件費や物価の上昇などの影響により、進捗に遅れが生じました。引き続き、将来の水需要減少を見通して、必要となる管径の検証を行い、既設水道管の更新の際には管径の縮小とそれに伴う工事費の縮減を図りながら取り組んでまいります。		

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第3節 上下水道

2 下水道

柱	第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり			
	第3節 上下水道			
大項目	2 下水道			
	中項目 将来のまちの姿 基本方針			
	快適な衛生環境で、浸水被害の少ないまち 計画的な管渠整備及び既存施設の改築更新を進め、快適で安心した生活を守ります。			
	推進部局（担当課）：財務部（財政課）			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	総務省通知に基づく繰出し基準に従って、下水道事業を支援しました。特に、雨水処理費用については一般会計が主となり繰出ししており、溢水対策等で効果が出ています。		
	課題・改善案	近年、局所的な集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う雨水流出量の増加による浸水被害が発生していることから、浸水被害リスク軽減のための対策について引き続き検討が必要です。		
	今後の方向性及び方針	雨水処理費等に対する繰出しを引き続き行います。		
	推進部局（担当課）：上下水道局（経営企画課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	第2次八千代市公共下水道事業経営戦略及び同戦略実施計画に示した事業を着実に推進するため、汚水量の推移の把握や、経費の節減、業務の効率化に努め、計画的な施設更新を進めることで、財政収支を見通した、健全な事業経営を行いました。 また、衛生的な生活環境を維持し、水質汚濁などを防止するため、管渠やポンプ場といった汚水施設の整備・維持管理を進め、食品工場や塗装業者などからの排出汚水については除害施設の設置及び管理に関する指導を行い、下水道未接続世帯には早期の接続を促しました。 なお、雨水による浸水被害を軽減させるため、管渠の整備・維持補修、調整池等設備の点検・清掃、雨水流出抑制施設設置の協議・指導を行うとともに、想定を超えた大雨の発生に備え、あらかじめ監視カメラを設置し、水位情報を公開するほか、土のうを配布できるよう備蓄しました。		
	課題・改善案	物価高騰等による費用及び資本的支出の増加により、施設の点検・調査、修繕・改築等の計画に影響を及ぼすおそれがあります。 また、節水意識の高まりや節水機器の普及により、汚水量は年々減少していることから、公共下水道事業経営戦略及び財政収支の見直し、毎年度、策定している公共下水道事業経営戦略実施計画の改定に反映する必要があります。		
	今後の方向性及び方針	持続可能な事業経営を進めるためにも、汚水量の推移から下水道使用料の見込額を算出するとともに、経費節減や業務の効率化の徹底した見直しを行い、施設の点検・調査、修繕・改築等の計画を着実に推進するため、公共下水道事業経営戦略の見直し及び同戦略実施計画の策定を進める中で、必要に応じて、下水道使用料改定の可否を検討します。		
指標	水洗化率	担当課：給排水相談課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	99.2	維持	→
	目標値	最終値		
	99.6	99.2		
	内容・取組効果	未接続世帯に対して個別訪問等を実施し、在宅されている場合は、啓発用パンフレットを使って説明を行うことにより早期の接続を促しました。		
	課題・改善案	接続に係る工事には、個人の費用負担を伴うことが積極的な接続につながらない要因と考えられますが、水洗便所改造資金の貸付制度の案内を併せて行いながら接続を促していきます。		
	雨水整備率	担当課：下水道課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	43.3	達成	↑
目標値	最終値			
43.5	46.8			
内容・取組効果	公共下水道（雨水）未整備区域の雨水管渠整備に取り組んだことにより、雨水整備率が向上しました。			
課題・改善案	前期基本計画での目標は達成しましたが、頻発する豪雨による浸水被害への対策が急務となっていることから、厳しい財政状況を踏まえた事業経営が必要となります。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

1 市街地の整備・活性化

柱	第4章 快適で環境にやさしいまちづくり	
大項目	第1節 市街地・住環境の整備	
中項目	1 市街地の整備・活性化	
将来のまちの姿	地域が持つ特性を活かしたまちづくりが進み、市民と協働で安全で快適なまちづくりのルールづくりが行われ、市街地の整備・活性化が図られているまち	
基本方針	<p>人口減少の進行に備え、地域の特性を活かした、計画的な土地利用を図るとともに、市街地の整備に関する制度等を活用し、良好な住環境や景観、魅力と活力のある商業、個性ある市民文化などを育むバランスのとれた総合的な市街地整備を推進します。</p> <p>さらに、地域住民や事業者等、多様な主体が、より良い環境を築き、地域の価値を維持・向上させるため、地域資源を活かした自発的・自立的な市街地の形成に関する取組を行う体制整備と支援を推進します。</p>	
	推進部局（担当課）：都市整備部（都市計画課）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	<p>市街地の整備・誘導・保全や地域まちづくりの支援のため、以下の取組を行いました。</p> <p>【土地利用の適正化・市街地の整備】 土地利用の適正化を図るため、新たな八千代市都市マスタープランを策定しました。</p> <p>西八千代南部地区の市街化区域編入に向けて、現状の課題や今後の進め方等を土地所有者等に説明しました。</p> <p>大和田駅北側地区土地区画整理事業の廃止等に向けて、整備手法の検証を行い、八千代市京成大和田駅北側地区まちづくり整備方針を策定しました。</p> <p>市街化調整区域のスプロール化を抑制するため、連たん制度の見直しに向け条例改正に着手しました。</p> <p>【鉄道沿線の活性化】 新たに策定した八千代市都市マスタープランにおいて、駅周辺の土地利用の高度化に関する位置付けを検討しました。</p> <p>京成本線沿線の活性化を進めるため、八千代市京成本線沿線まちづくりビジョンを策定しました。</p> <p>【都市景観の形成】 良好な景観の保全及び形成を図るため、景観法に基づき景観行政を担う景観行政団体への移行を推進しました。</p> <p>【住居表示等の整備】 旧八千代台東第二小学校の跡地について街区の区域の変更及び新設を行い、八千代台北十丁目一部で行われた宅地造成に伴い、街区の区域の変更を行いました。</p> <p>【地域まちづくりの支援】 地域住民や事業者等の主体的なまちづくりを行う団体の活動を支援しました。</p>
	課題・改善案	<p>市街地の整備・誘導・保全や地域まちづくりの支援における課題・改善案は以下のとおりです。</p> <p>【土地利用の適正化・市街地の整備】 西八千代南部地区については、市街化区域編入及び地区計画の決定に向けて、関係機関との協議や地元住民等との合意形成を図る必要があります。</p> <p>大和田駅北側地区土地区画整理事業の廃止等に向けて、関係機関との調整、今後の方針を説明する必要があります。</p> <p>連たん制度の見直しと西八千代南部地区の市街化区域編入時期については、切り離して事業を進める方針とし、各業務を進めます。</p> <p>【鉄道沿線の活性化】 八千代市京成本線沿線まちづくりビジョンに基づき、各駅の状況を踏まえて、地元住民等の意見を伺いながら、整備の方向性を検討していく必要があります。</p> <p>【都市景観の形成】 景観行政団体として、景観法に基づき良好な景観の形成を行うための計画等の検討の必要があります。</p> <p>【住居表示等の整備】 住居表示の実施等については、住民の意向を注視していく必要があります。</p> <p>【地域まちづくりの支援】 まちづくりに関連する団体の活動自体を支援していく形が望ましいと思われるため、支援を続けていく必要があります。</p>

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

1 市街地の整備・活性化

	今後の方向性及び方針	<p>市街地の整備・誘導・保全や地域まちづくりの支援に向けた今後の方向性等は以下のとおりです。</p> <p>【土地利用の適正化・市街地の整備】 西八千代南部地区の市街化区域編入などに向けて、引き続きまちづくりの将来像や方針を検討するとともに、土地所有者等との合意形成に向けた説明等を行っていきます。</p> <p>大和田駅北側地区土地区画整理事業の廃止等に向けて、千葉県との協議を進め、特に都市計画道路を優先とした土地所有者等との合意形成を目標に説明を行います。</p> <p>連たん制度の見直しと西八千代南部地区の市街化編入時期については、切り離して事業を進める方針とし、連たん制度の見直しに向け、条例改正手続を進めます。</p> <p>【鉄道沿線の活性化】 駅周辺の住民や商工業者、関係機関などの意見を伺いながら、整備の方向性を検討し、具体的な整備を進めていきたいと考えています。</p> <p>【都市景観の形成】 景観行政団体として、景観法に基づき良好な景観の形成を推進します。</p> <p>【住居表示等の整備】 引き続き住居表示実施及び街区区域の変更等について検討していきます。</p> <p>【地域まちづくりの支援】 まちづくりに関連する団体の活動を、活動内容に応じて広く支援していきます。</p>		
指標	地域の特性を生かした土地利用が図られていると感じている市民の割合			担当課：都市計画課
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	24.6	低下	↓
	目標値	最終値		
	26.6	15.3		
	内容・取組効果	八千代カルチャータウン地区について、平成31年に地区計画を決定し、良好な市街地の維持保全や土地利用の誘導を図り、令和4年3月に市街化区域に編入しました。 また、令和7年4月に景観行政団体へ移行し、景観計画の策定等について検討していきます。		
	課題・改善案	西八千代南部地区について、市街化調整区域であるものの八千代緑が丘駅に近接し主要地方道が通過するなど、交通アクセスに恵まれた条件や、周囲が市街化区域となっていることから、現に市街化が進行しつつあります。市街地としてふさわしい良好な市街地環境の整備・保全を図るため、地区計画等を活用し、都市計画道路及び下水道の整備、区画道路の改善等を図り、市街化区域への編入を進めます。		
	地域まちづくり活動団体の登録件数			担当課：まちづくり推進室
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	件	0	維持	→
目標値	最終値			
4	0			
内容・取組効果	地域まちづくり活動団体の活動を支援する形で取組を行いました。			
課題・改善案	地域まちづくり活動団体という一定程度の枠組みを備えた団体の登録は難しく、団体の活動自体を支援していく形が望ましいと思われることから、引き続き支援を続けてまいります。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

2 住宅

柱	第4章 快適で環境にやさしいまちづくり	
	第1節 市街地・住環境の整備	
	2 住宅	
	ニーズに応じた住宅の整備や既存住宅ストックの活用により、多様な世帯が安心して住み続けられる住環境が整備されているまち	
	将来のまちの姿	
	基本方針	
	特定行政庁として、法令に基づき適切な建築指導を行うとともに都市計画との連携により良好な住環境の誘導・維持保全に努めます。 住宅の建設・改修にあたっては、長期にわたって良質で安全に住み続けられる長期優良住宅やエネルギー消費性能に配慮した住宅等の促進を図るとともに、人口構成の変化による居住ニーズに対応した住宅の誘導を図ります。 既存住宅については、耐震性の向上、空家対策、定住施策等と連携した住宅改修を推進するなど地域に住み続けられるための住宅支援を行います。 不動産及び建設に関係する各種団体との連携を強化し住宅施策の推進を図ります。 市営住宅等については、現在の戸数をおおむね維持することとします。用途廃止により減少する戸数は、独立行政法人都市再生機構の賃貸住宅を借り上げ補充します。	
	推進部局（担当課）：健康福祉部（健康福祉課）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	独立行政法人都市再生機構の賃貸住宅を借り上げることで、用途廃止方針により減少する戸数を補充し、市営住宅の確保を図りました。また、定期的な施設点検や植栽管理を行うとともに、入居者からの情報等を基に不具合箇所の修繕を実施し、市営住宅の適切な維持管理に努めました。
	課題・改善案	市営住宅は老朽化が進んでおり、用途廃止や改修が必要となる時期を迎えている中での住宅の供給が課題となっています。引き続き、独立行政法人都市再生機構の賃貸住宅を借り上げ、用途廃止により減少する戸数の補充を行いながら、市営住宅に対する需要の変化を捉え、必要戸数を検討するとともに、独立行政法人都市再生機構の住宅を借り上げた場合と市直営の場合の費用等を比較し、サービス提供のあり方についても検討してまいります。
	今後の方向性及び方針	令和6年度末時点で、市立まつわ団地及び市立第二村上団地については、入居者の移転手続が完了し、用途廃止となっております。用途廃止により減少した戸数について、独立行政法人都市再生機構の賃貸住宅を借り上げ、補充してまいります。また、令和6年3月に策定した八千代市市営住宅等長寿命化計画に基づき施策を進めてまいります。
	推進部局（担当課）：都市整備部（建築指導課）	
	達成状況	おおむね達成
内容・取組効果	空家等対策推進施策として空家バンク制度を令和3年度から開始したが、空家の登録に至らず、空家リフォーム補助制度の活用につながりませんでした。 住宅の耐震化や危険コンクリートブロック塀等の撤去を促進することにより、住宅の耐震化促進や避難経路及び救助活動経路等の安全確保に努めました。 建築物の適切な維持管理の推進として、パトロール等による違反の未然防止を図りました。 環境に配慮した住宅の整備促進として、長期優良住宅認定制度に係る認定及び建築物省エネ法認定制度に係る認定の事務を行っていますが、申請件数は年々減少傾向にあります。 住宅セーフティネットの構築のため、関係部局と住宅要支援者の住宅確保について協議・調整を進めたが、ネットワーク構築には至りませんでした。 宅地建物取引業協会、建築士・建設業協会等の不動産及び建設に関係する各種団体との連携については、今後も関係する各種団体と連携を図りながら、住宅施策の推進を図ります。	

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり
 第1節 市街地・住環境の整備
 2 住宅

	課題・改善案	<p>空家バンク制度については、空家所有者と利活用の希望者とのマッチングが成立しないと制度の活用が図れないことも登録の進まない原因の一つであることから、市民への制度の周知・啓発を図ります。</p> <p>安全・安心な街づくりに資するため、住宅の耐震化や危険コンクリートブロック塀等の撤去の更なる促進を目指し補助制度の実績向上及び申請件数に対応した予算の確保と市民への補助制度の周知・啓発を行います。</p> <p>環境に配慮した住宅の整備促進として、全国的に新築全体の着工件数自体が減少しているにもかかわらず、省エネ性能の基準が大幅に引き上げられていることから長期優良住宅認定や省エネ法の申請件数は減少しております。</p> <p>住宅セーフティネットに係る構築関係部局が抱える諸問題に対して、調整不足であったことから、外部団体である居住支援法人等、不動産業者と連携を図り、スムーズな入居や様々な支援に結びつための当該ネットワークづくりについて構築の検討をする必要があります。</p> <p>宅地建物取引業協会、建築士・建設業協会等の不動産及び建設に関係する各種団体と今後も空家の発生予防、利活用の促進を図るために、空家に対する各種セミナーの開催、制度周知を図ります。</p>	
	今後の方向性及び方針	<p>空家バンク制度、空家リフォーム補助制度については制度の開始から日が浅いため、関係団体と制度周知や活用に向けて各施策の実施プロセス・効果の評価・検証を行い、必要に応じて施策の改善検討を行い、適宜見直しを行います。</p> <p>引き続き、住宅の耐震化や危険コンクリートブロック塀等の撤去の補助制度を通じ、安全・安心な街づくりに努めます。</p> <p>建築物の適切な維持管理の推進として、違反防止週間等を活用して適正化への周知・啓発を図っていきます。</p> <p>住宅セーフティネットの構築に関して、各施策の実施プロセス・効果の評価・検証及び必要に応じた施策の改善検討を行います。</p> <p>宅地建物取引業協会、建築士・建設業協会等の不動産及び建設に関係する各種団体と制度周知や活用に向けて各施策の実施プロセス・効果の評価・検証を行い、必要に応じて施策の改善検討を行います。</p>	
指標	新築戸建住宅に対する長期優良住宅認定件数の割合	担当課：建築指導課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況
	%	39.2	達成 ↑
	目標値	最終値	
	増加	40.6	
	内容・取組効果	<p>新築着工件数は令和4年から減少しているものの、当該申請件数は増減を繰り返しており、令和6年度は目標値に達することになりました。</p>	
	課題・改善案	<p>新築の着工件数自体が減少するなか、関係法令により省エネ性能の適合義務化が規定された影響も鑑みると、申請件数が安定せず、今後の傾向は不透明です。</p>	
	住宅の耐震化率	担当課：建築指導課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況
	%	94.5	維持 →
	目標値	最終値	
	おおむね解消	94.5	
内容・取組効果	<p>住宅の耐震化を促進することにより、住宅の地震に対する安全性の向上はもとより、災害に強いまちづくりに資することができました。</p>		
課題・改善案	<p>各種補助制度の活用実績の向上及び申請件数に対応した予算の確保と市民への補助制度の周知・啓発を行います。</p>		
管理不全の空家等の割合	担当課：建築指導課		
単位	現況値（策定時）	達成状況	
%	55	達成 ↑	
目標値	最終値		
減少	53.8		
内容・取組効果	<p>空家現地調査を実施するとともに空家所有者に対し、文書、訪問等により助言・指導を行いました。特定空家等の除却を行いました。</p>		
課題・改善案	<p>職員の現地調査で把握している以外にも、市民からの苦情により初めて把握する空家等もあるため、市全体で空家等の実態調査を行うなどして、空家の現状数を把握する必要があります。</p>		

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

2 住宅

指標	市営住宅管理戸数		担当課：健康福祉課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	戸	114	低下	↓
	目標値	最終値		
	127	111		
内容・取組効果	<p>老朽化により用途廃止した市営住宅の減少戸数分を含め、独立行政法人都市再生機構の賃貸住宅を新規に借り上げ補充を行いました。用途廃止に向けた移転手続の際に、市営住宅以外に移転された方々があり、その分の戸数が減少したため、最終値の戸数は減少しています。</p>			
課題・改善案	<p>市営住宅は老朽化が進んでおり、用途廃止や改修が必要となる時期を迎えている中で、住宅の供給が課題となっています。目標としている市営住宅の供給戸数を確保し、その戸数を維持していくことができるよう、引き続き独立行政法人都市再生機構の賃貸住宅を借上げ、補充していきます。</p>			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

3 公園・緑地

柱	第4章 快適で環境にやさしいまちづくり			
大項目	第1節 市街地・住環境の整備			
中項目	3 公園・緑地			
将来のまちの姿	魅力ある公園・緑地の整備を進め、公園・緑地を恒久的な緑の財産として維持管理し、緑を活かした潤いのあるまち			
基本方針	「みんなでつくる緑豊かなまち」を実現するため、魅力ある公園・緑地の整備を進めるとともに、市民・企業・行政が一体となって都市緑化を推進します。また、地域で愛される公園となるよう、市民等との連携による公園管理に努めます。			
	推進部局（担当課）：都市整備部（公園緑地課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	市民の森の用地取得の推進により魅力ある公園・緑地の整備を目指し、8757.26㎡の用地を取得しました。また、都市公園等の清掃、植栽管理及び施設修繕等の維持管理により快適な住環境の整備に努めました。		
	課題・改善案	公園整備に当たり、財源の確保及び地域住民の協力等を要することから、適宜対応を図り事業推進に努めました。また、近年市民からの要望等の増加や多様化に加え、年々公園数も増加しており、適切な維持管理に係る財源及び人員の確保が課題となっています。		
今後の方向性及び方針	公園整備及び公園施設の維持管理や市民要望等に対応するため、都市公園等の管理に係る適切な財源を確保し、効果的かつ効率的な維持管理を目指します。			
指標	都市公園の面積		担当課：公園緑地課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	㎡	951,100	向上	↑
	目標値	最終値		
	1,020,000	1,012,511		
	内容・取組効果	開発行為などにおける公園・緑地については、緑を活かした潤いのあるまちづくりを推進するため、開発業者に対して十分な公園緑地面積を確保するよう指導しました。また、市民の森の用地取得の推進により魅力ある緑地確保を推進しました。		
	課題・改善案	公園面積の増加に伴い、施設の維持管理や市民要望等に対応するため、都市公園等の管理に係る費用について、適切な財源を確保し、効果的かつ効率的な維持管理を目指します。		
	緑豊かなまちと感じている市民の割合		担当課：公園緑地課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	79.2	低下	↓
	目標値	最終値		
	83	69.5		
	内容・取組効果	西部近隣公園、八千代広域公園の整備及び都市公園等の維持管理により都市緑化の推進を図りました。しかし、人口増加に対して公園緑地の整備面積は足りておらず、緑豊かなまちと感じるにはまだ途上であると考えます。		
	課題・改善案	公園施設の老朽化や樹木の太木化等の維持管理に要する財源や体制の確保が課題です。		
環境美化ボランティア制度実施公園数		担当課：公園緑地課		
単位	現況値（策定時）	達成状況		
か所	66	向上	↑	
目標値	最終値			
70	67			
内容・取組効果	環境の美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と市が一体となったまちづくり活動を推進することを目的に、公園美化活動をしている団体等に対する用具の支援等を行いました。			
課題・改善案	既存ボランティア団体においては、構成員の高齢化に伴い活動を辞退する方や活動規模を縮小せざるを得ない団体が見受けられ、新規拡大には課題が残りました。また、近年の夏季における高温により、屋外活動が困難になり活動回数や時間の制限が余儀なくされる状況が生じています。今後は、暑さ対策を含めた活動環境の改善や新たな担い手が参加しやすい仕組みづくりを図っていく必要があると考えます。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

1 総合交通

柱	第4章 快適で環境にやさしいまちづくり			
	第2節 総合交通・道路環境の整備			
大項目	1 総合交通			
	市民の移動ニーズにきめ細かく対応できる公共交通手段が整ったまち			
	<p>鉄道については、東葉高速鉄道(株)の自立に向けての支援を行うとともに、京成本線・東葉高速線の利便性向上のため、誰もが利用しやすい駅の改良や、今後発生が予想される大規模地震による被害の未然防止、拡大防止などを事業者に要請していきます。</p> <p>また、駅前ターミナルの交通結節点の機能を高めるなど、誰もが利用しやすく、移動の自由度が高い快適な交通ネットワーク向上のための駅前広場の整備を推進します。</p> <p>路線バス等については、市民の日常生活を支える役割を十分発揮できる移動手段を検討していきます。</p> <p>地域公共交通計画を策定し、持続可能な公共交通サービスの構築に向けた取組を推進します。</p>			
	推進部局（担当課）：企画部（企画経営課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	東葉高速鉄道(株)に利子補給を行うことで経営の安定に寄与し、移動手段を維持することができました。また、東葉高速鉄道(株)が行う耐震工事に補助金を交付し、鉄道利用者の安全確保に寄与することができました。		
	課題・改善案	東葉高速鉄道(株)は、未だ多額の長期債務を抱えており、その償還が経営を圧迫していることから、継続的に経営安定に向けた支援を行うほか、東葉高速鉄道(株)が行う鉄道施設の安全対策に係る事業を促進することで、鉄道の維持と利便性の向上を図っていく必要があります。		
	今後の方向性及び方針	東葉高速鉄道(株)の自立に向けた支援を継続して鉄道を維持するとともに、引き続き利便性向上及び安全性確保に資する取組の促進を図っていきます。		
	推進部局（担当課）：都市整備部（都市計画課）			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	令和6年3月に本市の地域公共交通のマスタープランとなる八千代市地域公共交通計画を策定しました。また、京成電鉄(株)の実施する勝田台駅南口エレベーター設置等工事に対して補助金を交付し、エレベーター1基及び下りエスカレーターの設置並びに上りエスカレーターの更新工事が行われ、令和6年6月28日に供用開始しました。		
	課題・改善案	少子高齢化のさらなる進行により、市民の移動手段として、公共交通の担う役割はますます重要になると考えられる一方で、交通事業者の運転士不足及び高齢化、利用者数の減少等地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しています。今後は、八千代市地域公共交通計画に基づき、地域の移動ニーズに応じた利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの構築に努めてまいります。		
今後の方向性及び方針	八千代市地域公共交通計画に基づき、地域の多様な主体との協働・連携を図りながら、各事業を推進します。			
指標	鉄道が利用しやすいと感じている市民の割合	担当課：企画経営課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	65.6	低下	↓
	目標値	最終値		
	70	62.5		
	内容・取組効果	東葉高速鉄道(株)に利子補給を行うことで経営の安定に寄与し、移動手段を維持することができました。また、東葉高速鉄道(株)が行う耐震工事について補助金を交付し、鉄道利用者の安全確保に寄与することができました。		
	課題・改善案	東葉高速鉄道(株)は、未だ多額の長期債務を抱えており、その償還が経営を圧迫していることから、継続的に経営安定に向けた支援を行うほか、東葉高速鉄道(株)が行う鉄道施設の安全確保に係る事業を促進することで、鉄道の維持と利便性の向上を図っていく必要があります。		
	担当課：都市計画課			
	内容・取組効果	京成電鉄(株)の実施する勝田台駅南口エレベーター設置等工事に対して補助金を交付し、エレベーター1基及び下りエスカレーターの設置、上りエスカレーターの更新工事が行われ、令和6年6月28日に供用開始しました。また、令和6年3月に地域公共交通のマスタープランとなる八千代市地域公共交通計画を策定しました。		
	課題・改善案	ニーズ分析を踏まえた八千代市地域公共交通計画を策定し、「鉄道の利便性向上」等の実施事業により広域交通の利便性向上に努めていますが、指標の目標値の達成に至っていない状況です。今後は同計画に基づき、地域の多様な主体との協働・連携を図りながら、各事業を推進してまいります。		

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

1 総合交通

指標	市内のバスが利用しやすいと感じている市民の割合		担当課：都市計画課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	42.5	低下	↓
	目標値	最終値		
	60	31.5		
	内容・取組効果	令和6年3月に地域公共交通のマスタープランとなる八千代市地域公共交通計画を策定しました。		
	課題・改善案	ニーズ分析を踏まえた八千代市地域公共交通計画を策定し、「既存路線バスの維持及び利用促進」、「運転士不足への対応」等の実施事業により公共交通の維持に努めていますが、指標の目標値の達成に至っていない状況です。今後は同計画に基づき、地域の多様な主体との協働・連携を図りながら、各事業を推進してまいります。		
	市内・市外間の移動がしやすいと感じている市民の割合		担当課：都市計画課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	53.5	低下	↓
目標値	最終値			
60	43.9			
内容・取組効果	令和6年3月に地域公共交通のマスタープランとなる八千代市地域公共交通計画を策定しました。			
課題・改善案	ニーズ分析を踏まえた八千代市地域公共交通計画を策定し、「鉄道の利便性向上」、「既存路線バスの維持及び利用促進」等の実施事業により広域交通、地域間交通の利便性向上に努めていますが、指標の目標値の達成に至っていない状況です。今後は同計画に基づき、地域の多様な主体との協働・連携を図りながら、各事業を推進してまいります。			
交通弱者にやさしい交通環境と感じている市民の割合		担当課：都市計画課		
単位	現況値（策定時）	達成状況		
%	26.7	低下	↓	
目標値	最終値			
40	14.4			
内容・取組効果	交通手段を持たない高齢者等の日常の移動手段として、また八千代台地域の交通不便地域を解消するために、コミュニティバス（八千代台コース）の運行を実施している。また、令和6年3月に地域公共交通のマスタープランとなる八千代市地域公共交通計画を策定しました。			
課題・改善案	ニーズ分析を踏まえた八千代市地域公共交通計画を策定し、「民間送迎バス等、地域輸送資源の活用可能性の検討」、「北部エリアにおける補完的移動手段の検討」等の実施事業により交通環境の構築に努めていくとともに、コミュニティバス（八千代台コース）の運行等を行っていますが、指標の目標値の達成に至っていない状況です。今後は同計画に基づき、地域の多様な主体との協働・連携を図りながら、各事業を推進してまいります。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

2 道路環境

柱	大項目	第4章 快適で環境にやさしいまちづくり			
	中項目	第2節 総合交通・道路環境の整備			
	将来のまちの姿 基本方針	2 道路環境			
		体系的な道路ネットワークの形成や適切な道路の維持管理が行われ、誰もが安心して快適に利用できる環境が整ったまち			
		交通安全を基本として、交通量に対応した国・県道の早期整備を関係機関に要請し、市民の利便性と生活環境の向上を図ります。 都市計画道路は交通量の変化に対応した体系的な道路ネットワークの形成に努め、整備にあたっては、計画的、効率的かつ事業の透明性を確保しながら整備を推進します。 市道は、市民の生活道路として、歩道・車道の維持補修に努め、市民生活に密着した、人にやさしい安全で安心して利用できる道路づくりを推進します。 橋梁・横断歩道橋は、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、コスト縮減を図り効率的な橋梁の維持管理・更新を推進します。また、補修に併せ耐震化を推進します。			
		推進部局（担当課）：都市整備部（都市計画課）			
		達成状況	やや達成が図れなかった		
		内容・取組効果	国・県道については、整備促進について要望書を提出するなどの働きかけを積極的に行いました。 都市計画道路については、地権者との交渉を行い用地取得を進め、3・4・1号新木戸上高野原線や3・4・12号八千代台南勝田台線の道路築造工事及び設計業務を実施し、整備を推進しました。 市道については、歩道や車道の維持補修や改良工事を実施し、安全かつ円滑な交通の確保と歩行者の安全確保に努めました。 橋梁・横断歩道橋については、5年に1度の点検を実施し、3橋の補修工事を実施しました。		
		課題・改善案	都市計画道路の整備に当たっては、地権者との用地交渉や関係機関との調整に時間を要します。また用地取得に当たり、速やかな予算確保が求められます。		
		今後の方向性及び方針	関係機関と連携しながら、引き続き上記取組内容の推進に努めてまいります。		
		指標	道路環境が整っていると感じる市民の割合		担当課：都市計画課
			単位	現況値（策定時）	達成状況
	%		38.9	低下	↓
	目標値		最終値		
	60		32.8		
	内容・取組効果		都市計画道路の必要性及び優先性を評価することを目的として平成28年度に策定した「都市計画道路整備プログラム」の見直しに着手しました。		
	課題・改善案		「都市計画道路整備プログラム」の見直しに当たり、都市計画道路の必要性及び優先性を再評価し、都市計画道路の整備促進に努めます。		
	担当課：土木管理課				
	内容・取組効果		道路上の除草や道路植栽の剪定等により道路環境を維持しました。 道路維持補修工事により、道路を管理しました。		
	課題・改善案		毎年管理すべき道路（市道）が増加することによる、維持管理の予算の確保が課題です。 道路を維持補修をするために必要な予算の確保が課題です。		
担当課：土木建設課					
内容・取組効果	改良工事の実施により既設道路幅員が拡幅され、交通需要に応じた道路整備が実施できたものの、市民が求める道路環境に対する満足度の向上に寄与することはできなかった。				
課題・改善案	改良工事は実施したものの市民の満足度に向上にはつながらなかった結果を受け、市民が求めている整備箇所と乖離があることも考えられることから、引き続き要望箇所の優先度を考慮し、計画的かつ継続的に整備を進めて行く必要があります。				
担当課：土木維持課					
内容・取組効果	不測の事態により施工中の村上橋の工事の完成が遅れているほか、新川大橋の工事についても村上橋の事態を考慮し設計を見直ししているため、着手できませんでしたが、5年に1度市内63橋の点検を実施し安全を確保しつつ、橋梁、横断歩道橋の3橋の補修工事を実施しました。				
課題・改善案	国庫補助金等を活用し計画的に実施していますが、事業費が大きいため、より効率な計画を検討していく必要があります。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

2 道路環境

指標	都市計画道路の整備済延長		担当課：土木建設課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	m	45,562	向上	↑
	目標値	最終値		
	46,757	45,702		
	内容・取組効果	目標値の達成には至りませんでした。都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線西八千代工区が供用開始し、整備は進捗しております。		
	課題・改善案	都市計画道路の整備には用地の取得が必要となることから、地権者の状況に応じた予算の確保など、関係各課と連携を図りながら、地権者や近隣住民の理解が得られるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけ、信頼関係を構築し都市計画道路の整備の推進に努めます。		
	市道の改良整備率		担当課：土木建設課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	73.0	達成	↑
	目標値	最終値		
	73.4	75.2		
	内容・取組効果	改良工事の実施により既設道路幅員が拡幅され、交通需要に応じた道路整備が実施できたことで歩行者の安全確保が図られました。		
	課題・改善案	改良整備率としては目標値を達成しているものの、既存市道に対する改良率は低い水準となっていることから、引き続き要望箇所の優先度を考慮し、計画的かつ継続的に整備を進めて行く必要があります。		
	官民境界の確定進捗率		担当課：土木管理課	
単位	現況値（策定時）	達成状況		
%	9.1	達成	↑	
目標値	最終値			
9.6	10.7			
内容・取組効果	官民境界の査定により、道路境界が明確になりました。			
課題・改善案	官民境界は隣接者の同意があって確定となるため、詳細資料として、過去のデータ整理が課題です。 官民境界に係る詳細資料について、現在、紙媒体からデータ化を進めているが、紙資料が膨大にあるため、引き続き、継続的にデータ化を進めて参ります。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第3節 環境との共生・保全

1 生活環境

柱	第4章 快適で環境にやさしいまちづくり			
	第3節 環境との共生・保全			
大項目	1 生活環境			
	環境に配慮した生活や事業活動を実施することで快適で衛生的な生活環境が確保されているまち			
	千葉県などと連携し、水質、大気など各種環境状況の把握に努め、生活環境の保全に必要な指導や対策を実施するとともに、不法投棄のパトロールや監視カメラの設置などによる監視の強化により、早期対応・未然防止を図ります。 また、高度処理型合併処理浄化槽の設置普及や清掃活動の開催、環境状況の情報提供、環境にやさしい生活スタイルの啓発など環境意識の高揚を図るほか、衛生的な生活環境を確保するため、墓地や斎場の適正な運営管理に努めます。特に、市営霊園については、合葬式墓地の利用促進を図り、斎場については、令和3（2021）年度から、老朽化が進む馬込斎場の大規模改修に着手します。			
	推進部局（担当課）：健康福祉部（健康福祉課）			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	合葬式墓地の利用許可数は、平均して年間90～100件程度となっており、利用促進が図られました。		
	課題・改善案	この先の安定した墓地事業特別会計の運用を図るため、更なる利用促進に向けて対応及び検討が必要となります。		
	今後の方向性及び方針	合葬式墓地の周知を引き続き実施し、合葬式墓地の特性をより多くの市民に知ってもらえるよう取り組んでいきます。		
	推進部局（担当課）：経済環境部（環境政策課）			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	様々な調査・監視にて公害の状況を把握し、基準の遵守を指導することで、市民が快適に暮らすことができる環境の維持に努めました。また、環境にやさしい生活スタイルの啓発により、生活環境の改善に寄与しました。さらに、高度処理型浄化槽への転換や飼い主のいない猫に対する不妊去勢手術に対する補助金を交付し、公共用水域の水質改善、地域の環境衛生向上に寄与しました。		
	課題・改善案	環境にやさしい生活スタイルの啓発では、イベント等の減少による啓発機会の減少等が課題になっていますが、イベント等で市民の興味を引くような掲示や啓発回数を増やすなどの工夫をすることで、ライフスタイルの変革を促します。		
	今後の方向性及び方針	今後も生活環境の保全のため、発生源への指導や環境にやさしい生活スタイルの啓発を継続するとともに、苦情対応や法令による規制基準の遵守の推進を図ります。		
	指標	環境基準達成度		担当課：環境政策課
		単位	現況値（策定時）	達成状況
%		87.5	達成	↑
目標値		最終値		
89.3		89.6		
内容・取組効果		千葉県などと連携し、水質、大気など各種環境状況の把握に努め、生活環境の保全に必要な指導や対策を実施しました。また、高度処理型合併処理浄化槽の設置普及や清掃活動の開催、環境状況の情報提供、環境にやさしい生活スタイルの啓発など環境意識の高揚を図ったことにより、水質関係の溶存酸素量（D0）とふっ素（F）の2項目を改善しました。		
課題・改善案		未達成の項目もあるため、今後も継続してより達成度を上げていきます。		
生活排水処理率		担当課：環境政策課		
単位		現況値（策定時）	達成状況	
%		97.1	向上	↑
目標値		最終値		
98.7		97.6		
内容・取組効果		ホームページや広報、自治会回覧などを活用し高度処理型浄化槽補助金の周知を行ったり、転換に関する啓発ポスターの掲示などを行った結果、転換の促進につながりました。		
課題・改善案		単独処理浄化槽又はくみ取便所からの転換が進んでいるが、現状市内にはまだ単独処理浄化槽やくみ取便所を使用している住民が多いことから、引き続き様々な方法で高度処理型浄化槽補助金の周知や啓発を行い、転換を推進していくことが重要です。		

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第3節 環境との共生・保全

1 生活環境

指標	まちにごみがなくきれいだと感じている市民の割合		担当課：クリーン推進課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	70.8	向上	↑
	目標値	最終値		
	75	72.3		
	内容・取組効果	不法投棄の回数が多い箇所監視カメラを設置し、監視を強化した結果、当該箇所への不法投棄は、ほぼ無くなっています。		
	課題・改善案	監視カメラ設置箇所以外への投棄は減っていないことから、今後も不法投棄の回数が多い箇所へのパトロールの回数を増やすなどの対策を講じていきます。		
	合葬式墓地の供給数		担当課：健康福祉課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	体分	1,714	達成	↑
	目標値	最終値		
	2,465	2,556		
内容・取組効果	広報やちよや地域新聞に合葬式墓地の募集記事を掲載し、市民に対して広く周知を行いました。記事を掲載した月は例月と比較して申請数の増加が確認できることから、記事掲載の効果は出たものと考えられます。			
課題・改善案	目標は達成できましたが、墓地事業特別会計の将来にわたる安定した運営に向けては課題が残る状態であり、引き続き効果的な周知方法の検討を進めます。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第3節 環境との共生・保全

2 自然環境

柱	第4章 快適で環境にやさしいまちづくり			
大項目	第3節 環境との共生・保全			
中項目	2 自然環境			
将来のまちの姿 基本方針	市民一人ひとりが環境負荷の少ない生活を心がけ、豊かな自然環境が保全されているまち			
	2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言した本市においては、温室効果ガス、特に二酸化炭素の排出を抑制するためのエネルギー消費量の削減、消費生活での環境への適合等を行動の柱とした「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地域の視点から見た地球温暖化防止を市民、事業者、行政が一体となって実行していきます。 また、市民や事業者の意識改革や実践活動を促進するとともに、それぞれが自主的かつ積極的に、連携して取り組むことができるよう施策の展開を図ります。 さらに、限りある資源を有効に活用していくため、再生可能エネルギーの導入や普及に向けて、取り組んでいきます。また、自然環境に対する理解を広げるため、広く市民を対象に、自然環境に関する学習会を実施します。			
	推進部局（担当課）：経済環境部（ゼロカーボンシティ推進室）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	八千代市地球温暖化対策実行計画に基づき、再生可能エネルギー設置に対する補助や啓発、省エネの推進、専門家・事業者等とのシンポジウムの開催などに取り組みました。また、ほたるの里での環境学習等を実施したほか、里山保全団体と協力して谷津・里山保全の推進に取り組みました。		
	課題・改善案	地球温暖化に関する国や社会情勢等は変化していくため、必要に応じて個別計画や各種事業の見直し・拡充を検討する必要があります。		
	今後の方向性及び方針	地球温暖化に対応するため、国や社会情勢等を注視し、必要に応じて個別計画である地球温暖化対策実行計画等を見直し、各種事業を推進します。		
指標	市の事務事業による温室効果ガス排出量		担当課：ゼロカーボンシティ推進室	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	t-CO ₂ /年	51,746	達成	↑
	目標値	最終値		
	49,159	44,922		
	内容・取組効果	電気使用量や一般廃棄物焼却量の削減等により、令和6年度実績では、前期基本計画において設定した目標について達成できています。		
	課題・改善案	八千代市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）では、最新の国の計画等に基づいた、より厳しい目標設定をしているので、その達成に向けて、今後も市民や職員の省エネ意識向上のための啓発や、公共施設等への再エネ・省エネ設備の導入についての検討を進めます。		
	環境学習講座等参加者数		担当課：ゼロカーボンシティ推進室	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人/年	2,126	低下	↓
	目標値	最終値		
	2,200	609		
	内容・取組効果	自然環境に対する理解度を広げるための学習会の実施状況について、開催様式を見直し、幅広く市民に周知したことで、コロナ禍で「イベントの実施ができなかった」又は「人数規制等を設けて実施した」時期よりも参加者数が増加しました。		
	課題・改善案	コロナ禍以降、予定していた場所で事業を行えなくなりました。このため、参加者数の集計方法も変わるなど、指標値の想定が成立しなくなり、計画どおりにはなりません。しかし、周知手段を拡充した結果、参加者数はコロナ禍で「イベントの実施ができなかった」又は「人数規制等を設けて実施した」時期よりも回復しています。今後は、参加者のニーズを踏まえて目標値を見直し、環境学習へのさらなる参加促進と体験価値の向上に取り組めます。		

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第4節 循環型社会

1 一般廃棄物

柱	第4章 快適で環境にやさしいまちづくり			
大項目	第4節 循環型社会			
中項目	1 一般廃棄物			
将来のまちの姿	ごみの適正な処理が確保され、ごみの発生抑制やリサイクルが進む循環型社会が形成されているまち			
基本方針	<p>天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される循環型社会の形成に向けて、市民・事業者の協力のもと、ごみの発生抑制、減量化、リサイクルを推進します。</p> <p>ごみ収集体制のより一層の効率化、分別収集の徹底を図るとともに、市民・事業者への啓発を行い、ごみの安全かつ、安定的な処理に努めます。</p> <p>また、清掃センターにおけるごみ処理施設については、令和2（2020）年3月に策定した整備方針に基づいて、計画的に施設整備を推進します。</p> <p>衛生センターにおけるし尿処理施設については、し尿及び浄化槽汚泥の処理量を踏まえ、老朽化した処理施設の修繕等、適正な管理運営を行うとともに、整備方針で決定した処理の広域化を第一とし、近隣自治体と協議を継続し、広域処理の有効性について検証します。</p>			
	推進部局（担当課）：経済環境部（クリーン推進課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	一般廃棄物処理基本計画等に基づき、市ホームページや広報紙、小学4年生を対象とした出前講座等において、ごみの発生抑制や分別、減量、リサイクルに係る周知・啓発活動を行うなど、循環型社会形成に向け各種事業を推進しました。		
	課題・改善案	循環型社会形成やゼロカーボンシティの達成に向け、ごみの減量やプラスチック使用製品廃棄物等の分別収集実施に向けた取り組みを進める必要があります。		
	今後の方向性及び方針	一般廃棄物処理基本計画等に基づき各種事業を推進するとともに、ごみの減量やリサイクルについて、分かりやすい周知・啓発を行うため、市ホームページ等の見直しや新たな啓発方法を検討します。		
指標	市民1人1日当たりのごみの総排出量		担当課：クリーン推進課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	g	768	向上	↑
	目標値	最終値		
	707	710		
	内容・取組効果	ごみの減量に向けて、市ホームページや広報紙、小学4年生を対象とした出前講座等において、ごみの発生抑制や分別、減量、リサイクルに係る周知・啓発活動を行いました。また、事業系ごみについては、市ホームページに「事業系ごみ適正処理と減量のための手引き」を掲載し、適正な処理についての啓発を行ったほか、食品ロス削減に関する記事を八千代商工会議所の会報誌に掲載するなど、ごみの減量化を推進しました。		
	課題・改善案	令和5年度は目標値を達成することができました。令和6年度は目標値を若干超過したものの、1人1日当たりのごみ総排出量は減少傾向にあるため、一般廃棄物処理基本計画等に基づき各種事業を推進するとともに、ごみの減量やリサイクルについて、分かりやすい周知・啓発を行うため、市ホームページ等の見直しや新たな啓発方法を検討します。		
	市民1人1日当たりのごみの総排出量（資源物を除いた排出量）		担当課：クリーン推進課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	g	661	向上	↑
目標値	最終値			
599	615			
内容・取組効果	令和6年度から資源物としてプラスチック製容器包装廃棄物を収集する計画でしたが、令和4年度のプラスチック資源循環促進法の施行を踏まえ、プラスチック使用製品廃棄物と併せ、遅くとも令和10年度に分別収集を開始する方針としました。市民1人1日当たりのごみの総排出量（資源物を除いた排出量）は達成できませんでしたが、大幅に削減することができました。			
課題・改善案	一般廃棄物処理基本計画等に基づき各種事業を推進するとともに、ごみの減量やリサイクルについて、分かりやすい周知・啓発を行うため、市ホームページ等の見直しや新たな啓発方法を検討します。また、プラスチック類の分別収集を遅くとも令和10年度に開始し、資源化を進めます。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第4節 循環型社会

1 一般廃棄物

指標	リサイクル率		担当課：クリーン推進課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	20.2	低下	↓
	目標値	最終値		
	21.5	19.2		
	内容・取組効果	家庭から排出されるびん、缶・金属類、ペットボトルなどの分別収集や廃食用油の拠点回収を実施するとともに、八千代市清掃センターにて受け入れた不燃ごみや粗大ごみ等を選別し、売却可能な資源物を再資源化業者へ売却するなどリサイクル率の向上に努めました。		
	課題・改善案	プラスチック類の分別収集を遅くとも令和10年度に開始し、資源化を進めます。		
	一般廃棄物処理量		担当課：クリーン推進課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	t	54,658	向上	↑
	目標値	最終値		
	51,782	52,457		
	内容・取組効果	市ホームページや広報紙、小学4年生を対象とした出前講座等において、ごみの発生抑制や分別、減量、リサイクルに係る周知・啓発活動を行いました。想定より人口が増加したこともあり、一般廃棄物処理量の目標は達成できませんでした。		
	課題・改善案	一般廃棄物処理量は減少傾向にあるため、引き続き一般廃棄物処理基本計画等に基づき各種事業を推進するとともに、ごみの減量やリサイクルについて、分かりやすい周知・啓発を行うため、市ホームページ等の見直しや新たな啓発方法を検討します。		
	し尿及び浄化槽汚泥の処理量		担当課：クリーン推進課	
単位	現況値（策定時）	達成状況		
kl/年	11,196	向上	↑	
目標値	最終値			
10,752	10,780			
内容・取組効果	し尿くみ取り人口は減少、浄化槽人口は微増となり、処理量についてはおおむね目標値を達成しました。			
課題・改善案	引き続き、し尿処理施設の適正な運営管理を行います。			

第5章 産業が元気なまちづくり

第1節 農業

1 農業振興

柱	第5章 産業が元気なまちづくり			
大項目	第1節 農業			
中項目	1 農業振興			
将来のまちの姿	都市生活と農業が共存し、新鮮な食材が身近に手に入る豊かな暮らしや実り豊かな風景が守られているまち			
基本方針	生産・出荷の効率化、消費者に近い都市農業の利点を活かした展開等を支援し、農業所得の向上を図ります。 また、意欲的な農業者への支援を集中して行うため、経営の拡大や効率化に取り組む中心となる経営体を明確にするとともに、新たに農業に取り組む人材の確保・定着化を推進します。			
	推進部局（担当課）：経済環境部（農政課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	ふるさとステーションのリニューアルの取組や各種補助等事業により農業所得の向上と人材確保に取り組みました。		
	課題・改善案	農業者の高齢化により担い手不足が課題となる中、新規就農者にとっては、農地の新規取得が最も課題となるため、農業委員会と連携して農地の斡旋につないでいく必要があります。 補助事業等を活用しない場合、農政課では新規就農者の把握が困難なため、千葉県や八千代市農協などと連携し、状況把握に努めます。		
	今後の方向性及び方針	ふるさとステーションのリニューアルを進めていくとともに、八千代市農協や千葉県、八千代市農業委員会と連携し、農業所得向上、人材確保に向けた事業を推進します。		
指標	体験農園利用者数		担当課：農政課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	28,450	達成	↑
	目標値	最終値		
	29,000	47,700		
	内容・取組効果	広報やちよ、ホームページのほか、SNS、行政情報モニター、わが街NAVI、各種情報誌等により、積極的に周知したことで、多くの方に収穫体験を利用していただきました。		
	課題・改善案	更に多くの方に収穫体験等を利用していただけるよう、引き続き多様な媒体を活用し周知していきます。		
	有害鳥獣捕獲駆除数		担当課：農政課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	頭	66	低下	↓
	目標値	最終値		
	150	51		
	内容・取組効果	令和5年度まで減少傾向、令和6年度はイノシシの出没増加により被害面積が増加しましたが、猟友会への委託により、捕獲駆除を行いました。		
	課題・改善案	イノシシについてはくくりわなによる捕獲を実施していきます。また、猟友会の人員については、市内に限らず人員情報の収集に努めます。		
	認定農業者数（経営体数）		担当課：農政課	
単位	現況値（策定時）	達成状況		
件	93	向上	↑	
目標値	最終値			
108	95			
内容・取組効果	地域計画の話し合いを通じて、営農意向を把握しながら、認定農業者を増やしていきます。			
課題・改善案	農業者の高齢化により、既存認定農業者が更新を希望しないケースが増加傾向にあります。認定農業者であることが補助事業の要件になっていることが多いため、更新の支援やメリットの周知を引き続き行うとともに、制度の趣旨の理解のための意識啓発、新規認定に向けて若手生産者の集まり等で制度周知に取り組んでまいります。 なお、将来的に認定農業者となる可能性の高い、認定新規就農者については増加傾向にあるため、今後も新規就農者の認定に注力してまいります。			

第5章 産業が元気なまちづくり

第1節 農業

1 農業振興

指標	家族経営協定の締結件数		担当課：農政課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	件	31	向上	↑
	目標値	最終値		
	37	32		
内容・取組効果	市内では家族経営が多いものの、正式に家族経営協定を結んでいないケースが多い状態です。家族経営協定を締結することで、共同経営者としての役割分担や就労条件を明確にすることができ、更なる農業経営の発展が見込めます。			
課題・改善案	家族経営協定は男女共同や円滑な経営継承に向けた農業者の意識向上を目的とした制度であることから、引き続き県と連携し、農業者への意識啓発、重点的に推進する農業者の選定、戸別訪問等を行い、制度周知を図ります。			

第5章 産業が元気なまちづくり

第1節 農業

2 農地保全

柱	第5章 産業が元気なまちづくり			
大項目	第1節 農業			
中項目	2 農地保全			
将来のまちの姿	生産基盤の整備や農業経営体の育成が進み、多様な消費者ニーズに応えられる都市型農業が確立したまち			
基本方針	未整備の農地を整備し、耕作しやすい農地にするとともに、規模拡大を志向する農業者への農地の集積や新規就農者の農地の確保を推進します。			
	推進部局（担当課）：経済環境部（農政課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	農業振興地域整備計画の全体見直しのため、基礎調査等を行いました。また、尾崎地区において農地中間管理機構を介した農地の貸借を実施したため、中心的な担い手への農地集積が増加しました。市内に広まっていく効果に期待します。		
	課題・改善案	農地中間管理事業を活用した貸借方法は、千葉県園芸協会を間に挟むため、契約に対する信用度が増す一方で、手続に時間を要することが課題です。貸借予定者に対し、農地の貸し借りの重要性を周知する必要があると考えます。また、農地中間管理事業の理解を求めていくことが必要と考えます。		
	今後の方向性及び方針	農業振興地域整備計画の変更について、千葉県知事の同意を円滑に得られるよう、協議を進めてまいります。また、今後は農地中間管理事業を活用した事業の周知に注力してまいります。		
		推進部局（担当課）：農業委員会事務局		
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	農業委員会等に関する法律第6条第2項の規定により、農地の集積・遊休農地の解消・新規参入の促進の3項目について、毎年度成果目標を設定し、農地等の利用の最適化の推進に係る活動を実施しました。		
	課題・改善案	農地の出し手は多く存在するものの、受け手が不足しているだけでなく、耕作条件が悪いため担い手が引き受けられない農地が多い状況です。新規就農者が効率的かつ安定的に農業経営を行うためには、一定規模以上の集団化した農地が必要であり、農地所有者が貸す意向を示しても、農地が分散していることで団地化が困難であることも課題となります。		
	今後の方向性及び方針	市が公表する「地域計画」の実現と計画のブラッシュアップに積極的に協力し、各地域における農業者等との話し合いを通じて課題解決に努めます。		
指標	水田の再基盤整備面積	担当課：農政課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	ha	306.5	維持	→
	目標値	最終値		
	342.1	306.5		
	内容・取組効果	地区外地権者との間に発生した問題等を解決し、事業に必要な事業計画の変更手続きを完了することができましたが、事業の進捗には遅れが生じています。		
	課題・改善案	事業計画の変更手続きは完了しましたが、物価高騰等による工事の入札不調が発生し、事業の進捗に影響を与えています。また、事業主体が千葉県であるため市が主体的に事業を早めることも困難な状況です。そのため、営農等に関する打合せを行い、関係機関相互の認識のすり合わせを積極的に行っていきます。		

第5章 産業が元気なまちづくり

第1節 農業

2 農地保全

指標	担い手への農地集積面積		担当課：農政課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	ha	278.4	達成	↑
	目標値	最終値		
335.6	358.7			
内容・取組効果	再基盤整備事業実施中の農地で、大規模に農地中間管理機構を活用した農地集積を行い、目標を達成した。今後、同様のケースがあった場合は経験を活かし、余裕をもって対処したいと考えます。			
課題・改善案	農業経営基盤強化促進法が改正されたことで、令和7年3月をもって農用地利用集積事業が廃止となり、農地の集積方法が農地中間管理機構を活用する貸借に一本化されました。また、集落ごとに地域計画を策定することとされ、地域計画に記載のある中心的な担い手にのみ、上記の農地の貸借事業を活用することができるとされています。今後、地域計画の策定を行い、中心的な農業者に農地集積を推進していくよう注力してまいります。			

第5章 産業が元気なまちづくり
 第2節 商工業
 1 商業

柱	第5章 産業が元気なまちづくり			
大項目	第2節 商工業			
中項目	1 商業			
将来のまちの姿	多様化する消費者ニーズに対応した魅力ある個店や商店会が増え、身近な買い物の場、交流の場としてにぎわいのあるまち			
基本方針	事業者及び商店会の自主的な取組をもとに、国や県及び商工会議所などの関係機関と連携し、市民の理解と協力を得ながら、商業の活性化のための研究や施策を推進します。 また、身近な買い物の場、交流の場としての商店街の存続のため、消費者ニーズに対応できるよう、時代に即した商業の振興を図ります。			
	推進部局（担当課）：経済環境部（商工観光課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	コロナ禍が終わり、経済活動の再開に伴い、これまで減少していた中小企業金融融資制度の融資利用が増加し、企業の経営状況の改善等を下支えすることができました。 また、創業支援利子補給金交付制度も、コロナ禍以降申請が増加しており、市内で創業する事業者の初期経営を下支えすることができました。		
	課題・改善案	依然として、個店や商店会は大規模商業施設との競争環境下に置かれ、多様化する消費者の購入スタイルに対応するため、新たな集客方法等について情報発信していく必要があります。 また、商店会は身近な買い物場、交流の場としての機能がありますが、店主の高齢化や非会員の増加により、その存続自体が厳しい団体も出てきています。		
	今後の方向性及び方針	消費者の生活スタイルや消費スタイルが多様化する中で、求められる施策は日々変化していきます。そのような変化に対応するため、国、県、近隣市の状況を注視するとともに、八千代商工会議所等と連携し、適切な支援を目指していきます。		
指標	商店街の空き店舗率	担当課：商工観光課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	11.1	向上	↑
	目標値	最終値		
	7.4	9.3		
	内容・取組効果	コロナ禍が収束したことで、イベント事業を再開する商業団体も増え、減少していた八千代市商店街・商業活性化推進事業補助金の交付額が令和5年度以降増加しました。 また、令和4年度には、3度目となるキャッシュレス決済に対するポイント付与事業を実施し、商店街の活性化に寄与しました。		
	課題・改善案	商店街の会員の高齢化・商店街活動の担い手の減少・非会員の増加が喫緊の課題となっており、今後も商工会議所と連携し、商店街の振興と発展に協力してまいります。		
	小売業の年間商品販売額	担当課：商工観光課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	百万円	165,995	低下	↓
	目標値	最終値		
	現状維持	158,982		
	内容・取組効果	中小企業金融融資制度による企業経営の下支え、創業支援利子補給金交付制度による創業期の企業経営の下支えを行いました。 また令和4年度には、3度目となるキャッシュレス決済に対するポイント付与事業を実施したほか、令和6年度には、貨物運送事業者等燃料費高騰対策支援金の支給を行いました。		
	課題・改善案	物価高騰による消費の減少など、商業を取り巻く課題が顕在化していることから、国・県・他市等の状況を注視し、施策を検討してまいります。		

第5章 産業が元気なまちづくり

第2節 商工業

2 工業

柱	大項目	第5章 産業が元気なまちづくり			
	中項目	第2節 商工業			
	将来のまちの姿	2 工業			
	基本方針	常に将来需要を予測した新たな技術や製品の開発に取り組む工業が営まれているとともに、調和のとれた住環境と操業環境が整ったまち			
		商工会議所などの関連機関と連携し産学官連携などを通じた産業基盤の強化や技術開発力の向上を図ります。 また、市民の理解と協力を得ながら、事業者が本市で継続して操業できるよう操業環境の保持を図ります。			
		推進部局（担当課）：経済環境部（商工観光課）			
		達成状況	やや達成が図れなかった		
		内容・取組効果	コロナ禍が終わり、セミナーの人数制限をなくしたこともあり、令和5年度は37人、令和6年度は46人が新規創業しました。		
		課題・改善案	創業支援資金利子補給金交付制度の利用件数が少ないことが課題であるため、今後も周知方法について研究していきます。 また、住工混在が引き続き問題となっていることから、商工会議所と連携し、調和のとれた住環境と操業環境が整ったまちを目指してまいります。		
		今後の方向性及び方針	引き続きセミナー等を実施し、市内事業者に周知してまいります。また、住工混在地域における課題等が考えられることから、商工会議所と連携し、必要な支援を検討してまいります。		
		推進部局（担当課）：都市整備部（都市計画課）			
		達成状況	やや達成が図れなかった		
		内容・取組効果	工場と住宅それぞれが共生していくため、市内工場関係団体等からの要望を受け、地区計画等の策定について協議・検討を行い、地元自治会に対し説明会を開催しました。		
	課題・改善案	八千代工業団地内の地権者等に対し十分な説明を行い、地区計画等の策定について合意を得る必要があります。			
	今後の方向性及び方針	地区計画の策定等について、庁内関係機関と調整し、八千代工業団地自治会及び八千代商工会議所と連携を取りながら、今後、地権者等との調整を進めます。			
	指標	1事業所当たりの年間出荷額		担当課：商工観光課	
		単位	現況値（策定時）	達成状況	
		百万円	1,907	低下	↓
		目標値	最終値		
		1,926	1,729		
内容・取組効果		中小企業資金融資制度、創業支援利子補給金交付制度による企業経営の支えや新たな製品開発促進等を目的に、産業連携セミナーや関係機関による異業種交流会を開催しましたが、目標の達成はできませんでした。			
課題・改善案		燃料、原材料等の物価高騰の影響が現在も続いています。国・県・他市等の状況に注視しながら、必要な施策を検討してまいります。			

第5章 産業が元気なまちづくり
 第3節 労働環境
 1 就業・雇用

柱	大項目	第5章 産業が元気なまちづくり		
		第3節 労働環境		
	中項目	1 就業・雇用		
	将来のまちの姿	事業者が必要な人材を常に雇用できるとともに、働きたい人みんなが働くことができる就業機会が整ったまち		
	基本方針	少子高齢化社会の中で経済の活力を維持していくため、国・県や商工会議所などの関係機関と連携・協力しながら、地域職業相談室における相談体制の充実、企業とのマッチングなど、就労・雇用を支援します。		
		推進部局（担当課）：経済環境部（商工観光課）		
		達成状況	おおむね達成	
		内容・取組効果	コロナ禍が終わり、サテライト相談とともに再就職支援セミナーを再開しました。さらに、関係機関と連携し新規の合同企業説明会等を開催し、雇用機会を増加させました。しかし、雇用促進奨励金の交付申請は減少しています。また、若年者の参加が少ない状況が続いています。	
		課題・改善案	若年者の参加が相対的に少なく、従来の求職活動とは異なり、一個人での求職活動の方法が多角化していると考えられます。今後も若年者への周知について研究が必要になります。	
		今後の方向性及び方針	国、県の連携をもとに、関係機関、関係団体、独立行政法人と協議し、調整を図りながら関係部局と協力し、就業支援及び就業促進を進めてまいります。	
	指標	「八千代地域職業相談室」に求職相談した人の就職率	担当課：商工観光課	
		単位	現況値（策定時）	達成状況
		%	17.1	向上 ↑
		目標値	最終値	
		19.6	19.2	
	内容・取組効果	近年の人手不足により、本市の地域職業相談室での新規求職者数が緩やかに減少し続けておりますが、就職件数を紹介件数で除した就職率は目標値に近い値とすることができました。		
	課題・改善案	中高年に比べ、若年者の利用数が少ないことから、引き続き、若年者が求職情報をどのように入手しているかの研究が必要になります。		

計画の推進のために
 第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進
 (1) 透明性の高い市政の推進

柱	計画の推進のために	
大項目	第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進	
中項目	(1) 透明性の高い市政の推進	
将来のまちの姿	適切な情報管理のもと、市民が知りたい情報が入手でき、伝えるべき市政情報が様々な情報媒体を通じて早く正確でわかりやすく伝えられているまち 市政に参加しやすい行政運営が行われ、市民から寄せられた意見や提案が市政に取り入れられているまち	
基本方針	-	
	推進部局（担当課）：企画部（広報広聴課）	
	達成状況	達成
	内容・取組効果	スマートフォンでの閲覧対応やSSL対応（通信の暗号化）等を始め、サイトの構造やデザインの一新、子育て支援情報、シティプロモーション・観光に特化した特設サイトの開設、イベントカレンダーやごみの分け方検索等の機能を新たに搭載するなど、市ホームページを全面改修したことで、速報性があり誰もが見やすく分かりやすい市政情報の提供を図りました。
	課題・改善案	今後もAIなどの技術や他の自治体の事例など継続して研究していきます。
	今後の方向性及び方針	令和7年度に市ホームページについてWEBアンケートを実施し、ホームページの充実度と課題等を検証します。
	推進部局（担当課）：総務部（法務課）	
	達成状況	やや達成が図れなかった
	内容・取組効果	適正な事務執行の推進においては、CSIRT（情報セキュリティインシデント対応チーム）要員として、事務誤りによるインシデントの発生原因の分析及び再発防止策の検討を行いました。 情報公開制度においては、公文書開示請求の約6割を占めていた、いわゆる金入り設計書について、令和5年度から情報提供制度を導入したほか、開示方法に電子メールを加える等、請求者の利便性の向上を図りました。また、審議会等の会議の公開においては、令和5年度から、会議資料等を市ホームページ上でも公開し、情報提供の充実に努めました。 個人情報保護制度においては、保有個人情報開示請求における請求者の費用負担や開示決定等の期限などについて、審議会への諮問やパブリックコメントにて提出された意見等を踏まえ、八千代市個人情報保護法施行条例の改定や市が保有する個人情報の取扱いが生じる業務を委託する際の安全管理措置に関わる基準の制定等により、委託事業者を含めた安全管理措置の徹底に努めました。
	課題・改善案	適正な事務執行の推進においては、インシデントが発生した個々の事務についての検証は行われていますが、そもそもインシデントを発生させない仕組みづくりが必要です。 情報公開制度においては、より迅速な情報の提供のために、情報提供施策の対象となる文書等の条件整理を行うなど、積極的な活用を図るための検討の余地があります。 個人情報保護制度においては、毎年度数件の個人情報の漏えい事案が発生している状況であり、委託事業者を含めた安全管理措置の着実な実施を監査等を通じて求めていきます。
	今後の方向性及び方針	適正な事務執行及び個人情報の安全管理措置の徹底に努めるとともに、公文書開示請求によらない情報提供を含めた情報公開の総合的な推進に努めていきます。
	推進部局（担当課）：監査委員事務局	
	達成状況	達成
	内容・取組効果	各年度の計画に沿って、監査等を実施しました。
	課題・改善案	令和5年度及び令和6年度にかけて適切でない事例は減少傾向にありますが、皆減には至っていない状況です。このことから、各部局において適切な事務処理が必要です。
	今後の方向性及び方針	引き続き、該当事例の改善策及び指導内容等を全庁的に周知し、適正な事務執行につなげていきます。

計画の推進のために

第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進

(1) 透明性の高い市政の推進

	指標	市民が知りたい行政情報が十分に提供されていると感じている市民の割合		担当課：広報広聴課		
		単位	現況値（策定時）	達成状況		
		%	37.1	低下	↓	
		目標値	最終値			
		50	24.4			
		内容・取組効果	広報紙，市ホームページ，公式SNS，デジタルサイネージ等の様々な媒体を通じて，市政情報を市民に提供しました。			
		課題・改善案	各媒体で同じ内容を配信するのではなく，それぞれの特性に応じた情報を提供してまいります。また，より多くの市民の方に，市が取り組んでいる様々な情報発信ツールを知ってもらい，登録してもらえよう周知を図ってまいります。			
						担当課：法務課
		内容・取組効果	情報公開制度においては金入り設計書の情報提供制度の導入を行い，個人情報保護制度においては主に個人情報の保護に関する法律の改正に伴う対応等を行いました。			
		課題・改善案	公文書開示請求によらない情報提供を含めた情報公開の総合的な推進に努めるとともに，個人情報の保護に関する法律等に基づく個人情報の安全管理措置の徹底を推進していきます。			

計画の推進のために
 第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進
 (2) 市民参画体制の充実

柱	計画の推進のために		
大項目	第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進		
中項目	(2) 市民参画体制の充実		
将来のまちの姿	適切な情報管理のもと、市民が知りたい情報が入手でき、伝えるべき市政情報が様々な情報媒体を通じて早く正確でわかりやすく伝えられているまち 市政に参加しやすい行政運営が行われ、市民から寄せられた意見や提案が市政に取り入れられているまち		
基本方針	-		
	推進部局（担当課）：企画部（企画経営課）		
	達成状況	おおむね達成	
	内容・取組効果	令和3年3月及び令和6年12月に総合計画の各施策に位置付けた指標の達成度を把握するとともに、今後の行政サービスの基礎資料とすることを目的として、八千代市市民満足度調査を実施しました。 また、令和5年9月に令和7年度から令和10年度までを期間とした第5次総合計画後期基本計画の策定にあたり、市民の市政やまちづくりに関する意識・意向を広く把握し、計画に反映させるとともに、今後の市政運営や政策立案の基礎資料とすることを目的として、八千代市市民意識調査を実施しました。 やっちご意見箱制度の見直しを実施することでサービス向上や事務効率化を図るとともに、市長対話では市民と市長が市政について話し合い、意見交換を行うことで、市民の市政に関する理解を深め、市民参画の推進につなげました。	
	課題・改善案	各種調査では、WEB回答も可能としましたが、有効回収率が上昇しないことから、回収率を改善する具体的な方策を検討する必要があります。 ホームページの各問合せフォームの文字数等について、数件要望があったことから、今後も近隣市の運用状況やシステムなどを継続して研究していく必要があります。	
	今後の方向性及び方針	市民の意見や提案を市政に反映する取組を推進するとともに、市民の満足度を的確に把握していきます。なお、令和7年度以降も、適宜市民の満足度を把握する手段を講じていきます。	
		総務部（コミュニティ推進課）	
	達成状況	おおむね達成	
	内容・取組効果	新しい市民参画制度である八千代市審議会等委員候補者公募制度を創設したほか、八千代市自治会連合会が主催している市政懇談会を促進していき、市政に参加できる機会の充実を図りました。	
	課題・改善案	より多くの市民の意見が取り入れられるよう、審議会等での市民委員の割合を高めるほか、幅広い年齢層の市民が市政に参加できる環境を整える必要があります。 また、市民から寄せられた要望内容には、市では対応できない他の機関の案件も含まれているため、どの内容が他の機関の案件になるかを、適切に伝えていく必要があります。	
	今後の方向性及び方針	市民公募委員制度の効果的な運用を行うとともに、市政懇談会等への出席依頼があれば、適宜対応していき、市政に参加しやすい行政運営に努めます。	
指標	各種審議会等における公募による市民委員の割合	担当課：コミュニティ推進課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況
	%	23.1	低下 ↓
	目標値	最終値	
	25	22.4	
	内容・取組効果	新たな市民参画制度として八千代市審議会等委員候補者公募制度を創設し、無作為抽出した幅広い年齢層から公募委員候補者名簿への登録の同意が得られました。 各種審議会を所管している所属において名簿から委員を選任することで、市民委員の固定化や年齢の偏り、また、従前に行っていた市民応募における定員割れの解消を図ることができました。	
	課題・改善案	年齢層の偏り等の課題を解消した一方で、各種審議会等における市民委員の割合は、所属の条例等において規定される市民委員の割合に依ります。 市民委員の割合・定数を高めるためには条例等の改正が必要となることから、条例改正等のタイミングにおいて、市民委員の割合・定数を高めるよう審議会を所管する所属に働きかけていく必要があります。	

計画の推進のために
 第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進
 (2) 市民参画体制の充実

指標	市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられていると感じている市民の割合		担当課：秘書課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	23.4	低下	↓
	目標値	最終値		
	30	12.9		
	内容・取組効果	市民の市政に関する理解を深め、かつ、多くの市民の意見を聴き、もって市民参画によるまちづくりの推進に資するため、申込みのあった各団体への市長対話を実施しました。しかしながら、多くの市民からの意見を聴くという観点からは、改善を図る余地があります。		
	課題・改善案	制度の周知状況なども考慮しながら、今後も、各団体からの申込み内容に即した円滑な市長対話を実施していきます。		
	担当課：広報広聴課			
	内容・取組効果	市ホームページにおいて、市政に対する意見や提案はやっちご意見箱、業務に関する問合せや相談は各部署へ直接問合せができるよう制度の見直しを実施し、市政に対する意見や提案・要望等を伝える手段を広げました。		
	課題・改善案	市ホームページにおいて、制度の見直しにより、各部署へ直接問合せのあった案件について、迅速な回答に伴う市民の満足度の向上が図られるものと考えますが、市政に対する意見・要望や多様化する市民ニーズを適切に受け取ることができる制度等を引き続き検討してまいります。		
	担当課：コミュニティ推進課			
	内容・取組効果	市民参画体制の充実を高めるため、新たな市民参画制度として八千代市審議会等委員候補者公募制度を創設しました。無作為抽出による市民公募とし、作文等の提出書類を減らし登録同意書の提出のみで公募委員候補者名簿に登録とすることで、市民委員となることへのハードルを下げ、幅広い年齢層の市民が市政に参加しやすい制度となりました。		
課題・改善案	無作為抽出による公募委員候補者名簿への登録だけでなく自薦での名簿登録も可能であることから、市民への制度の周知を図るとともに、庁内においては、市民委員の選任による名簿活用だけでなく、ワークショップ等での活用を促します。			

計画の推進のために
 第2章 地域の視点に立ったまちづくりの推進
 (1) コミュニティ活動の推進

柱	計画の推進のために		
大項目	第2章 地域の視点に立ったまちづくりの推進		
中項目	(1) コミュニティ活動の推進		
将来のまちの姿	地域に暮らす多様な主体（市民、団体、事業者等）が協力・連携して地域課題の解決に向けて取り組んでいるまち 誰もが主体的にコミュニティ活動に参加し、地域の人と人がつながり、いきいきと暮らしているまち		
基本方針	-		
	推進部局（担当課）：企画部（企画経営課）		
達成状況	おおむね達成		
内容・取組効果	平時は地域住民憩い・交流の場、地域の魅力発信の場、地域活性化につながるイベントスペースとして、災害時は地域の防災拠点となる「旧八千代市台東第二小学校跡地広場」が令和5年3月25日にオープンしました。同広場の管理運営については、令和4年10月に地域住民が主体となって設立した「一般社団法人にあとびあ」が行い、同法人の特性を活かした取組や継続性のある組織運営が期待されます。		
課題・改善案	「一般社団法人にあとびあ」による自立した施設運営が行えた。今後も法人が自立して施設を運営できるかが課題であるため、市として引き続き法人からの相談に応じるなど支援していきます。		
今後の方向性及び方針	法人の支援を継続するとともに、広場に関する情報を積極的に発信し、利用促進を図ります。 法人の運営状況を踏まえて、二次整備の実施時期等を検討します。		
	推進部局（担当課）：総務部（コミュニティ推進課）		
達成状況	やや達成が図れなかった		
内容・取組効果	自治会等に対する市民組織交付金の交付や市民活動団体に対する補助金の交付等により、市民の自主的な活動が促され、地域課題の解決が一定程度図られたと考えます。		
課題・改善案	自治会への加入世帯の減少の抑制を図るほか、市民活動団体による主体的な活動の更なる普及を図っていく必要があります。		
今後の方向性及び方針	引き続き、自治会や市民活動団体への支援を行い、市民の自主的なコミュニティ活動を促すとともに、自治会への加入促進や市民活動団体の新規立上げの増を図り、地域住民同士のつながりの構築や地域課題の解決が図られるような環境整備に努めます。		
指標	自治体加入世帯数	担当課：コミュニティ推進課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況
	世帯	50,005	低下 ↓
	目標値	最終値	
	51,000	48,138	
内容・取組効果	開発時に事業者に対して指摘を行ったり、自治会加入希望票付きリーフレットを転入者に配布し、自治会と加入希望者をつなぐ取組を行ってまいりましたが、目標値には至りませんでした。		
課題・改善案	自治会の魅力を伝えられる広報紙の作成や自治会の負担軽減及び自治会加入促進につながる施策に取り組んでまいります。		

計画の推進のために
 第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信
 (1) 人権の尊重と男女共同参画の推進

柱	計画の推進のために		
大項目	第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信		
中項目	(1) 人権の尊重と男女共同参画の推進		
将来のまちの姿	互いを認め合い、人権が尊重され、誰もが性別や国籍などにとらわれず多様な生き方や働き方を選択でき、個性と能力が発揮できるまち 市民が地域に対する誇りや愛着を持つとともに、本市の認知度やイメージが向上した、住みやすく魅力的なまち		
基本方針	-		
	推進部局（担当課）：企画部（男女共同参画センター）		
	達成状況	おおむね達成	
	内容・取組効果	誰もが活躍できる環境づくりとして、講座や市ホームページ等を活用した情報提供を行うことができたほか、「女性のための相談」では、令和4年度に「女性サポート相談」としてリニューアルを行い、相談者である自らが具体的な解決へとつなげていけるよう支援の充実を図り、周知に努めた結果、相談件数も増えてきています。 また、個性が尊重される意識の醸成に向けては、関係機関と連携を図りながら、情報発信を行いました。中でも小中義務教育学校で、「ナイスさんかく！4コマまんが」パネル展を実施し、児童生徒、教職員がジェンダー平等について考える機会を提供することができました。 そのほか、多様な生き方を選択でき、誰もが住みやすいまちの一助となるよう、「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」の導入に向け、調査研究等を実施しました。	
	課題・改善案	誰もが様々な場面で活躍できるよう、個性が尊重される意識の醸成やジェンダー平等への啓発は継続した取組が重要であることから、より一層、関係機関と連携を図る必要があります。今後も、小中義務教育学校に向けた取組は継続しつつ、特に情報提供が難しい若年層に向け、効率的・効果的な方法を検討していきます。 「女性サポート相談」については、より一層、利用率や利便性の向上を図るため、オンライン受付の導入について検討します。また、市民や関係団体から要望が出されていることを受け、「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」の導入を進める必要があります。	
	今後の方向性及び方針	誰もが様々な場面で活躍できるよう、情報提供及び関係機関との情報共有を進めるほか、若年層の意識啓発については市内大学や専門学校との連携を図っていきます。また、「女性サポート相談」の充実を図るほか、「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を令和7年4月1日から導入します。	
		推進部局（担当課）：健康福祉部（健康福祉課）	
	達成状況	おおむね達成	
	内容・取組効果	市民の人権擁護意識の醸成のため、船橋人権擁護委員協議会、千葉地方法務局船橋支局と連携し、市民の人権意識の高揚を図りました。	
	課題・改善案	啓発活動は、効果が分かりにくいという課題があるため、多くの方の理解や賛同を得られるよう、効果を定量的に示し、より効果的・効率的な事業を計画し、継続的に実施していく必要があります。	
	今後の方向性及び方針	効果検証を行うため、啓発活動の対象者や実施関係者等にアンケートやヒアリング調査を行い、結果を集約分析のうえ、地域人権啓発活動活性化事業として市民に人権尊重思想の普及高揚を図り、人権に対する正しい認識を広めることができるような啓発活動を計画し、実施します。 人権相談については、今後も同協議会に協力し、継続的に実施することを目指します。	
指標	各種審議会等における女性委員の割合	担当課：男女共同参画センター	
	単位	現況値（策定時）	達成状況
	%	31.5	向上 ↑
	目標値	最終値	
	40.0	34.4	
	内容・取組効果	毎年「各種審議会等における女性委員登用率未達成に関する状況調査」を行ったほか、「千葉県女性人材リスト」の周知等を通じて、女性委員登用率の向上に取り組みましたが、目標値を達成することはできませんでした。	
	課題・改善案	各種審議会等の所管課に対し、「千葉県女性人材リスト」の活用拡大を図り、関係団体に推薦依頼をする際の働きかけを行うほか、市民公募所管課と連携した取組を行います。また、引き続き、「各種審議会等における女性委員登用率未達成に関する状況調査」と併せて、改善方法等に関する調査を行い、その結果をフィードバックしていきます。	

計画の推進のために

第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信

(1) 人権の尊重と男女共同参画の推進

	指標	性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できている市民の割合		担当課：男女共同参画センター	
		単位	現況値（策定時）	達成状況	
		%	30.4	低下	↓
		目標値	最終値		
		40	22.0		
内容・取組効果	固定的な役割分担意識の解消や多様性の理解促進に向け、機会をとらえ、積極的に啓発活動等を行いました。目標を達成することができませんでした。				
課題・改善案	市民満足度調査結果をもとに、取組の見直しを図り、関係機関と連携のもと、より効果的な施策を検討します。				

計画の推進のために
 第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信
 (2) 多文化共生社会の推進

柱	計画の推進のために			
大項目	第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信			
中項目	(2) 多文化共生社会の推進			
将来のまちの姿	互いを認め合い、人権が尊重され、誰もが性別や国籍などにとらわれず多様な生き方や働き方を選択でき、個性と能力が発揮できるまち 市民が地域に対する誇りや愛着を持つとともに、本市の認知度やイメージが向上した、住みやすく魅力的なまち			
基本方針	-			
	推進部局（担当課）：企画部（シティプロモーション課）			
	達成状況	おおむね達成		
	内容・取組効果	多言語による情報提供の充実に向け、外国人住民に対する情報発信と相談窓口での対応を継続しました。 関係団体による日本語教室や多文化共生意識の啓発を目的としたイベントはコロナ禍を除き、継続的に実施できており、市はその支援を継続しました。 多文化交流センターでは、相談業務のほか、交流室において、こども日本語教室等の事業を支援し、日本語学習推進と交流を図りました。 外国人住民の社会参画として、多文化交流センターでの相談窓口を通じたコミュニティの把握や人材の発掘に努めました。 多文化交流センターの相談窓口では、18か国語に対応したテレビ電話通訳サービスの導入により、多言語による相談への対応が可能になりました。		
	課題・改善案	多言語での情報発信の手法として、主にホームページの多言語化とやちよ防災情報メールの多言語化、多文化交流センターに相談員と通訳の設置、及び外国人情報セットの配布を行い対応に努めておりますが、全ての外国語に対応できているわけではありません。全ての外国語への対応は難しいことから、外国人からの求めに対し、適宜状況に応じ対応できるよう努めていきます。 また、日本語教室や国際交流イベントを実施している国際交流協会からは、高齢化や資金面の課題があると伺っているため、引き続き国際交流協会と協議を進めていく必要があります。		
	今後の方向性及び方針	多文化共生社会の推進のため、拠点施設である多文化交流センターをより多くの外国人の方に使用していただけるようにしていく必要がありますが、現在は村上団地内に施設があり、多方面からは利用しにくい状況となっておりますので、多文化交流センターの移転について検討していきます。また、多文化共生の推進に大きな役割を果たしている国際交流協会の高齢化や資金面も課題としてありますので、支援の強化に努めていきます。		
指標	日本語教室の受講者数	担当課：シティプロモーション課		
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	2,356	向上	↑
	目標値	最終値		
	3,000	2,618		
	内容・取組効果	日本語教室の受講者数はコロナ禍に生徒数が減ってしまいましたが、国際交流協会や多文化交流センターによる周知により、結果的には目標値の約87%の受講者数がいたことからおおむね目的を達成できたと考えます。一方で、日本語教室に協力いただけるボランティア数が減ってきているため、対応について検討していく必要があります。		
	課題・改善案	国際交流協会との協議の中で、日本語教室を継続的に行うためには、交通費相当等の謝礼金が必要との要望をいただいておりますので、予算化に向けて努めていきます。		

計画の推進のために
 第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信
 (2) 多文化共生社会の推進

指標	国際交流イベントの参加者数		担当課：シティプロモーション課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人	1,771	低下	↓
	目標値	最終値		
	2,000	717		
内容・取組効果	<p>コロナ禍を除くと、外国人と日本人が交流することを目的の一部としたインターナショナルデイやハロウィンパーティを国際交流協会が実施しました。目標の達成状況としては、コロナ禍によりイベントを実施できなかった時期があったことが影響し、目的の達成に至らなかったと考えております。</p>			
課題・改善案	<p>イベントの実施主体である国際交流協会の構成員の高齢化及び減少が課題としてあげられているため、令和7年度に国際交流協会が実施するタイラー市訪問に参加する一般市民がイベント事業に協力していただけるよう、国際交流協会と調整を図るよう努めます。また、継続的にイベントを実施できるようイベントの効率化等について、引き続き国際交流協会と協議を続けてまいります。</p>			

計画の推進のために
 第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信
 (3) 平和と交流によるまちづくりの推進

柱	計画の推進のために			
	大項目	第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信		
	中項目	(3) 平和と交流によるまちづくりの推進		
	将来のまちの姿	互いを認め合い、人権が尊重され、誰もが性別や国籍などにとらわれず多様な生き方や働き方を選択でき、個性と能力が発揮できるまち 市民が地域に対する誇りや愛着を持つとともに、本市の認知度やイメージが向上した、住みやすく魅力的なまち		
	基本方針	-		
		推進部局（担当課）：企画部（シティプロモーション課）		
		達成状況	おおむね達成	
		内容・取組効果	平和関連事業を開催することで、市民の平和意識の高揚を図ることができました。また、友好都市・姉妹都市との交流活動を市民主体で実施することができました。	
		課題・改善案	平和事業では、被爆体験講話の語り部が高齢化し、また後継者不足が課題となっていますが、八千代平和事業市民実行委員会に新たに3名の委員が加入しました。しかしながら、高齢化と後継者問題は未解決のままであるため、今後も解決に向けて取り組んでまいります。	
		今後の方向性及び方針	平和宣言都市として、引き続き諸事業の開催を通じ、市民の平和意識の高揚を図ります。また、市民主体による国内外との交流活動をより一層推進するとともに、国際化に対応した外国人住民の暮らしやすい環境づくりにも取り組んでいきます。	
	指標	国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいと思う市民の割合		担当課：シティプロモーション課
		単位	現況値（策定時）	達成状況
		%	30.0	低下 ↓
	目標値	最終値		
	50	29.8		
	内容・取組効果	コロナ禍を乗り越え、国際交流を目的の一部とした国際交流フェスティバルやハロウィンパーティが再開されました。また、八千代市と友好都市であるバンコク都との交流もコロナ禍を経て復活しましたが、目標値に届きませんでした。		
	課題・改善案	市民の国際交流に関する意欲を高める必要があることから、友好都市等であるバンコク都やタイラー市との交流成果を広く市民に知らせるためSNSや広報の活用等に努めていきます。		

計画の推進のために
 第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信
 (4) シティプロモーション・観光の推進

柱	計画の推進のために	
大項目	第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信	
中項目	(4) シティプロモーション・観光の推進	
将来のまちの姿	互いを認め合い、人権が尊重され、誰もが性別や国籍などにとらわれず多様な生き方や働き方を選択でき、個性と能力が発揮できるまち 市民が地域に対する誇りや愛着を持つとともに、本市の認知度やイメージが向上した、住みやすく魅力的なまち	
基本方針	-	
	推進部局（担当課）：企画部（企画経営課）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	令和4年度までの「印旛沼流域かわまちづくり計画」及び令和5年度から開始した「印旛沼・印旛放水路かわまちづくり計画」に基づき、水辺拠点等のハード整備及びソフト施策を実施することで、新川を含む印旛沼流域の総合的な利活用を推進し、地域の活性化を図りました。 また、八千代市シティプロモーション推進方針に基づき、『定住人口の増加』、『移住人口の増加』、『本市の魅力向上』の達成を目的としたシティプロモーションの取組を進め、市民の意見をもとに市の魅力をわかりやすく伝えるキャッチコピー及びロゴマークの制作、新川の周辺で開催される各種イベントや観光資源等について市公式SNSを活用し市内外に発信するなど、市の認知度の向上及び魅力創造に努めました。
	課題・改善案	現在進めている「印旛沼・印旛放水路かわまちづくり計画」について、関係市及び河川管理者である千葉県との協議を綿密に進めていくとともに、庁内における調整、関係民間事業者や民間団体との協力・連携を図っていく必要があります。また、河川のオープン化、千葉うみさとラインの活動等を通じて、新川を含む印旛沼流域の総合的な利活用を推進し、更なる地域の活性化を図る必要があります。 市の魅力に係る地域資源や地域資源に関連した各種イベントについて、市公式SNS等において市内外に向けたPRを行い、本市の更なる認知度の向上及び集客に努める必要があります。
	今後の方向性及び方針	本市が有する豊かな自然環境や魅力ある施設等の地域資源を活用した、市の魅力の創造や発信に引き続き取り組み、認知度やイメージの向上、市民の市への誇りや愛着の醸成とともに、交流人口や移住・定住人口の増加を図っていきます。
	推進部局（担当課）：経済環境部（観光推進室）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	三大祭（八千代ふるさと親子祭・八千代どんと祭・源右衛門祭）を支援することによる市民の地域に対する誇りや愛着の醸成や、八千代市観光協会等の関係団体と連携し、本市が有する観光資源をPRすることで、観光振興の推進に努めました。
	課題・改善案	計画期間中、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、目標の達成ができない状況が続きました。 今後も関係団体との連携を一層強化するとともに、積極的なPRを行うことで、市民の地域に対する誇りや愛着の醸成を図り、併せて本市の認知度やイメージの向上に努めます。
	今後の方向性及び方針	三大祭（八千代ふるさと親子祭・八千代どんと祭・源右衛門祭）を支援することで、市民の地域に対する誇りや愛着の醸成を図ります。また、観光振興計画の観光ビジョンである「花の観光都市」の実現に向けて、積極的な情報発信を推進します。
	推進部局（担当課）：都市整備部（公園緑地課）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	印旛沼流域かわまちづくり計画事業における八千代橋水辺拠点の整備工事に係る千葉県等との調整を図り、八千代橋水辺拠点に広場・休憩施設等の整備事業を実施しました。
	課題・改善案	施設のソフト面において利活用するために河川空間のオープン化が課題として残っています。今後、オープン化を推進するために関係部署と関係機関等で調整を図る必要があります。
	今後の方向性及び方針	新川及びその周辺の一体的な活用を図るために、利活用の方向性及び関係機関、団体との調整を担当部局で進めていきます。

計画の推進のために
 第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信
 (4) シティプロモーション・観光の推進

指標	観光入込客数		担当課：観光推進室	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	人 地点	1,178,240	低下	↓
	目標値	最終値		
	1,335,000	1,152,670		
	内容・取組効果	新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、観光入込客数調査結果において目標値を達成できませんでした。		
	課題・改善案	計画期間中、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、目標の達成ができない状況が続きましたが、今後につきましては、関係団体との更なる協力・連携の強化により、本市が有する豊かな自然環境や魅力ある施設等の地域資源を活用した、市の魅力の創造や観光の振興を図ります。		
	新川周辺が活性化していると感じている市民の割合		担当課：企画経営課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	39.5	低下	↓
	目標値	最終値		
	55	33.5		
	内容・取組効果	「印旛沼流域かわまちづくり計画」に基づき、阿宗橋一里塚や八千代橋水辺拠点等のハード整備及びソフト施策を実施することで、新川を含む印旛沼流域の総合的な利活用を推進し、地域の活性化を図りました。また、八千代市、千葉市、佐倉市の3市連名の計画として国土交通省に登録申請した「印旛沼・印旛放水路かわまちづくり計画」が令和5年8月10日付で登録されたことから、現在、県立八千代広域公園周辺水辺拠点の整備を河川管理者である千葉県と連携して進めております。		
	課題・改善案	「印旛沼流域かわまちづくり計画」では、新川を含む印旛沼流域の総合的な利活用を推進し、地域の活性化を図ってまいりましたが、指標である「新川周辺が活性化していると感じている市民の割合」は令和3年度と比較して低下しました。今後は、現在進行中の計画である「印旛沼・印旛放水路かわまちづくり計画」の県立八千代広域公園周辺水辺拠点の整備を中心に八千代橋水辺拠点の河川空間のオープン化、千葉うみさとラインの活動等を通じて、新川周辺が活性化していると感じている市民の割合が増加するよう、事業を推進してまいります。		
今後も八千代市に住み続けたいと考えている市民の割合		担当課：シティプロモーション課		
単位	現況値（策定時）	達成状況		
%	72.4	低下	↓	
目標値	最終値			
80	70.8			
内容・取組効果	市民の市への誇りと愛着の醸成を促進するため、市民の意見募集を行い、市民投票により決定したキャッチコピー&ロゴマーク「ほどよし。やちよし。」の制作を行いました。目標達成には至りませんでした。			
課題・改善案	引き続き、市の魅力発信に取り組み、制作したキャッチコピー&ロゴマークも活用し、市民の市への誇りと愛着の醸成を促進してまいります。			

計画の推進のために
 第4章 持続可能な行政経営の確立
 (1) 効率的な行政運営の確立

柱	計画の推進のために	
大項目	第4章 持続可能な行政経営の確立	
中項目	(1) 効率的な行政運営の確立	
将来のまちの姿	健全な財政運営の推進により市の事業が円滑に進行され、市民サービスの充実を図りつつ持続的な市政経営が効果的・効率的に行われているまち	
基本方針	-	
	推進部局（担当課）：企画部（企画経営課）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	<p>目指すべき将来の方向及び人口の将来展望を示すため「八千代市人口ビジョン」を令和5年3月に改訂しました。また、第5次総合計画前期実施計画のローリングを行うとともに、指標の達成状況などから効果を分析し、今後の取組の改善を図りました。</p> <p>行政評価については、総合計画基本計画に掲げる施策及び指標を対象とした評価を全庁的に試行し、実施に向けた検討を進めましたが、評価結果の活用や事務負担面で課題が見られたため、評価手法の再検討を行うこととしました。</p> <p>民間活力活用の推進として、新たな包括連携協定の締結による連携事業の実施や、公共施設整備へのPFI導入に向けた検討を行ったほか、独立行政法人都市再生機構と関係各課との連携を図り、村上団地3街区における団地集約事業及び跡地活用、米本団地の旧銀行跡地及び高津団地の空き店舗を活用した地域活性化など、積極的に民間活力の活用を図りました。</p> <p>その他、近隣各市が抱える共通の問題や広域的な課題について、各市企画担当者による情報交換を行うとともに、連携した取組等を提案し、経費の縮減や効率化・高度な住民サービス・より魅力的なまちづくりを実現することを目的とし、7市（市川市、船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、白井市、松戸市）の企画担当者による会議を開催しました。</p>
	課題・改善案	<p>本市の人口は令和11年まで増加を続けますが、将来的には全国的な傾向と同様、減少に転じることが予測されています。人口問題に特効薬はなく、各種の対策が成果を示すまでには一定の時間を要することから、人口減少に直面していない現段階で対策を講じる必要があります。</p> <p>また、令和7年度を始期とする八千代市第5次総合計画後期基本計画に掲げた各施策を着実に取り組み、その効果について検証し、目的が達成されるようPDCAサイクルを継続的に循環させるとともに、迅速な意思決定及び的確な行動が必要な場合にはOODA（ウーダ）ループを活用して臨機応変に施策・事業の推進を図る必要があります。</p> <p>行政評価については、行政資源を最適かつ効果的に配分するため、評価結果の活用も考慮した評価手法を検討する必要があります。</p> <p>民間活力活用の推進では、包括連携協定締結事業者との間で、連携事業の実績がないものもあるため、事業者からの提案事業の庁内周知方法等を工夫する必要があります。</p> <p>また、村上団地の中央・東地区の事業者公募に向けて、引き続き独立行政法人都市再生機構と連携・協力を図っていく必要があります。</p>
	今後の方向性及び方針	<p>令和7年3月に策定した八千代市第5次総合計画後期基本計画に掲げた各施策を計画的に推進してまいります。また、人口ビジョンの改訂は、第6次総合計画の策定期間に行う予定です。</p> <p>行政評価については、評価結果の活用を意識した評価手法の再検討を行い、試行を踏まえた上で、総合計画の着実な推進に資する評価手法の構築を図っていきます。</p> <p>このほか、引き続き民間活力を積極的に活用するとともに、広域的な行政課題の解決等に向け、近隣自治体と連携することにより、市民サービスの向上に努めます。</p>
	推進部局（担当課）：総務部（総務課）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	<p>文書管理システムについては、令和6年4月から6月までに公募型プロポーザルを実施、同年7月に契約を締結し、令和7年4月の稼働に向け、契約事業者とシステム開発を行いました。</p> <p>組織の見直しについては、的を絞った組織体制の見直しを行いました。複雑化する行政サービス需要に対応する職員を育成するため多種多様なメニューを提供するWeb研修を導入しました。また、子育て関連の休暇制度の改正、積極的な育児休業取得の啓発を行った結果、育児休業の取得率が、令和3年度は女性100%、男性10.2%から、令和6年度が女性100%、男性63%と大きく増加しました。</p>

計画の推進のために
 第4章 持続可能な行政経営の確立
 (1) 効率的な行政運営の確立

	課題・改善案	<p>文書管理システムの稼働に合わせて、液晶ディスプレイ及びDocuWorksを導入し、電子文書の視認性の向上を図りました。 組織体制の見直しについては、各部局への調査等から様々な検討事項が挙げられ、検討継続とした事項については、引き続き検討を進めます。 「八千代市人口ビジョン」によると今後数年、本市の総人口は増加していく見通しであること、行政需要の複雑多様化や育児関係の休暇取得者の増加等により人員が不足している状況であること等から、職員の定員については、必要職員数の確保を基本にしつつ、類似団体との均衡も意識しながら必要人員を見極めていくよう、見直しを図りました。</p>		
	今後の方向性及び方針	<p>文書管理システムの導入により、ペーパーレス化、業務の効率化を図ります。 組織体制の見直しについては、新庁舎の供用開始時の組織のあり方について検討を進めます。 また、限られた人材資源である職員が能力を最大限に発揮できるよう、各種職員研修などの充実を図るとともに、働き方改革等を推進し、人事体制の整備を行います。</p>		
指標	行政が自らの責任と判断に基づき行政経営が行われていると感じている市民の割合		担当課：企画経営課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	23.1	低下	↓
	目標値	最終値		
	50	14.8		
内容・取組効果	<p>第5次総合計画前期実施計画について、ローリング方式により毎年度見直しを行いました。また、掲載した事業は、指標の達成状況、執行計画と実績の比較などから効果を分析し、今後の取組の改善を図りました。 公共施設の整備に関して、PFI事業推進会議において事業手法を検討し、PFI導入可能性調査の実施につなげることで、民間活力活用について推進することができました。 行政評価については、総合計画基本計画に掲げる施策及び指標を対象とした評価を全庁的に試行し、実施に向けた検討を進めましたが、評価結果の活用や事務負担面で課題が見られたため、評価手法の再検討を行うこととしました。</p>			
課題・改善案	<p>第5次総合計画前期実施計画事業では、一部の事業において予定よりも遅れが生じる状況がありましたが、令和7年度を始期とする後期実施計画においては、目標に掲げる指標が達成されるよう、事業担当課に促し、改善を図ります。 引き続き、民間活力の活用を図り、効果的・効率的な行政サービスの提供に努めていく必要があります。 行政評価については、従前の事務事業評価の休止理由である職員の負担増大、形骸化及び閉塞感等を踏まえつつ、評価結果の活用も考慮した評価手法を検討する必要があります。</p>			

計画の推進のために
 第4章 持続可能な行政経営の確立
 (2) 健全な財政運営の推進

柱	計画の推進のために			
大項目	第4章 持続可能な行政経営の確立			
中項目	(2) 健全な財政運営の推進			
将来のまちの姿	健全な財政運営の推進により市の事業が円滑に進行され、市民サービスの充実を図りつつ持続的な市政経営が効果的・効率的に行われているまち			
基本方針	-			
	推進部局（担当課）：財務部（財政課）			
	達成状況	やや達成が図れなかった		
	内容・取組効果	自主財源の安定的な確保を図るとともに、予算編成や予算執行の過程で経費の節減等に努め、効率的な財政運営の推進に努めました。		
	課題・改善案	普通会計決算における財政指標は、公債費負担比率及び市債残高で改善傾向にある一方、財政調整基金残高は標準財政規模の10%以上の確保を目指す中、令和6年度決算で約7.4%となっており、基金の醸成が不可欠です。また、経常収支比率についても、人件費や扶助費、物件費の増等に伴う経常的経費の上昇等により高止まりしていることから、財政硬直化の解消は財政健全化に向けた重要な課題となっています。		
	今後の方向性及び方針	財政運営の中で、事業経費の見直しや、受益者負担の見直し、将来負担に対する各種基金の醸成を図り、進めていく必要があります。		
	推進部局（担当課）：会計課			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	公金の運用形態を見直すことにより、簡素に運用を行うことで事務の効率化及び運用効率の向上を図りました。		
	課題・改善案	金融機関の預金受入れの辞退の増加により、預金先が偏り安全性に課題があったことから、短期債券の購入を実施し、収益性の改善を図りました。		
	今後の方向性及び方針	関係部局と調整を図りつつ、保管・運用先の分散、安全性の更なる向上と、収益性・運用効率の改善を図ってまいります。		
指標	市税徴収率		担当課：納税課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	96.9	達成	↑
	目標値	最終値		
	97.0	97.7		
	内容・取組効果	業務をコア業務、ノンコア業務に分け、業務効率化を図ることで徴収率97.7%を達成しました。		
	課題・改善案	今後も徴収率を維持できるよう、効率かつ効果的な滞納整理を実施することが重要です。		
	公債費負担比率		担当課：財政課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	14.2	達成	↑
	目標値	最終値		
	14.0以下	10.2		
	内容・取組効果	新たな市債の借入に当たっては、必要性を精査し、適正な市債の借入に努めました。		
	課題・改善案	今後、新庁舎整備や学校施設長寿命化改修など公共施設の老朽化対策を進めていく中で、公債費負担比率の上昇が想定されます。		
	財政調整基金残高 ※標準財政規模に対する率		担当課：財政課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%（約）	7.0	向上	↑
	目標値	最終値		
	10.0以上	7.4		
	内容・取組効果	補正予算などの歳出の増により目標値の達成が困難となりました。		
	課題・改善案	歳入確保、歳出の見直しにより健全な財政運営に努め、基金残高の醸成をしていきます。		
	市債残高		担当課：財政課	
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	億円（約）	512	達成	↑
	目標値	最終値		
	450以下	374		
	内容・取組効果	新たな市債の借入に当たっては、必要性を精査し、償還額以上の借入を行わないように徹底しました。		
	課題・改善案	新庁舎整備や学校施設長寿命化改修など公共施設の老朽化対策に伴い多額の市債借入が生じていくため、市債の借入に当たっては必要性を精査していきます。		

計画の推進のために
 第4章 持続可能な行政経営の確立
 (3) 公共施設等の一体的なマネジメントの推進

柱	計画の推進のために			
大項目	第4章 持続可能な行政経営の確立			
中項目	(3) 公共施設等の一体的なマネジメントの推進			
将来のまちの姿 基本方針	健全な財政運営の推進により市の事業が円滑に進行され、市民サービスの充実を図りつつ持続的な市政経営が効果的・効率的に行われているまち			
	-			
	推進部局（担当課）：総務部（庁舎総合整備課）			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	デザインビルド方式での入札が不調となった後、事業手法を従来の設計施工分離発注方式に変更し、実施設計が令和7年3月に完了しました。		
	課題・改善案	再度の入札実施に向けて、新庁舎建設工事事業者選定委員会を設置して落札者決定基準等の検討を進めております。		
	今後の方向性及び方針	令和7年度には完成した実施設計を基に設計施工分離発注方式での事業者選定を実施する予定です。		
	推進部局（担当課）：財務部（資産管理課）			
	達成状況	達成		
	内容・取組効果	八千代市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、不要な土地の売却を適宜推進してきたところです。また、修繕が必要な施設を把握した際に、マネジメントの観点による将来コストの縮減及び歳入の確保に寄与する施策の推進など、将来的な施設サービスの維持を図るために継続的な協議を施設所管部署に対して実施しています。今後も、地域の特性などを考慮した施設マネジメントによる適正配置を推進します。		
課題・改善案	今般の施設関連費用の高止まりは改善する見込みがないことから、統合・集約化の必要性について周知・提案を図り、更なるコストの削減に努める必要があります。			
今後の方向性及び方針	物価高騰等の社会変化に伴い、適切な公共施設の配置を推進するため、地域の特性や必要性などについて協議を経ながら、コストの縮減等に努めます。			
指標	公共施設でのサービス、また、設備や管理が適切と感じている市民の割合 担当課：資産管理課			
	単位	現況値（策定時）	達成状況	
	%	41.0	低下	↓
	目標値	最終値		
	50	35.3		
	内容・取組効果	現在、八千代市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、大和田小学校や市民体育館の改修、みどりが丘第二小学校の建設工事などが進められています。その他の施設においては、各施設からの要望に基づき、財政面を考慮しながら施設における公共サービスの維持に努めてきました。		
課題・改善案	公共サービス・施設等における規模の適正化の推進、公共施設等の効率的な施設管理の推進、公共施設等の有効活用の推進にあたり、これまでの取組を踏襲しながら民間ノウハウの積極的な活用を行うなど、適切な施設サービスを提供できるよう施設所管部署との連携を図り、市民満足度の向上を通じて上記指標の改善につなげていきます。			

計画の推進のために
 第4章 持続可能な行政経営の確立
 (4) スマート自治体の推進

柱	計画の推進のために	
大項目	第4章 持続可能な行政経営の確立	
中項目	(4) スマート自治体の推進	
将来のまちの姿	健全な財政運営の推進により市の事業が円滑に進行され、市民サービスの充実を図りつつ持続的な市政経営が効果的・効率的に行われているまち	
基本方針	-	
	推進部局（担当課）：企画部（情報政策課）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	国の自治体DX推進計画や八千代市DX推進方針に基づき、行政手続のオンライン化及びキャッシュレス決済を推進し、対象手続を拡充することで、市民等の利便性の向上を図りました。 また、令和6年度に、地図データや行政情報の横断的利活用が可能な共通プラットフォームを有し、各種レイヤの共用が可能な統合型GISを導入し、行政運営のスマート化や住民の利便性向上を図りました。 なお、システムの標準化については、令和7年度に稼働時期の延伸を決定したため、現在、令和8年度の稼働に向けて準備を進めております。
	課題・改善案	オンライン化及びキャッシュレス決済対象手続や統合型GISに搭載するレイヤについて、更なる拡充を検討していく必要があります。 システム標準化について、令和8年10月稼働予定となっておりますが、各システムとの連携を調整する必要があります。
	今後の方向性及び方針	市民等の更なる利便性向上を図るため、オンライン化対象手続等の更なる拡充を図ります。 システム標準化については、令和8年度中の運用開始を目指し、取り組んでまいります。
	推進部局（担当課）：総務部（戸籍住民課）	
	達成状況	おおむね達成
	内容・取組効果	窓口での支払い手段の多様化やマイナンバーカードを利用したオンライン手続きの導入により、より便利で快適な窓口サービスを提供することができました。
	課題・改善案	キャッシュレス支払いが可能な窓口が一部に限られています。また、制度上オンラインで届出できる手続きは転出のみです。
	今後の方向性及び方針	令和5年度に支所の窓口にもキャッシュレス決済可能なセミセルフレジを設置しました。また、今後の制度改正にあわせ各種手続きのオンライン化を推進します。